

令和4年度

福岡市市政アンケート調査
報告書

福岡市市長室

(広聴課)

目 次

I 調査内容		
1. 調査の概要	1
2. 標本構成	2
3. 注意点	3
4. 実施状況	4
II 調査結果		
●第1回		
◇ 調査結果の概要	9
◇ 調査集計結果		
①「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について	17
②「環境保全の意識」について	21
③「自転車損害賠償保険等への加入状況」について	24
④「熱中症対策」について	26
●第2回		
◇ 調査結果の概要	30
◇ 調査集計結果		
①「ふくおかさん家のうまかもん」について	38
②「消費生活」について	39
③「省エネルギーと再生可能エネルギー」について	42
④「福岡スマートシェアサイクル事業」について	46
⑤「ユマニチュード(R)」について	48
●第3回		
◇ 調査結果の概要	51
◇ 調査集計結果		
①「情報通信の利用状況」について	60
②「博多湾の海底ごみ」について	63
③「福岡市の国際化」について	65
④「道路整備」について	69
●第4回		
◇ 調査結果の概要	74
◇ 調査集計結果		
①「福岡市の広報活動」について	82
②「住宅用火災警報器」について	86
③「地域の活動やまちづくり」について	89
④「選挙」について	92
●第5回		
◇ 調査結果の概要	96
◇ 調査集計結果		
①「水道水への意識や水道事業に対する満足度」について	104
②「『食』の安全・安心」について	107
③「図書館の利用」について	109
④「福岡市の行政運営の取り組み」について	112
●第6回		
◇ 調査結果の概要	121
◇ 調査集計結果		
①「家庭ごみ」について	128
②「ユニバーサル都市・福岡」について	133
③「食育」について	135
④「福岡市議会の広報活動」について	138
※市政アンケート調査実施後アンケート	143

I 調査内容

令和4年度 市政アンケート調査結果報告書

1. 調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民682人(就任時)
- ①選考方法: 住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和4年4月7日から令和5年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内: 郵送・メール、回答: 郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 標本構成(就任時)

(1) 全体

区別	合計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
全区	682人	100%	328人	48.1%	354人	51.9%

(2) 行政区別

区別	計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
東区	153人	22.4%	73人	10.7%	80人	11.7%
博多区	94人	13.8%	49人	7.2%	45人	6.6%
中央区	89人	13.0%	36人	5.3%	53人	7.8%
南区	118人	17.3%	55人	8.1%	63人	9.2%
城南区	60人	8.8%	27人	4.0%	33人	4.8%
早良区	78人	11.4%	44人	6.5%	34人	5.0%
西区	90人	13.2%	44人	6.5%	46人	6.7%

(3) 年代別

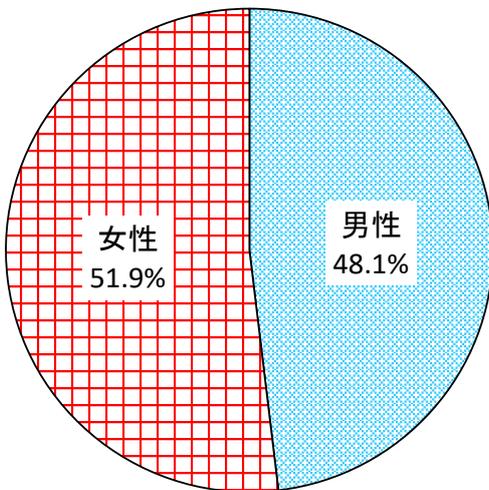
年代区分	計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
18～29歳	104人	15.2%	51人	7.5%	53人	7.8%
30代	123人	18.0%	67人	9.8%	56人	8.2%
40代	126人	18.5%	61人	8.9%	65人	9.5%
50代	116人	17.0%	66人	9.7%	50人	7.3%
60代	87人	12.8%	36人	5.3%	51人	7.5%
70歳以上	126人	18.5%	47人	6.9%	79人	11.6%

(4) 職業別

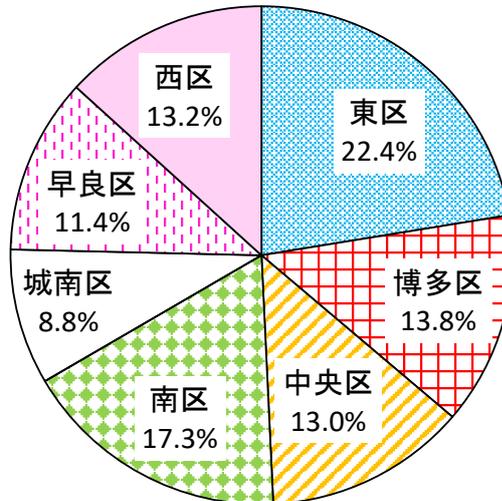
職業区分	計	構成比	男性	構成比	女性	構成比
正社員・正職員	267人	39.1%	180人	26.4%	87人	12.8%
契約社員・派遣社員・ 嘱託	36人	5.3%	15人	2.2%	21人	3.1%
パート・アルバイト	90人	13.2%	21人	3.1%	69人	10.1%
会社等役員	19人	2.8%	14人	2.1%	5人	0.7%
自営業・家族従事者	41人	6.0%	21人	3.1%	20人	2.9%
専業主婦・専業主夫	75人	11.0%	0人	0.0%	75人	11.0%
学生	39人	5.7%	22人	3.2%	17人	2.5%
無職	99人	14.5%	48人	7.0%	51人	7.5%
その他	16人	2.3%	7人	1.0%	9人	1.3%

(5) 標本比グラフ

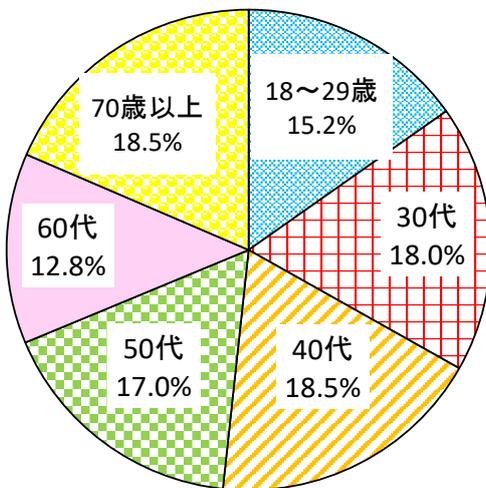
【男女別】



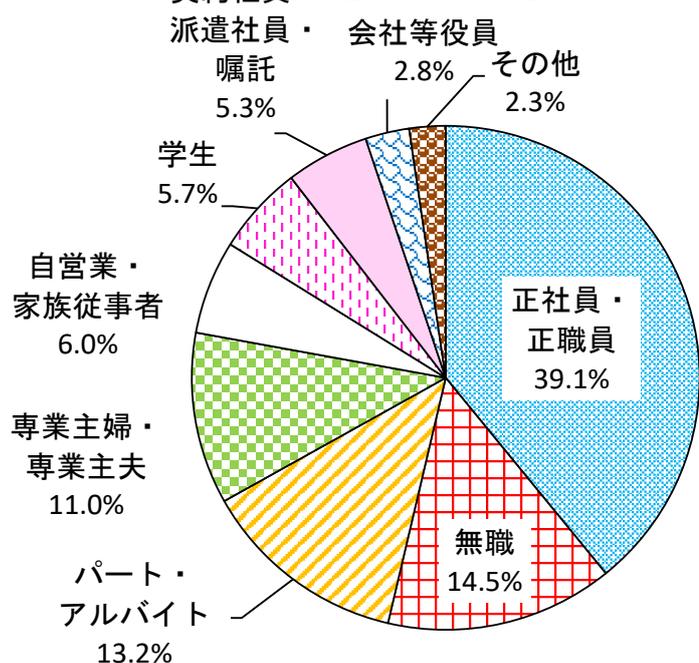
【行政区別】



【年代別】



【職業別】



3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)、又は(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

4.実施状況

第1回	実施時期	令和4年5月25日～令和4年6月8日
	回収結果	回答者数 609人(調査対象者数681人) 回答率 89.4%
	調査テーマ1	「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について
	担当課	住宅都市局 活用課 TEL:092-711-4367 FAX:092-733-5590 E-mail:koenkatsuyou.HUPB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ2	「環境保全の意識」について
	担当課	環境局 環境政策課 TEL:092-733-5381 FAX:092-733-5592 E-mail:k-seisaku.EB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ3	「自転車損害賠償保険等への加入状況」について
担当課	市民局 防犯・交通安全課 TEL:092-711-4061 FAX:092-711-4059 E-mail:bouhankotsu.CAB@city.fukuoka.lg.jp	
調査テーマ4	「熱中症対策」について	
担当課	環境局 環境保全課 TEL:092-733-5386 FAX:092-733-5592 E-mail:k-hozen.EB@city.fukuoka.lg.jp	
第2回	実施時期	令和4年6月24日～令和4年7月8日
	回収結果	回答者数 591人(調査対象者数680人) 回答率 86.9%
	調査テーマ1	「ふくおかさん家のうまかもん」について
	担当課	農林水産局 政策企画課 TEL:092-711-4841 FAX:092-733-5583 E-mail:seisakukikaku.AFFB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ2	「消費生活」について
	担当課	市民局 消費生活センター TEL:092-712-2929 FAX:092-712-2765 E-mail:shohiseikatsu.CAB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ3	「省エネルギーと再生可能エネルギー」について
担当課	環境局 脱炭素社会推進課 TEL:092-711-4282 FAX:092-733-5592 E-mail:datsutanso-shakai.EB@city.fukuoka.lg.jp	
調査テーマ4	「福岡スマートシェアサイクル事業」について	
担当課	道路下水道局 自転車課 TEL:092-711-4468 FAX:092-733-5591 E-mail:bicycle.RSB@city.fukuoka.lg.jp	
調査テーマ5	「ユマニチュード(R)」について	
担当課	福祉局 認知症支援課 TEL:092-711-4891 FAX:092-733-5587 E-mail:ninchi-shien.PWB@city.fukuoka.lg.jp	
第3回	実施時期	令和4年7月25日～令和4年8月8日
	回収結果	回答者数 585人(調査対象者数680人) 回答率 86.0%
	調査テーマ1	「情報通信の利用状況」について
	担当課	総務企画局 ICT推進課 TEL:092-711-4105 FAX:092-733-5594 E-mail:ictpromotion.GAPB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ2	「博多湾の海底ごみ」について
	担当課	農林水産局 水産振興課 TEL:092-711-4364 FAX:092-733-5557 E-mail:suisanshinko.AFFB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ3	「福岡市の国際化」について
担当課	総務企画局 国際交流課 TEL:092-711-4023 FAX:092-733-5597 E-mail:kokusaikoryu.GAPB@city.fukuoka.lg.jp 総務企画局 アジア連携課 TEL:092-711-4930 FAX:092-735-4130 E-mail:asiarenkei.GAPB@city.fukuoka.lg.jp	
調査テーマ4	「道路整備」について	
担当課	道路下水道局 道路計画課 TEL:092-711-4462 FAX:092-733-5533 E-mail:dorokeikaku.RSB@city.fukuoka.lg.jp	

第4回	実施時期	令和4年8月25日～令和4年9月8日
	回収結果	回答者数 569人(調査対象者数677人) 回答率 84.0%
	調査テーマ1	「福岡市の広報活動」について
	担当課	市長室 広報課 TEL:092-711-4016 FAX:092-732-1358 E-mail:koho.MO@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ2	「住宅用火災警報器」について
	担当課	消防局 予防課 TEL:092-725-6611 FAX:092-791-2699 E-mail:yobo.119@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ3	「地域の活動やまちづくり」について
	担当課	市民局 コミュニティ推進課 TEL:092-733-5161 FAX:092-733-5595 E-mail:community.CAB@city.fukuoka.lg.jp
調査テーマ4	「選挙」について	
担当課	選挙管理委員会事務局 選挙課 TEL:092-711-4682 FAX:092-733-5790 E-mail:senkyo.EACS@city.fukuoka.lg.jp	

第5回	実施時期	令和4年9月22日～令和4年10月6日
	回収結果	回答者数 576人(調査対象者数674人) 回答率 85.5%
	調査テーマ1	「水道水への意識や水道事業に対する満足度」について
	担当課	水道局 総務課 TEL:092-483-3139 FAX:092-482-1376 E-mail:somu.WB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ2	「『食』の安全・安心」について
	担当課	保健医療局 食品安全推進課 TEL:092-711-4277 FAX:092-733-5588 E-mail:shokuhinzen.PHB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ3	「図書館の利用」について
	担当課	教育委員会 総合図書館運営課 TEL:092-852-0618 FAX:092-852-0609 E-mail:library-unei.BES@city.fukuoka.lg.jp
調査テーマ4	「福岡市の行政運営の取り組み」について	
担当課	総務企画局 行政マネジメント課 TEL:092-711-4136 FAX:092-724-2098 E-mail:gyoseimg.GAPB@city.fukuoka.lg.jp	

第6回	実施時期	令和4年10月25日～令和4年11月8日
	回収結果	回答者数 568人(調査対象者数672人) 回答率 84.5%
	調査テーマ1	「家庭ごみ」について
	担当課	環境局 計画課 TEL:092-711-4308 FAX:092-733-5907 E-mail:keikaku.EB@city.fukuoka.lg.jp 環境局 ごみ減量推進課 TEL:092-711-4039 FAX:092-711-4823 E-mail:gomigenryo.EB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ2	「ユニバーサル都市・福岡」について
	担当課	総務企画局 企画調整部 TEL:092-711-4086 FAX:092-733-5582 E-mail:kikaku.GAPB@city.fukuoka.lg.jp
	調査テーマ3	「食育」について
	担当課	保健医療局 健康増進課 TEL:092-711-4374 FAX:092-733-5535 E-mail:kenko.PHB@city.fukuoka.lg.jp
調査テーマ4	「福岡市議会の広報活動」について	
担当課	議会事務局 調査法制課 TEL:092-711-4749 FAX:092-733-5869 E-mail:chosa.CCS@city.fukuoka.lg.jp	

Ⅱ 調査結果

令和4年度 市政アンケート調査 第1回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民682人(就任時)
- ①選考方法: 住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和4年4月7日から令和5年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内: 郵送・メール、回答: 郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第1回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和4年5月25日から6月8日まで
- (2) 調査対象者数
- 681人
- (3) 回答者数
- 609人
- (4) 有効回答率
- 89.4%
- (5) 調査テーマ
- ①「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について
 - ②「環境保全の意識」について
 - ③「自転車損害賠償保険等への加入状況」について
 - ④「熱中症対策」について

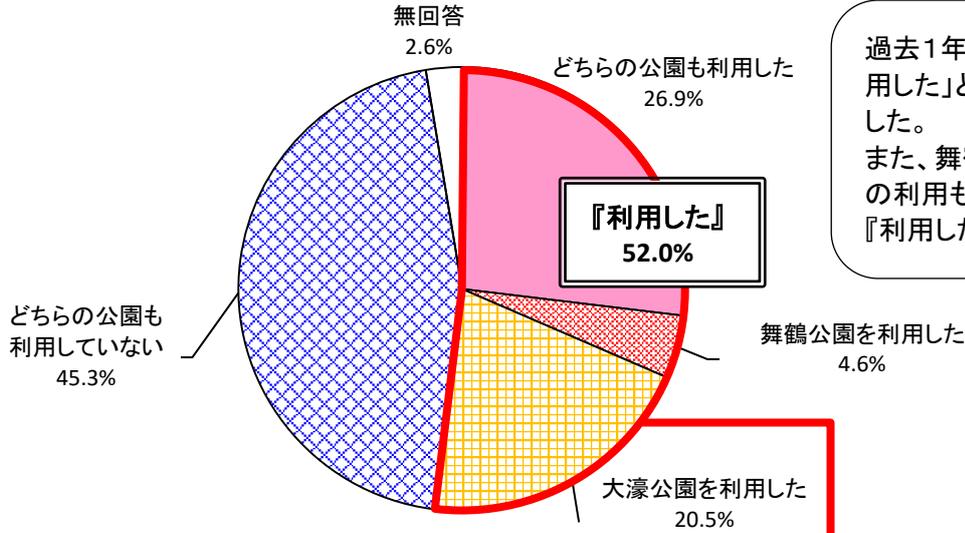
3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものの例：『満足』=「満足」+「どちらかといえば満足」

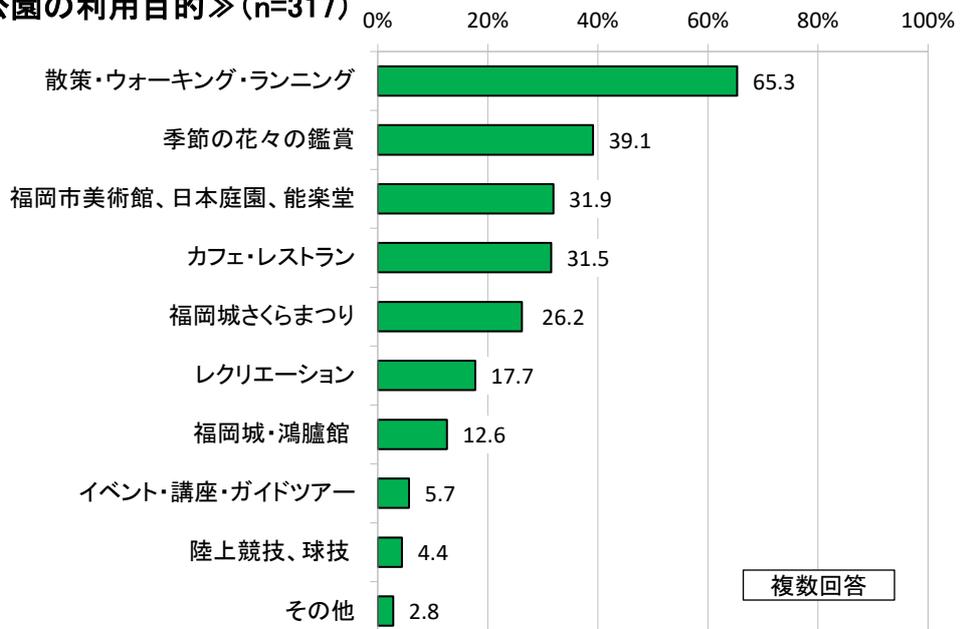
①「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について(N=609)

《過去1年間で舞鶴公園・大濠公園を利用したか》



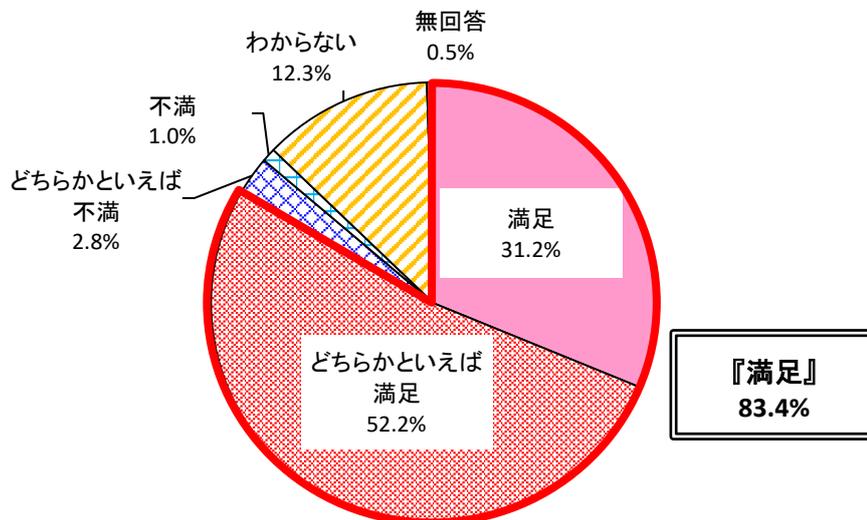
過去1年間で「どちらの公園も利用した」と回答した方は26.9%でした。
また、舞鶴公園、大濠公園のみの利用も含めると52.0%の方が『利用した』と回答しています。

《舞鶴公園・大濠公園の利用目的》(n=317)



複数回答

《舞鶴公園・大濠公園についての総合的な満足度》



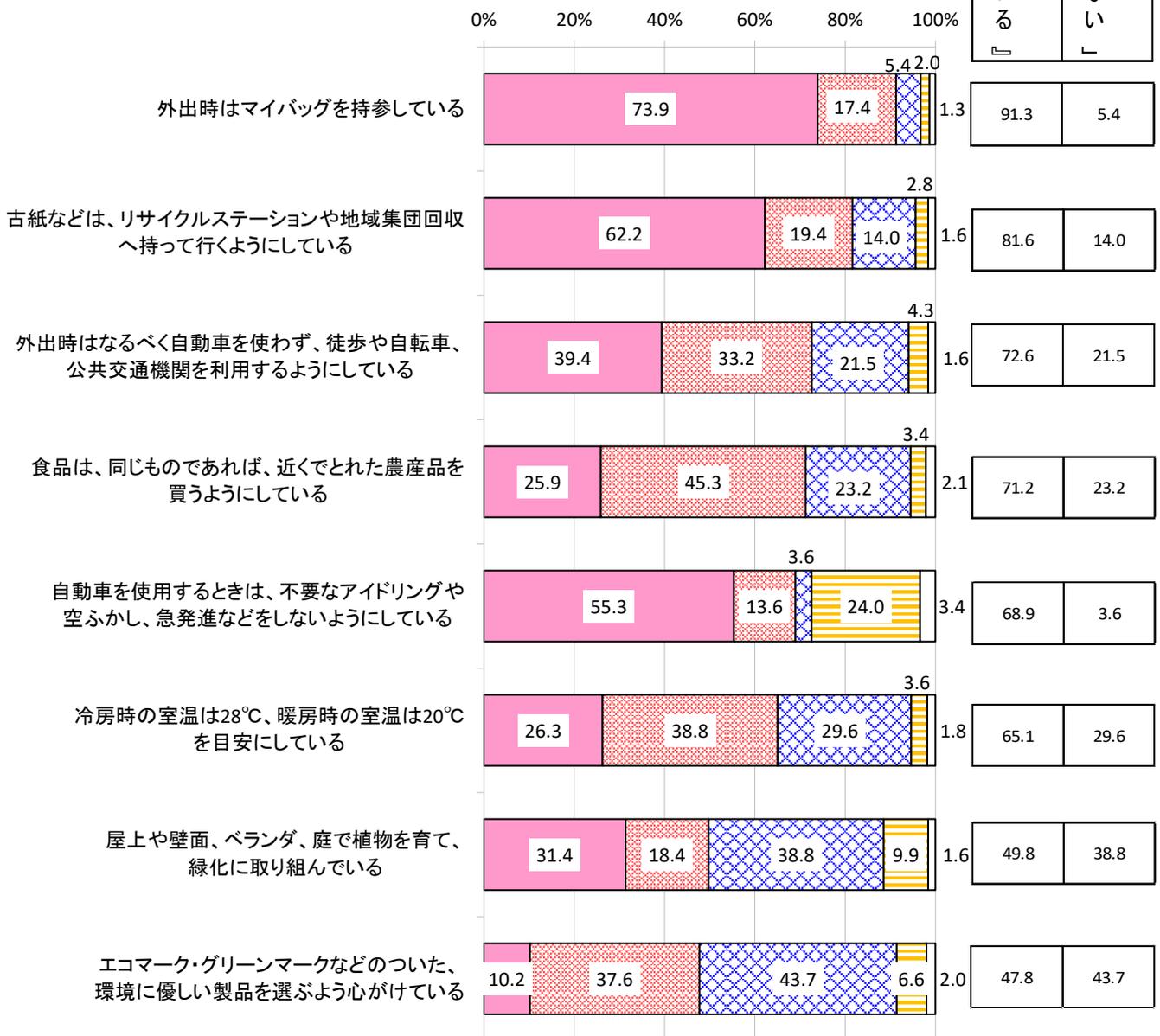
②「環境保全の意識」について(N=609)

《環境に配慮する行動を実行しているか》

いつも実行している
 たまに実行している
 実行していない
 該当しない
 無回答

『実行している』

『実行していない』

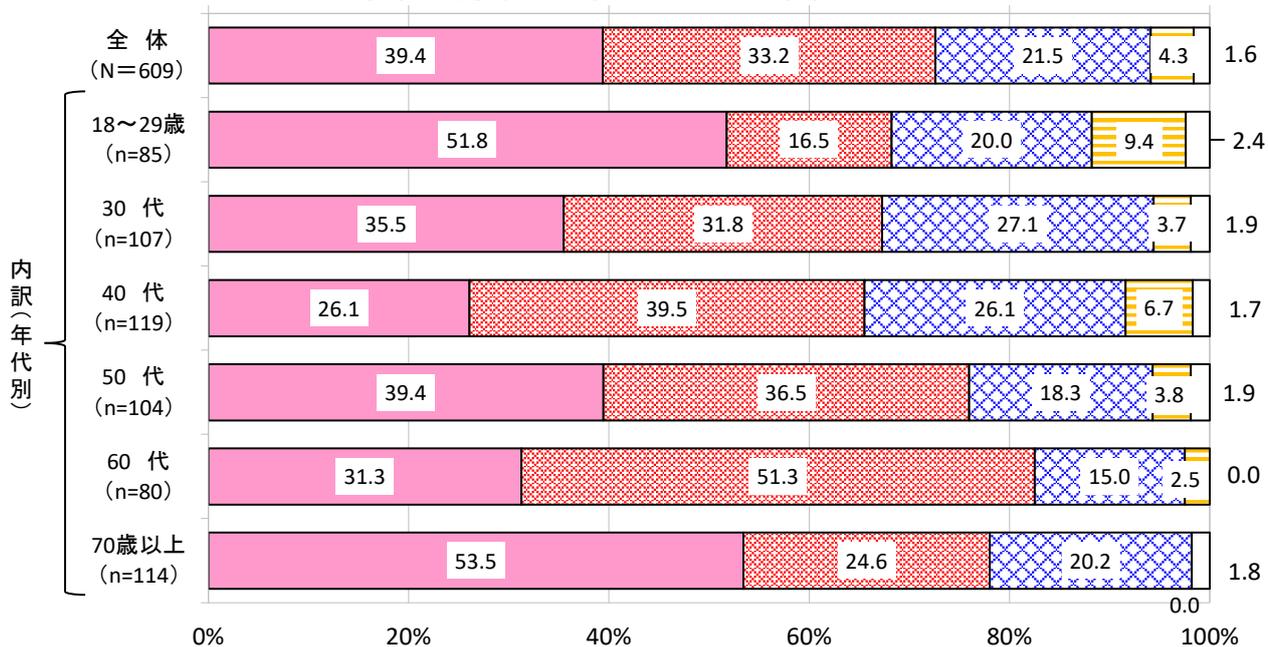


「外出時はマイバッグを持参している」を『実行している』と回答した方が91.3%と最も多く、次いで「古紙などは、リサイクルステーションや地域集団回収へ持って行くようにしている」が81.6%という結果になりました。

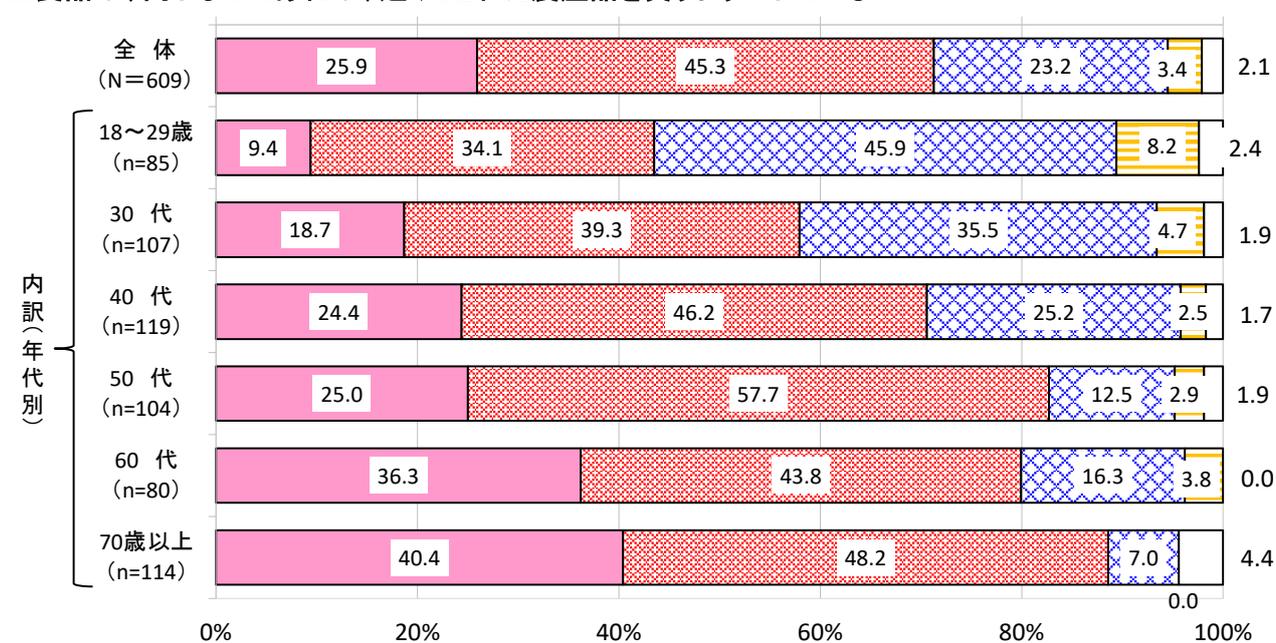
《環境に配慮する行動を実行しているか》（項目別：抜粋）



■外出時はなるべく自動車を使わず、徒歩や自転車、公共交通機関を利用するようにしている

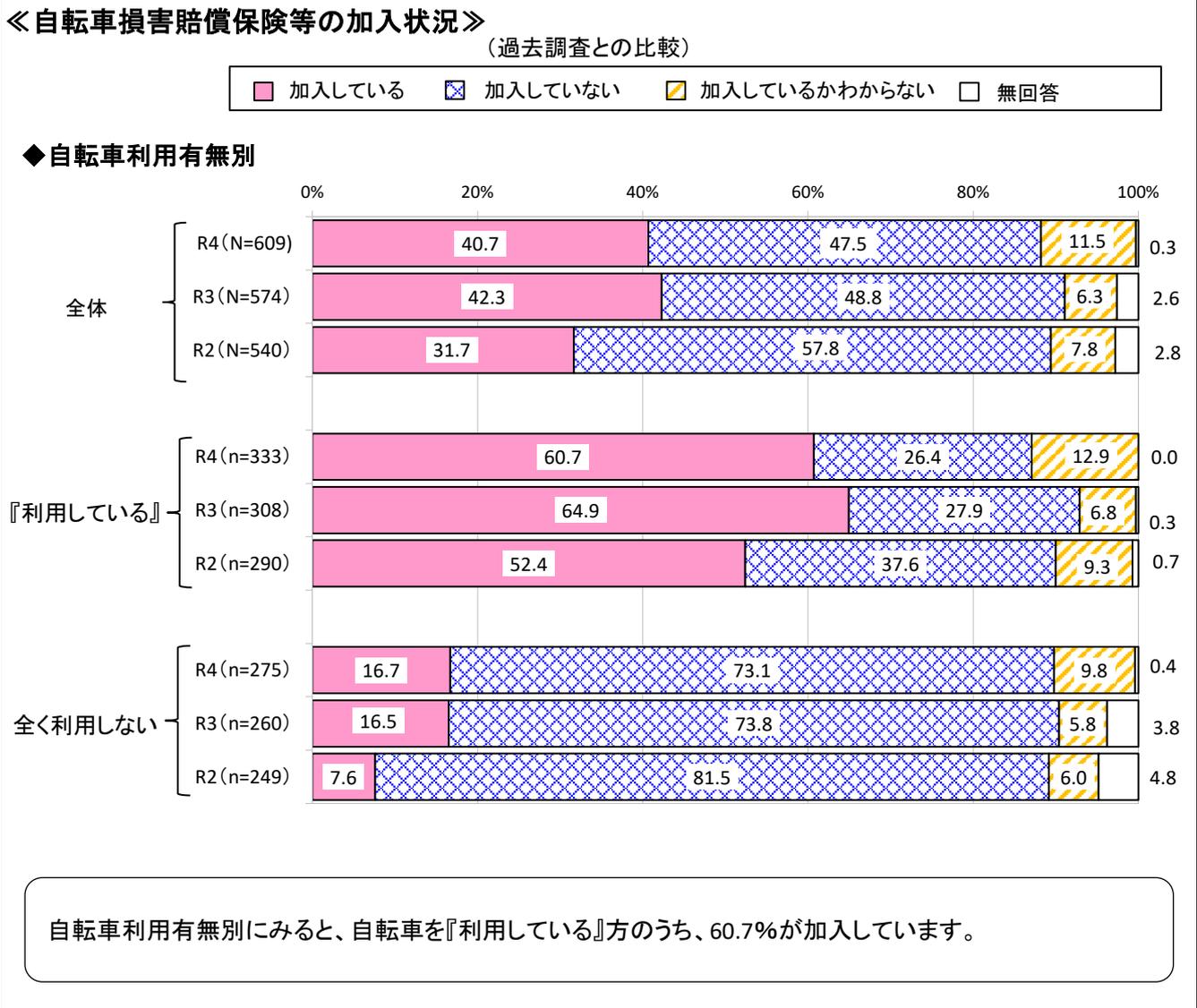
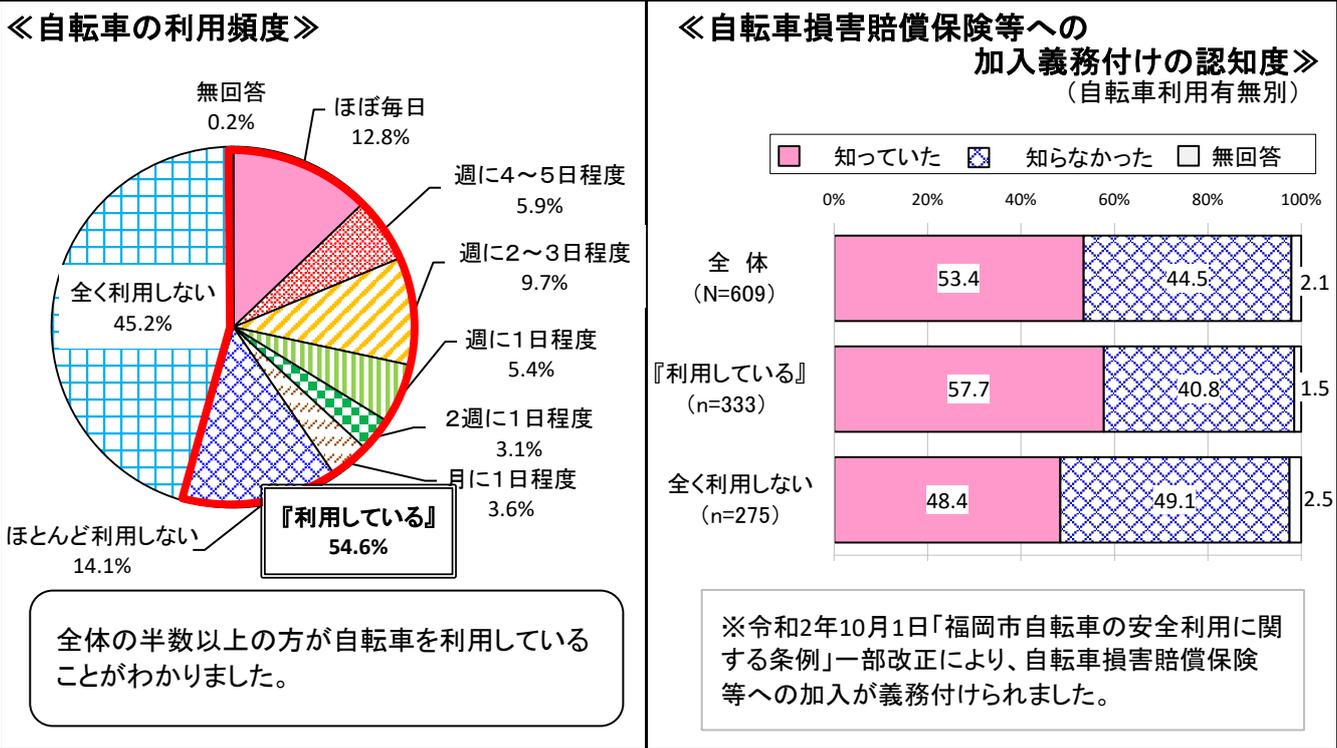


■食品は、同じものであれば、近くでとれた農産品を買うようにしている



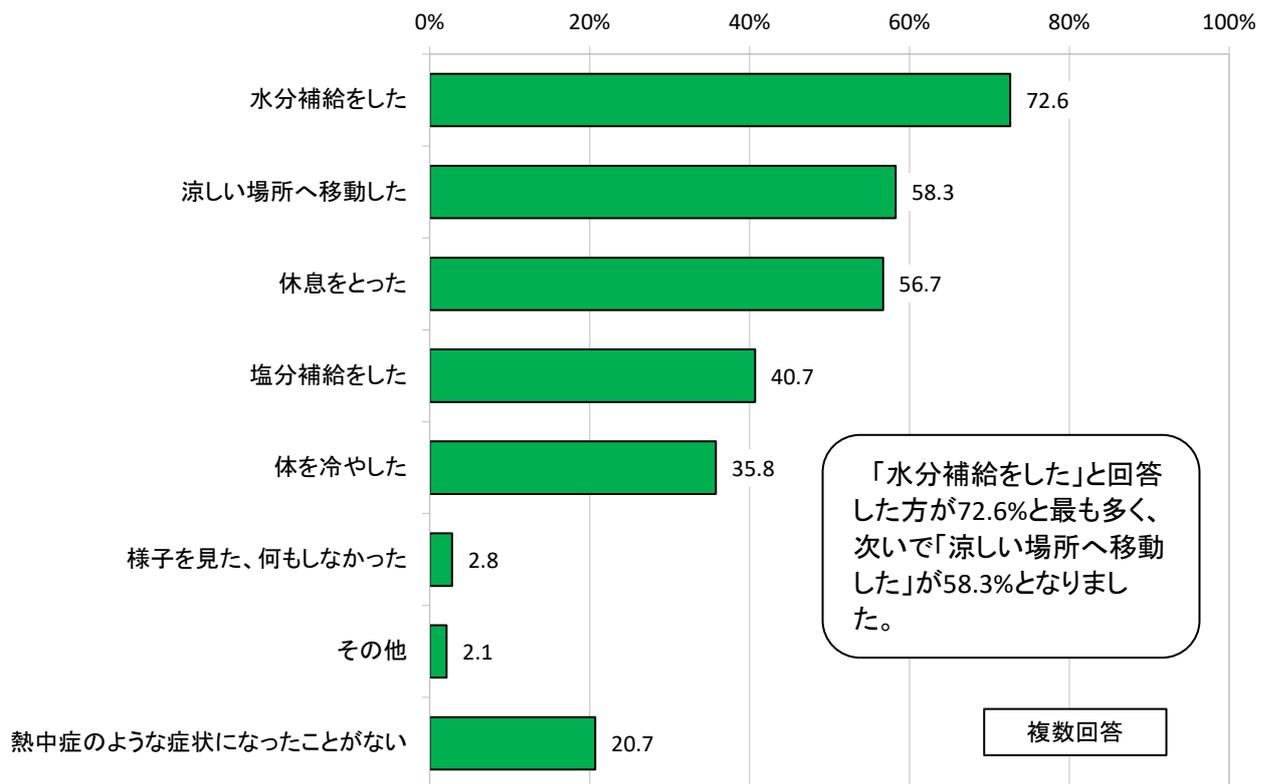
年代別にみると、「いつも実行している」と回答した方の割合は、概ね年代が上がるにつれて高くなっています。

③「自転車損害賠償保険等への加入状況」について(N=609)

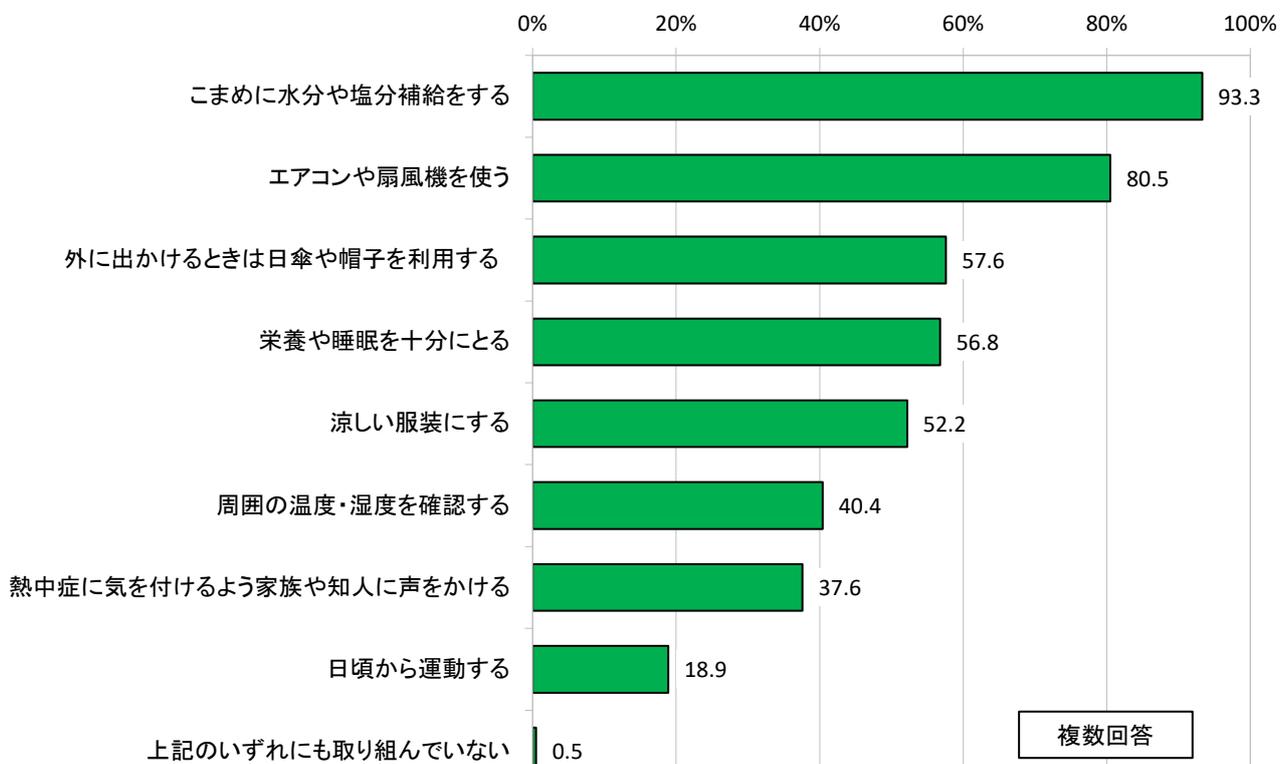


④「熱中症対策」について(N=609)

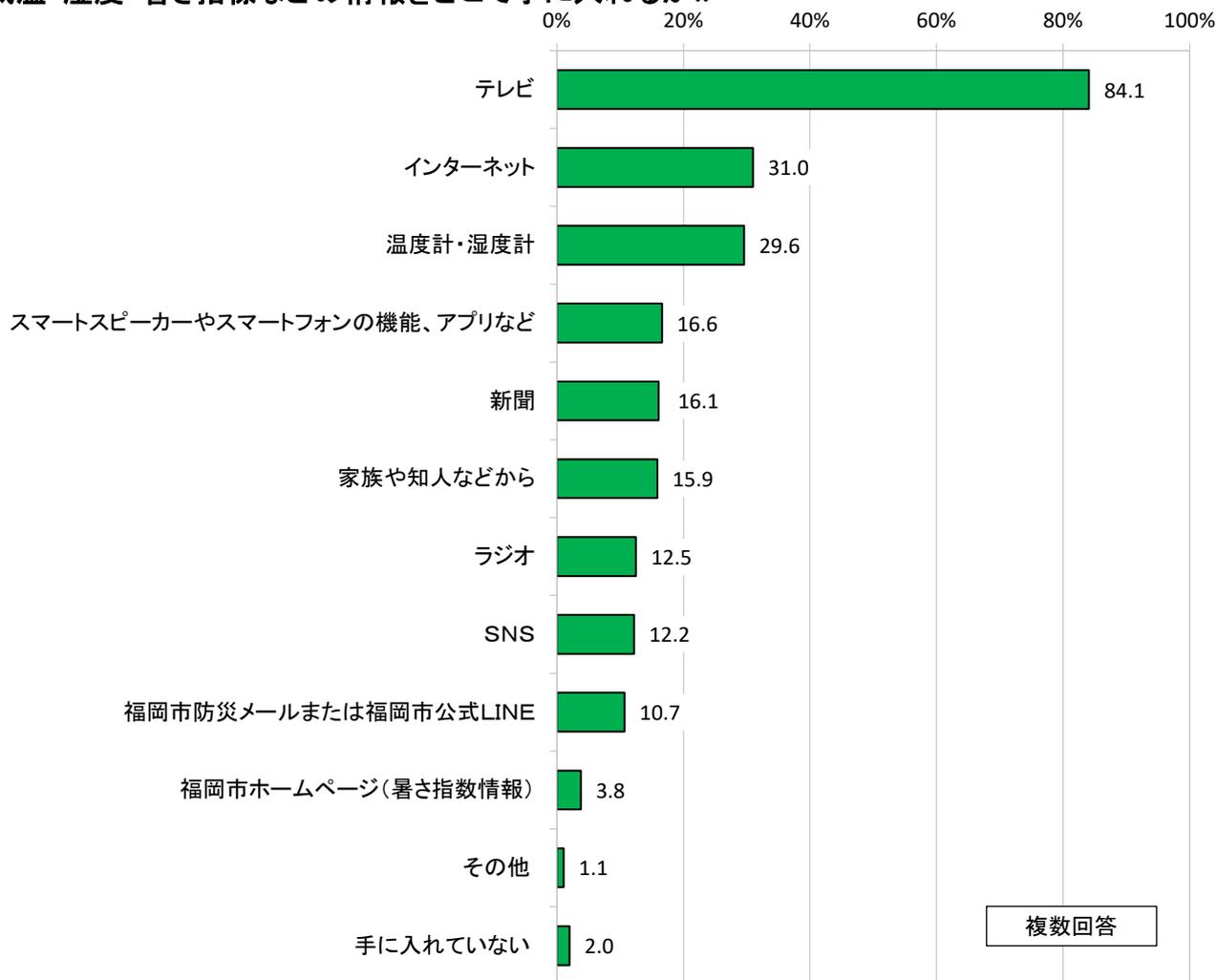
《熱中症になったかなと思ったときにとった行動》



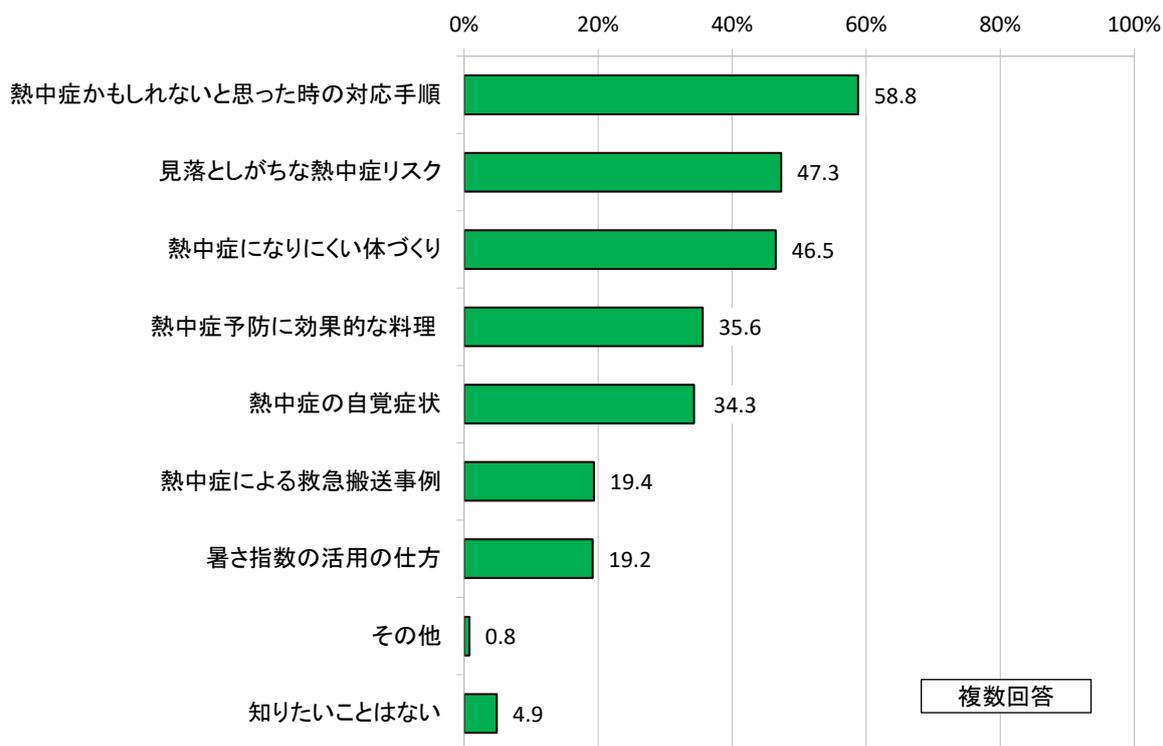
《熱中症対策として取り組んでいること》



《気温・湿度・暑さ指標などの情報をどこで手に入れるか》



《熱中症対策について知りたいこと》



第1回市政アンケート調査

〔テーマ・担当課〕

■調査期間	令和4年5月25日～6月8日
■調査数	681件
■回答数	609件
■有効回答率	89.4%

1. 「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について
(担当課：住宅都市局 活用課)
2. 「環境保全の意識」について
(担当課：環境局 環境政策課)
3. 「自転車損害賠償保険等への加入状況」について
(担当課：市民局 防犯・交通安全課)
4. 「熱中症対策」について
(担当課：環境局 環境保全課)

○ご記入いただいた個人情報、市政アンケート調査の集計のために利用した上で、個人情報保護に関する法令などにに基づき適正に管理いたします。

○提出期間を過ぎて提出されると、皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので、**提出期限は厳守**いただきますようお願いいたします。

○回答方法（選択肢の番号に○をつけてください。）

例) ① 知っている 2 知らない

調査協力員番号		お名前	
---------	--	-----	--

※ 調査協力員番号は **封筒の宛名シール** に記載しております。

(返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。)

（提出期限）6月8日（水）までにポストに投函してください。

《「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について》

舞鶴公園と大濠公園は、豊かな花・緑や水辺、歴史（鴻臚館・福岡城）、芸術文化（美術館・能楽堂など）といった、ここにしかない特徴を有しています。

福岡市ではこれらの特徴を活かし、両公園の一体的な活用を図るため、平成26年6月に福岡県と共同で「セントラルパーク構想」を策定し、市民の憩いと集客の拠点とすることを目指してさまざまな施策に取り組んでいます。

【現在の利用状況】



▲福岡城さくらまつり



▲秋の舞鶴公園であそぼう



▲多間櫓ウィーク



▲みどりまちマルシェ

【現況図】



問1 あなたは過去1年間に舞鶴公園・大濠公園を利用しましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=609) 無回答 2.6

1 どちらの公園も利用した	}	→	問2へ	26.9
2 舞鶴公園を利用した				4.6
3 大濠公園を利用した				20.5
4 どちらの公園も利用していない		→	問3へ	45.3

問2 ≪ 問1で「1」～「3」と回答した方におたずねします。≫

あなたは過去1年間に舞鶴公園・大濠公園をどのような目的で利用しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=317) 無回答 -

1 散策・ウォーキング・ランニング	65.3
2 季節の花々の鑑賞(サクラ、ウメ、ハスなど)	39.1
3 レクリエーション(ピクニック、遊具利用、バードウォッチングなど)	17.7
4 福岡城・鴻臚館	12.6
5 福岡市美術館、日本庭園、能楽堂	31.9
6 福岡城さくらまつり	26.2
7 イベント・講座・ガイドツアー(上記「6」を除く各種イベント)	5.7
8 陸上競技、球技(野球、サッカー、ラグビー、テニスなど)	4.4
9 カフェ・レストラン	31.5
10 その他(具体的に：)	2.8

≪ すべての方におたずねします。≫

問3 あなたは今後、舞鶴公園・大濠公園でどのような分野のボランティア活動ができれば参加したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=609) 無回答 1.1

1 歴史(ガイド)	13.6
2 いきもの(保護)	14.8
3 花壇、草花(花やみどりの維持管理)	27.4
4 ペットマナー(巡回)	7.1
5 イベント(誘導案内)	16.9
6 清掃(環境美化活動)	28.4
7 ジョギング(通行レーンの指導)	11.2
8 その他(具体的に：)	1.6
9 参加しない	36.5

問4 あなたが思う、舞鶴公園・大濠公園の魅力はどのようなところですか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。(N=609) 無回答 4.1

1 立地（アクセスがよい）	47.9
2 季節の花々（サクラ、ウメなど）	41.1
3 自然、景観（緑地、水辺など）	58.1
4 レクリエーション（ピクニック、遊具利用、バードウォッチングなど）	10.0
5 歴史（鴻臚館や福岡城）	17.9
6 芸術文化（美術館など）	18.6
7 イベント（福岡城さくらまつりなど）	14.3
8 健康づくり（ウォーキングなど）	25.9
9 休憩施設（カフェ、レストラン）	15.6
10 スポーツ（陸上競技場、球技場など）	3.9
11 その他（具体的に：)	0.7
12 特にない	3.4

問5 舞鶴公園・大濠公園についての総合的な満足度はいかがですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=609) 無回答 0.5

1 満足	31.2
2 どちらかといえば満足	52.2
3 どちらかといえば不満	2.8
4 不満	1.0
5 わからない	12.3

問6 舞鶴公園・大濠公園で改善した方が良く思うところは何ですか。特にあてはまるものを5つまで選んでください。(N=609) 無回答 0.7

1 園路が歩きにくい	4.9
2 樹木が生い茂り暗い	4.6
3 水辺（お濠）の管理が不十分	17.2
4 眺望が得られない、見通しが悪い	4.9
5 施設や歴史の解説や案内が不十分	14.8
6 売店や飲食店などの店舗が少ない	37.1
7 観光拠点として目玉となる施設がない	28.1
8 出入り口がわかりづらい	19.7
9 イベント・行事が十分でない	14.4
10 駐車場が少ない	45.3
11 ベンチ（休憩スペース）が少ない	28.6
12 その他（具体的に：)	8.4
13 特にない	15.9

問7 あなたは今後、舞鶴公園・大濠公園でどのようなことができれば、利用したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=609) 無回答 0.5

1	季節の花の祭りや演出	43.3
2	季節の花を楽しめるガイドツアー	12.3
3	樹林や野鳥などの観察会	10.7
4	健康づくり教室(ウォーキング、ヨガなど)	18.9
5	アウトドアや自然体験	22.8
6	スポーツ教室、スポーツ大会の開催	11.8
7	鴻臚館や福岡城の復元建物の見学や利用	21.3
8	歴史案内ガイドツアー	12.5
9	伝統文化や伝統行事の鑑賞や体験	18.1
10	美術や音楽などの芸術鑑賞や体験	33.7
11	ストリートパフォーマンス(大道芸や演奏、ダンスなど)の鑑賞	17.1
12	カフェやキッチンカーなどの飲食店の利用	40.7
13	出店、飲食イベント	35.5
14	ナイトアクティビティ(ライトアップ、星の観察会、夜のお茶会など)	37.3
15	その他(具体的に：)	3.3
16	特にない	7.2

《「環境保全の意識」について》

私たちを取り巻く環境問題は、気候変動による自然災害などの増加、プラスチックごみによる海洋汚染、黄砂やPM2.5といった越境大気汚染など、複雑多様化しており、環境啓発の推進に努める必要があります。

問8・問9 環境を守ったり、良くしたりするためには、一人ひとりの行動が大切です。あなたは①日頃、次のことを実行していますか。また、②今後はどのようにお考えですか。(1)～(8)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=609)		問8					問9				
		① 現在					② 今後				
		いつも実行している	たまに実行している	実行していない	該当しない	無回答	実行したい	実行したい どちらかといえば	どちらかといえば 実行したくない	実行したくない	無回答
例	(0)○○○○○	1	2	③	4		1	②	3	4	
	(1)外出時はマイバッグを持参している	73.9	17.4	5.4	2.0	1.3	77.2	13.3	2.3	0.8	6.4
	(2)エコマーク・グリーンマークなどのついた、環境に優しい製品を選ぶよう心がけている	10.2	37.6	43.7	6.6	2.0	33.5	52.2	5.7	3.0	5.6
	(3)食品は、同じものであれば、近くでとれた農産品を買うようにしている	25.9	45.3	23.2	3.4	2.1	46.8	40.9	4.6	2.1	5.6
	(4)冷房時の室温は28℃、暖房時の室温は20℃を目安にしている	26.3	38.8	29.6	3.6	1.8	38.9	38.1	12.3	5.3	5.4
	(5)屋上や壁面、ベランダ、庭で植物を育て、緑化に取り組んでいる	31.4	18.4	38.8	9.9	1.6	42.0	31.7	13.5	7.1	5.7
	(6)古紙などは、リサイクルステーションや地域集団回収へ持って行くようにしている	62.2	19.4	14.0	2.8	1.6	69.1	18.4	4.1	2.1	6.2
	(7)外出時はなるべく自動車を使わず、徒歩や自転車、公共交通機関を利用するようにしている	39.4	33.2	21.5	4.3	1.6	50.2	32.3	8.5	3.3	5.6
	(8)自動車を使用するときは、不要なアイドリングや空ふかし、急発進などをしないようにしている	55.3	13.6	3.6	24.0	3.4	73.6	10.7	1.3	3.8	10.7

問 10・問 11 あなたは、市・区役所や地域の環境に関する活動に、①過去1年以内に参加したことがありますか。また、②今後はどのようにお考えですか。(1)～(4)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=609)	問 10			問 11				
	①1年以内			②今後				
	参加したことがある	参加したことがない	無回答	参加したい	参加したい どちらかといえば	参加したくない	参加したくない どちらかといえば	参加したくない
(1) 自然環境の保全につながる活動（河川・海岸清掃、自然環境イベントへの参加など）	11.3	88.5	0.2	14.6	44.3	28.6	11.2	1.3
(2) リサイクル活動（地域集団回収、資源物回収拠点への持参、段ボールコンポストなど）	53.9	45.6	0.5	40.1	31.9	18.1	7.7	2.3
(3) 脱炭素につながる活動（再生可能エネルギー・省エネルギーに関する各種講座やイベントへの参加など）	5.4	94.1	0.5	11.2	41.7	32.8	12.5	1.8
(4) 環境美化活動（地域清掃、緑化活動、花壇の整備など）	25.3	74.2	0.5	20.0	45.0	24.3	9.0	1.6

1つでも「3」「4」と回答した方は問 12 へ

問 12 ≪ 問 11 で1つでも「3」「4」と回答した方におたずねします。≫
 そのように考える理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。
 (n=335) 無回答 0.3

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1 時間帯の都合が合わないから | 40.0 |
| 2 仕事や家事などで時間がとれないから | 48.4 |
| 3 費用がかかるから（交通費や参加費など） | 13.1 |
| 4 健康や体力面で、活動に参加することが難しいから | 23.6 |
| 5 団体活動などの情報が得られないから | 11.3 |
| 6 参加しても環境保全に役立つのかわからないから | 9.9 |
| 7 一人では参加しにくいから（一緒に参加する仲間がないから） | 30.4 |
| 8 その他（具体的に：) | 7.8 |
| 9 興味がないから | 6.0 |

《 すべての方におたずねします。 》

問13 あなたは、環境についてどのような情報に関心がありますか。(1)～(8)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=609)	関心がある	関心がある どちらかといえば	関心がない どちらかといえば	関心がない	無回答
(1)まちなかの緑や水辺など自然の美しさ	59.6	35.8	3.3	1.0	0.3
(2)生きものの種類や数、生息する場所といった生物多様性	34.8	42.2	18.6	3.8	0.7
(3)地球温暖化などの地球環境問題	45.0	45.2	7.2	2.0	0.7
(4)再生可能エネルギーや省エネルギー	40.1	43.8	12.6	2.6	0.8
(5)購入する製品・サービスが環境に与える影響	28.7	50.7	16.4	3.1	1.0
(6)自然とふれあうための施設やイベント・セミナー	24.3	46.6	22.3	6.1	0.7
(7)市民・団体・企業が行う環境活動	13.8	48.9	28.2	8.0	1.0
(8)環境問題に関する市の取組み	26.8	50.7	18.2	3.6	0.7

◀ 「自転車損害賠償保険等への加入状況」について ▶

福岡市では、近年、自転車利用者が加害者となる事故において、加害者側に高額な損害賠償を命じる事例が全国的にも相次いでいることから、事故による被害者を救済するため、「福岡市自転車の安全利用に関する条例」において、令和2年10月1日より、自転車利用者、事業者、自転車貸出業者の皆さまなどに対し、自転車損害賠償保険等への加入を義務付けています。

※ 自転車損害賠償保険等とは、自転車を利用中の事故により、他人にけがをさせてしまった場合などの損害を賠償するための保険や共済のことです。

- 具体的なものとしては、下記の表のとおり、個人賠償責任保険や自動車保険の特約、クレジットカードの付帯保険など、さまざまな種類があります。

自転車損害賠償保険等の種類		保険の概要
個人賠償責任保険	自転車利用者向け保険	自転車事故に備えた保険
	自動車保険の特約	自動車保険の特約で付帯した保険
	火災保険の特約	火災保険の特約で付帯した保険
	傷害保険の特約	傷害保険の特約で付帯した保険
団体保険	会社などの団体保険	団体の構成員向けの保険
	P T A の保険	P T A や学校が窓口の保険
共済		全労災、その他共済など
TSマーク付帯保険		自転車安全整備士が点検整備した自転車に付帯した保険
クレジットカードの付帯保険		クレジットカードに付帯した保険

問14 あなたは、どのくらいの頻度で自転車を利用しますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=609) 無回答 0.2

1 ほぼ毎日	12.8	5 2週に1日程度	3.1
2 週に4～5日程度	5.9	6 月に1日程度	3.6
3 週に2～3日程度	9.7	7 ほとんど利用しない	14.1
4 週に1日程度	5.4	8 全く利用しない	45.2

問15 あなたは、自転車損害賠償保険等に加入していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(自転車の所有、利用の有無にかかわらず、ご回答ください。)

(N=609) 無回答 0.3

1 加入している	→	問16へ	40.7
2 加入していない	→	問17へ	47.5
3 加入しているかわからない	→	問18へ	11.5

問 16 ≪ 問 15で「1」と回答した方におたずねします。≫

あなたは、どの自転車損害賠償保険等に加入していますか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=248) 無回答 -

1 個人賠償責任保険	75.4
2 団体保険	12.5
3 共済	7.7
4 TSマーク付帯保険	6.9
5 クレジットカードの付帯保険	7.7
6 その他（具体的に：)	0.8
7 わからない	8.1

問 17 ≪ 問 15で「2」と回答した方におたずねします。≫

自転車損害賠償保険等に加入していない理由は何ですか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。(n=289) 無回答 -

1 普段、自転車を利用しないから	80.6
2 加入する必要性を感じていないから	8.3
3 保険があることを知らなかったから	5.9
4 加入の方法がわからないから	6.9
5 どの保険に加入してよいかわからないから	10.0
6 保険料が高いから	4.2
7 その他（具体的に：)	10.0

≪ すべての方におたずねします。≫

問 18 福岡市では「福岡市自転車の安全利用に関する条例」において、令和2年10月1日より、自転車利用者、事業者、自転車貸出業者などに対し、自転車損害賠償保険等への加入を義務付けています。あなたは、このことを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=609) 無回答 2.1

1 知っていた	53.4	2 知らなかった	44.5
---------	------	----------	------

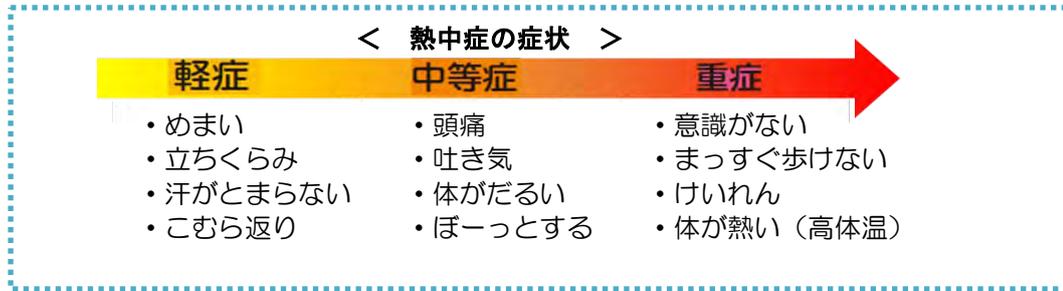
【 自転車事故の保険等に加入しましょう！ 】

福岡市のホームページでは、保険加入の義務化対象者や保険の種類、また、保険の加入状況を確認するフローを作成していますので、ご活用ください。

《 「熱中症対策」 について 》

毎年、熱中症で多くの方が救急搬送されており、昨年は福岡市内でも 468 人が救急搬送されました。熱中症は予防行動をとることで未然に防ぐことができ、発症しても適切な応急手当てをすることで重症化を防ぐことができます。

問 19 熱中症は、室温や気温が高い状態で体温調節が働かなくなり、さまざまな症状が現れます。熱中症の症状について、下の図の症状 12 項目のうち、どの程度知っていましたか。あてはまるものを 1 つだけ 選んでください。 (N = 609) 無回答 0.2



- | | |
|--------------------|------|
| 1 よく知っていた (9~12個) | 46.0 |
| 2 半分程度知っていた (5~8個) | 42.4 |
| 3 あまり知らなかった (1~4個) | 9.9 |
| 4 全く知らなかった | 1.6 |

問 20 あなたは、これまで、熱中症になったかなと思ったときにどのような行動をとりましたか。あてはまるものを すべて 選んでください。 (N = 609) 無回答 0.2

- | | |
|--------------------|------|
| 1 様子を見た、何もしなかった | 2.8 |
| 2 水分補給をした | 72.6 |
| 3 塩分補給をした | 40.7 |
| 4 体を冷やした | 35.8 |
| 5 涼しい場所へ移動した | 58.3 |
| 6 休息をとった | 56.7 |
| 7 その他 (具体的に:) | 2.1 |
| 8 熱中症のような症状にならなかった | 20.7 |

問 21 熱中症対策として、下記のうちどれに取り組んでいますか。あてはまるものを すべて 選んでください。 (N = 609) 無回答 -

- | | |
|--------------------------|------|
| 1 エアコンや扇風機を使う | 80.5 |
| 2 こまめに水分や塩分補給をする | 93.3 |
| 3 栄養や睡眠を十分にとる | 56.8 |
| 4 周囲の温度・湿度を確認する | 40.4 |
| 5 日頃から運動する | 18.9 |
| 6 外に出かけるときは日傘や帽子を利用する | 57.6 |
| 7 涼しい服装にする | 52.2 |
| 8 熱中症に気を付けるよう家族や知人に声をかける | 37.6 |
| 9 上記のいずれにも取り組んでいない | 0.5 |

問 22 どのようなときに熱中症対策を意識しますか。特にあてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=609) 無回答 5.4

- | | |
|-------------------|------|
| 1 暑いと感じてから | 40.1 |
| 2 天気予報などで聞いてから | 49.1 |
| 3 人から対策するよう言われてから | 1.3 |
| 4 その他（具体的に：) | 1.8 |
| 5 意識しない | 2.3 |

問 23 気温・湿度・暑さ指数（熱中症の発生しやすさの目安）など、その日の熱中症予防の参考となる情報をどこで手に入れてありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(N=609) 無回答 0.5

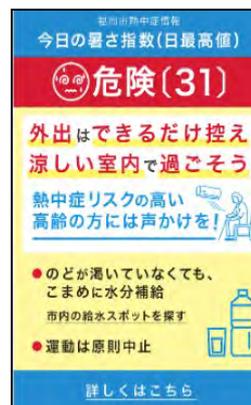
- | | |
|-------------------------------|------|
| 1 テレビ | 84.1 |
| 2 ラジオ | 12.5 |
| 3 新聞 | 16.1 |
| 4 福岡市ホームページ（暑さ指数情報） | 3.8 |
| 5 福岡市防災メールまたは福岡市公式LINE(ライン) | 10.7 |
| 6 SNS（上記「5」を除く） | 12.2 |
| 7 スマートスピーカー※やスマートフォンの機能、アプリなど | 16.6 |
| 8 インターネット（上記「4」～「7」を除く） | 31.0 |
| 9 温度計・湿度計 | 29.6 |
| 10 家族や知人などから | 15.9 |
| 11 その他（具体的に：) | 1.1 |
| 12 手に入れていない | 2.0 |

※ スマートスピーカー（AIスピーカー）とは
対話型の音声操作に対応した AI アシスタント機能を持つスピーカー。
内蔵されているマイクで音声を認識し、情報の検索や連携家電の操作を行う。

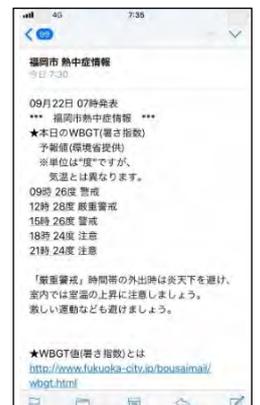
問 24 熱中症の危険性が高い日に、登録者に対して福岡市公式 LINE(ライン)及び福岡市防災メールが配信されることを知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=609) 無回答 0.5

- | | |
|--------------------------|------|
| 1 どちらも知っている | 14.6 |
| 2 福岡市公式 LINE(ライン)のみ知っている | 12.8 |
| 3 福岡市防災メールのみ知っている | 10.5 |
| 4 どちらも知らない | 61.6 |



福岡市公式 LINE(ライン)



福岡市防災メール

問 25 熱中症対策について知りたいことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(N=609) 無回答 0.8

1 熱中症の自覚症状	34.3
2 見落としがちな熱中症リスク	47.3
3 熱中症かもしれないと思った時の対応手順	58.8
4 熱中症による救急搬送事例	19.4
5 熱中症になりにくい体づくり	46.5
6 熱中症予防に効果的な料理	35.6
7 暑さ指数の活用の仕方	19.2
8 その他（具体的に：)	0.8
9 知りたいことはない	4.9

問 26 福岡市が行う熱中症対策について、どのような取組みが効果的だと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。(N=609) 無回答 3.0

1 日陰づくり（樹木の植え付けや屋根の設置など）	66.7
2 緑のカーテン（アサガオなどのつる植物を活用）の普及促進	37.8
3 ミスト装置の設置	53.5
4 日傘の利用推進	22.8
5 リーフレットなどの紙媒体による広報啓発	4.1
6 SNS（ツイッター、フェイスブック、ラインなど）等のネット媒体による広報啓発	17.1
7 熱中症予防や応急処置に役立つグッズの作成と配布	28.7
8 その他（具体的に：)	4.1
9 特にない	2.3

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。
記入漏れや誤りがないか再度確認の上、同封の返信用封筒にて
ご返送をお願いします。

【標本構成（第1回）】(N=609)

◆性別

男性	47.1
女性	52.9

◆年齢

18～29歳	14.0
30代	17.6
40代	19.5
50代	17.1
60代	13.1
70歳以上	18.7

◆職業

正社員・正職員	38.8
契約社員・派遣社員・嘱託	5.4
パート・アルバイト	13.0
会社等役員	2.8
自営業・家族従事者	6.2
専業主婦・専業主夫	11.7
学生	4.9
無職	14.6
その他	2.6

◆行政区

東区	21.0
博多区	14.0
中央区	12.5
南区	17.6
城南区	9.5
早良区	12.2
西区	13.3

◆居住年数

3年未満	10.8
3年以上5年未満	7.6
5年以上10年未満	10.5
10年以上20年未満	18.7
20年以上30年未満	19.5
30年以上	32.8

◆居住形態

持家の戸建て	27.3
持家の集合住宅	29.6
賃貸の戸建て	1.8
賃貸の集合住宅	37.6
社宅・寮	2.3
その他	1.5

◆18歳未満の同居家族

いる	32.0
いない	61.6
無回答	6.4

◆65歳以上の同居家族

いる	35.6
いない	63.7
無回答	0.7

◆回答方法

郵送	50.4
WEB	49.6

令和4年度 市政アンケート調査 第2回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民682人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和4年4月7日から令和5年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内:郵送・メール、回答:郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第2回調査の概要

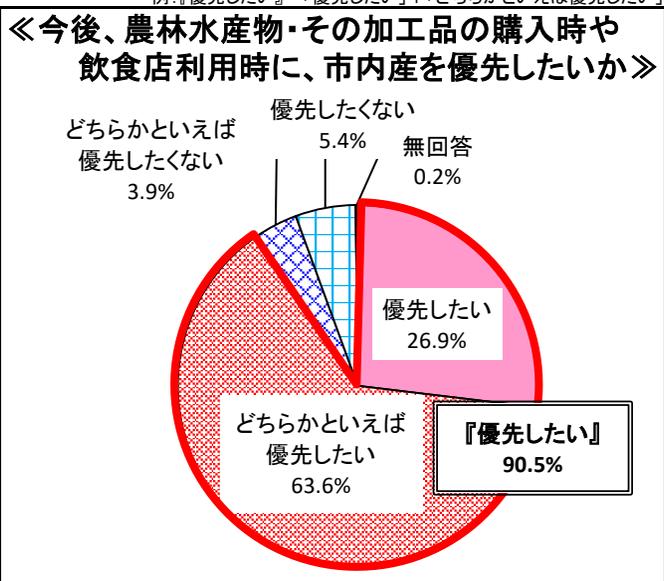
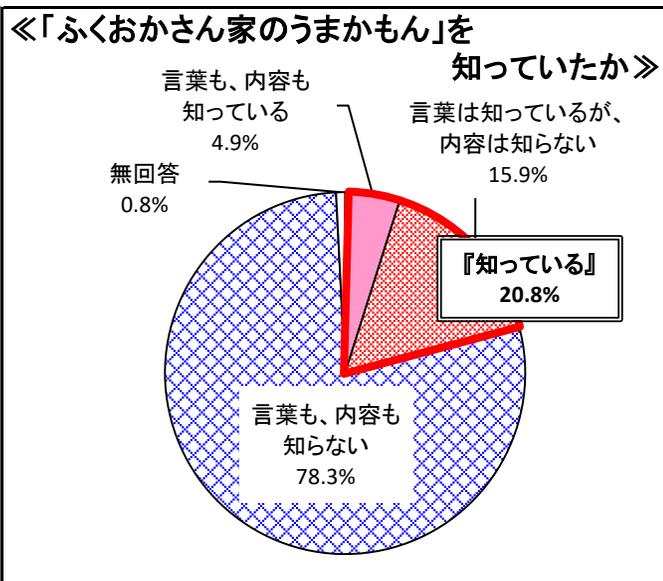
- (1) 調査時期
- 令和4年6月24日から7月8日まで
- (2) 調査対象者数
- 680人
- (3) 回答者数
- 591人
- (4) 有効回答率
- 86.9%
- (5) 調査テーマ
- ①「ふくおかさん家のうまかもん」について
 - ②「消費生活」について
 - ③「省エネルギーと再生可能エネルギー」について
 - ④「福岡スマートシェアサイクル事業」について
 - ⑤「ユマニチュード®」について

3. 注意点

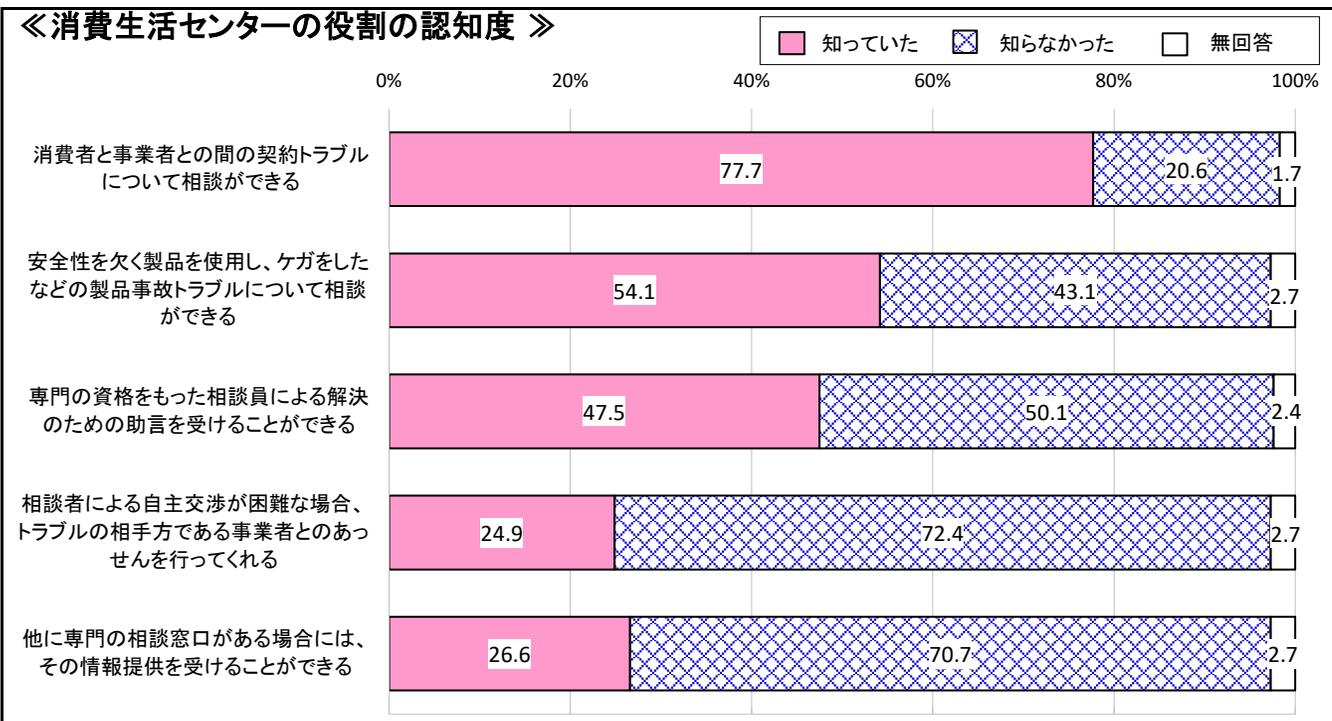
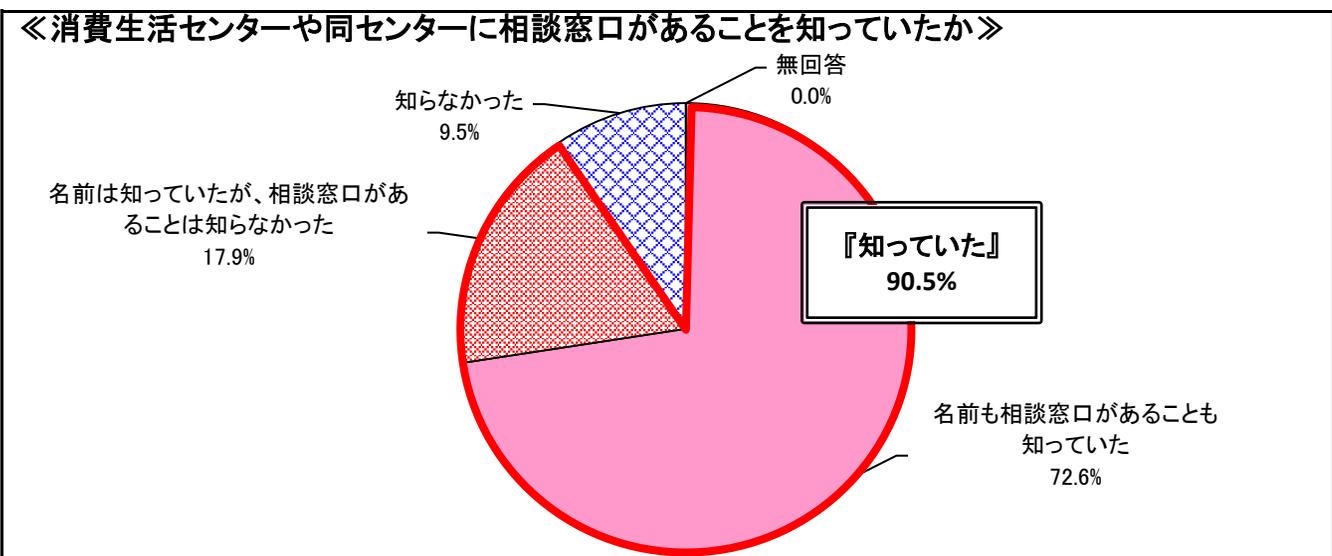
- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「ふくおかさん家のうまかもん」について(N=591)

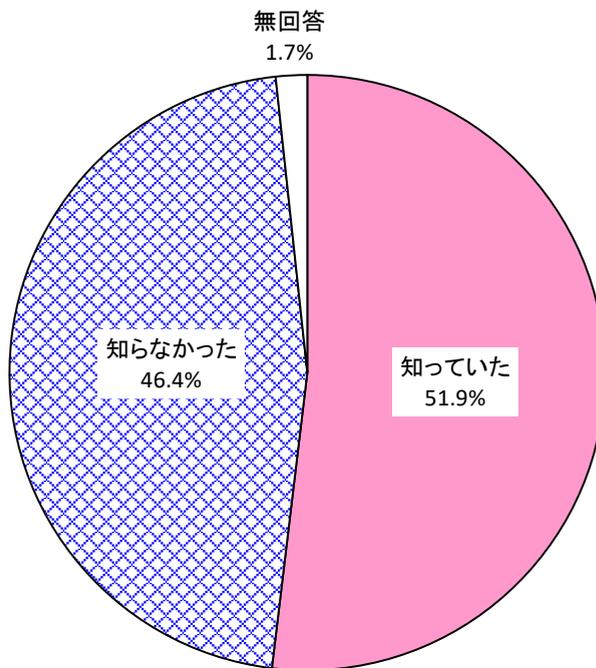
※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの
例:『優先したい』=「優先したい」+「どちらかといえば優先したい」



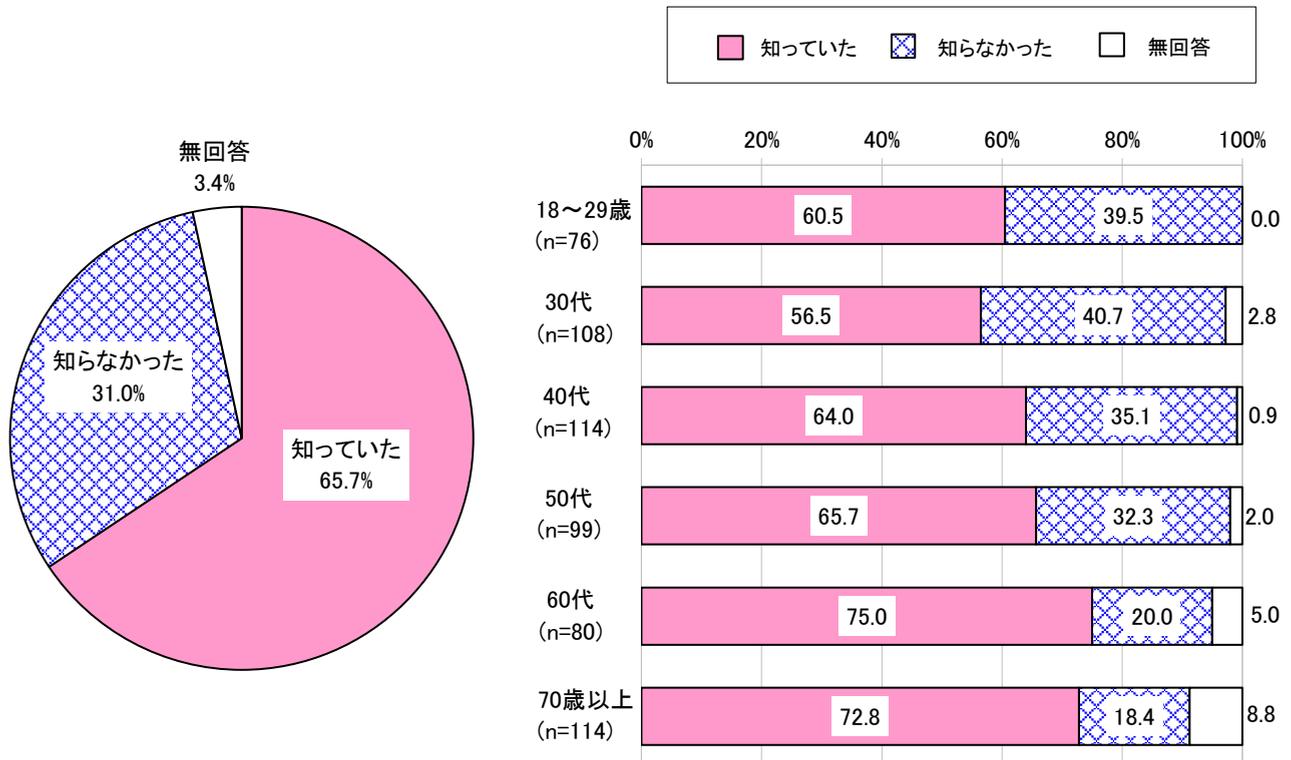
②「消費生活」について(N=591)



《店舗や通信販売で購入・利用契約をした場合、
クーリング・オフができないことを知っていたか》



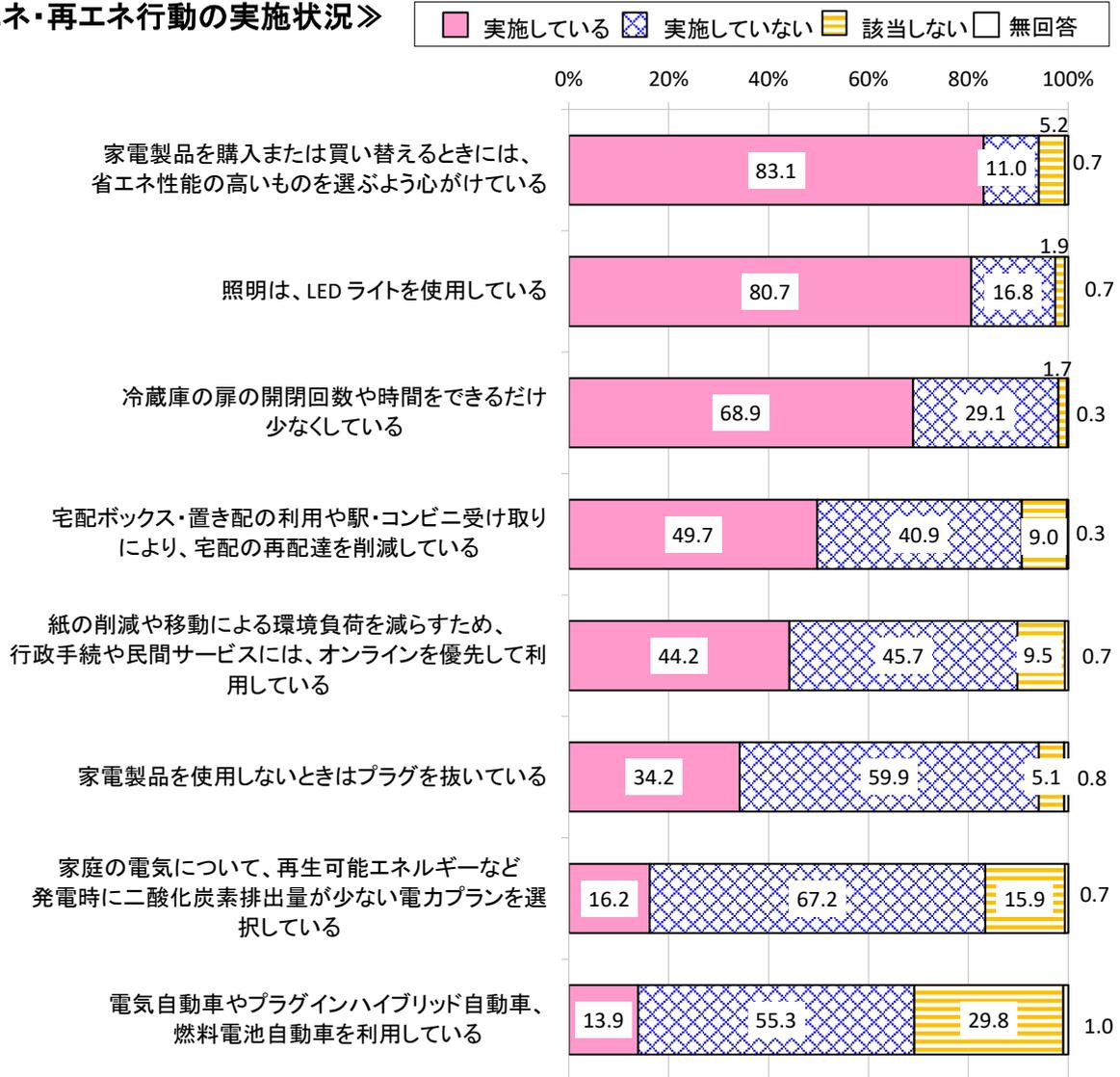
《令和4年4月から「未成年者取消権」が18歳、19歳に適用されなくなったことを知っていたか》



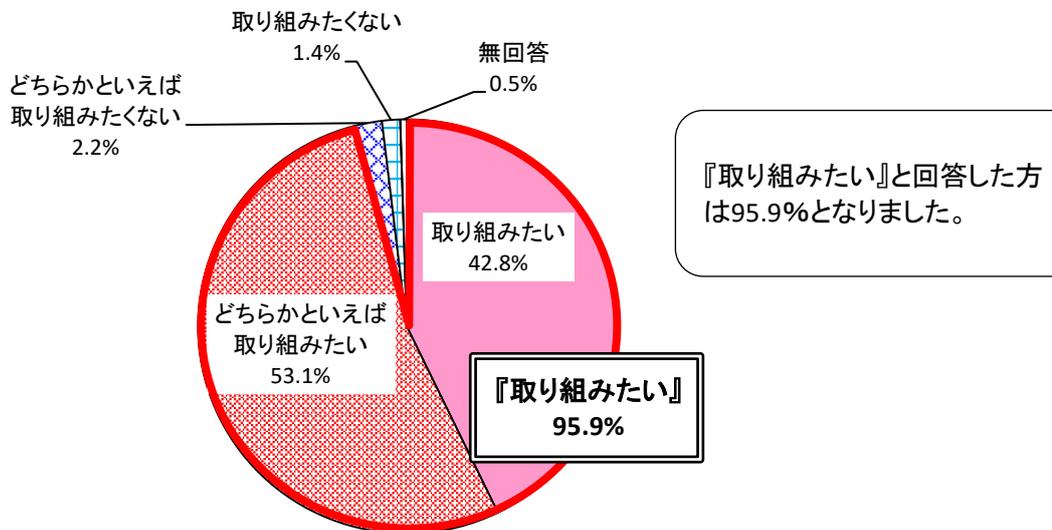
「知っていた」と回答した方は全体の65.7%となりました。年代別にみると、60代で「知っていた」の割合が最も高く75.0%となりました。

③「省エネルギーと再生可能エネルギー」について(N=591)

《省エネ・再エネ行動の実施状況》

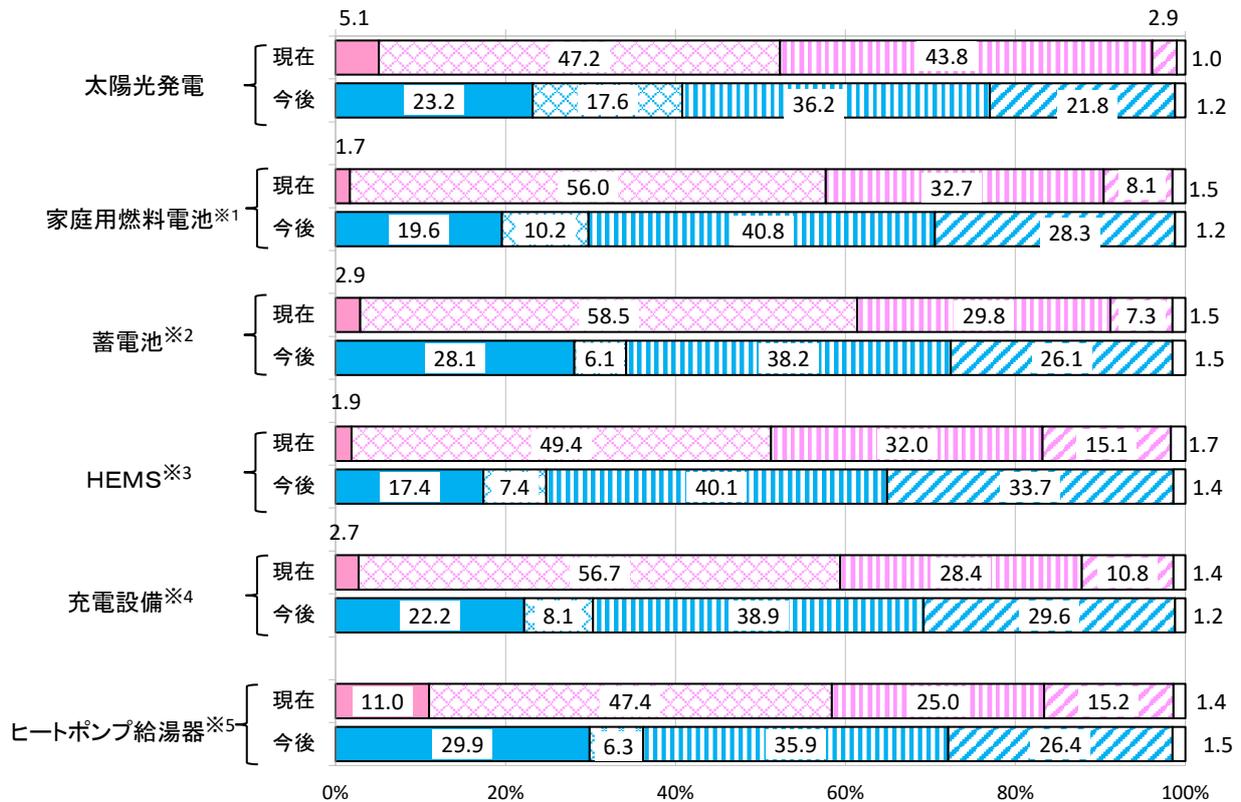


《省エネ・再エネ行動に取り組みたいと思うか》



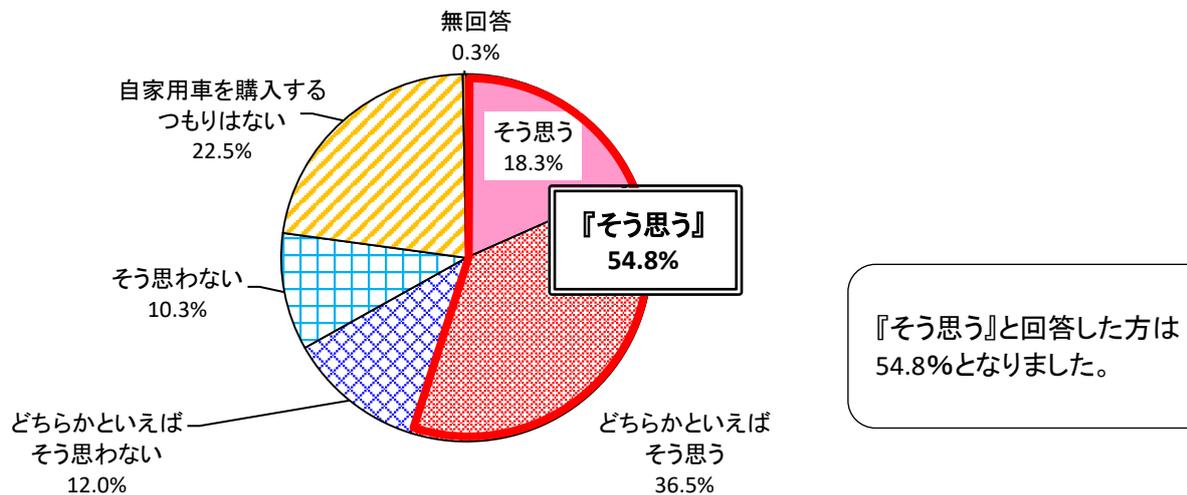
《省エネ・再エネ機器の設置状況と今後の設置意向》

【現在】 ■ 設置している ■ 設置していない ■ 設置できない ■ わからない □ 無回答
 【今後】 ■ 設置したい ■ 設置したくない ■ 決めていない ■ わからない □ 無回答

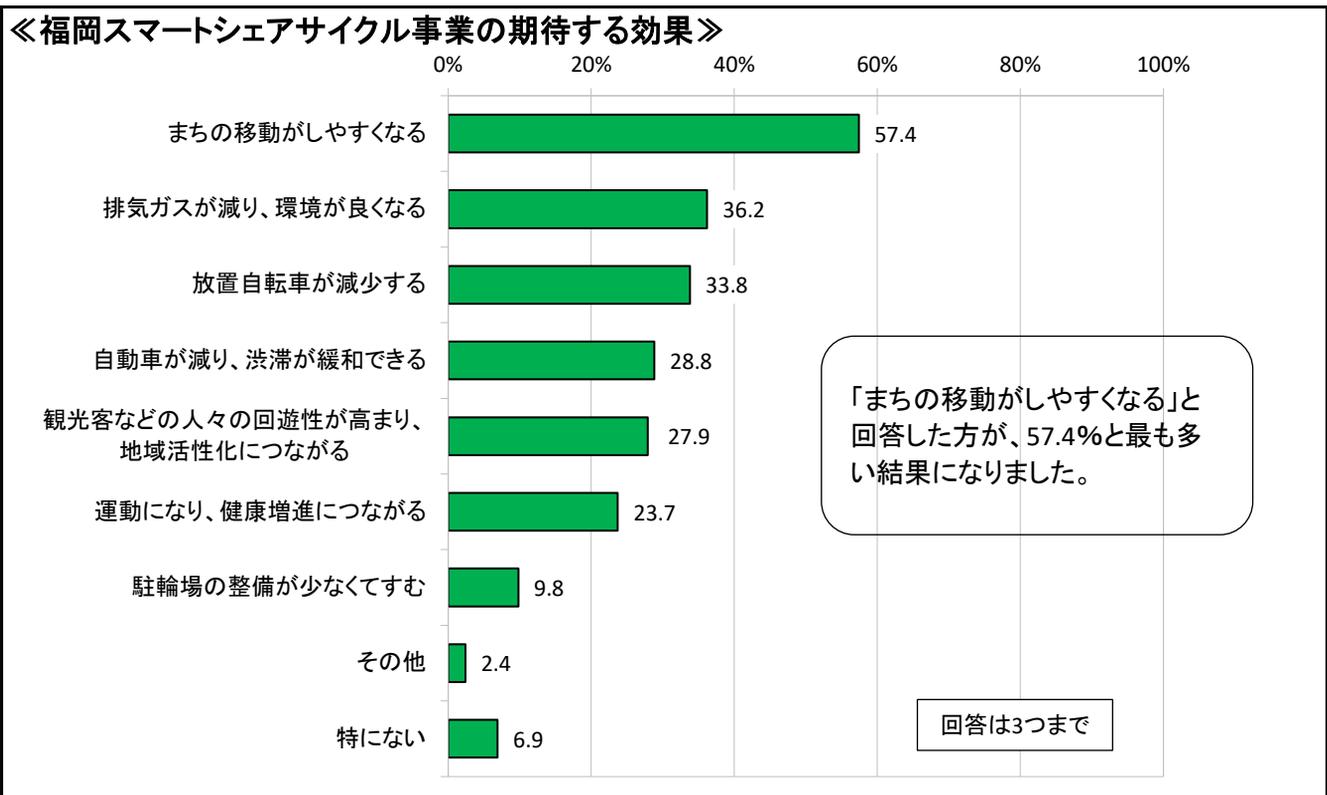
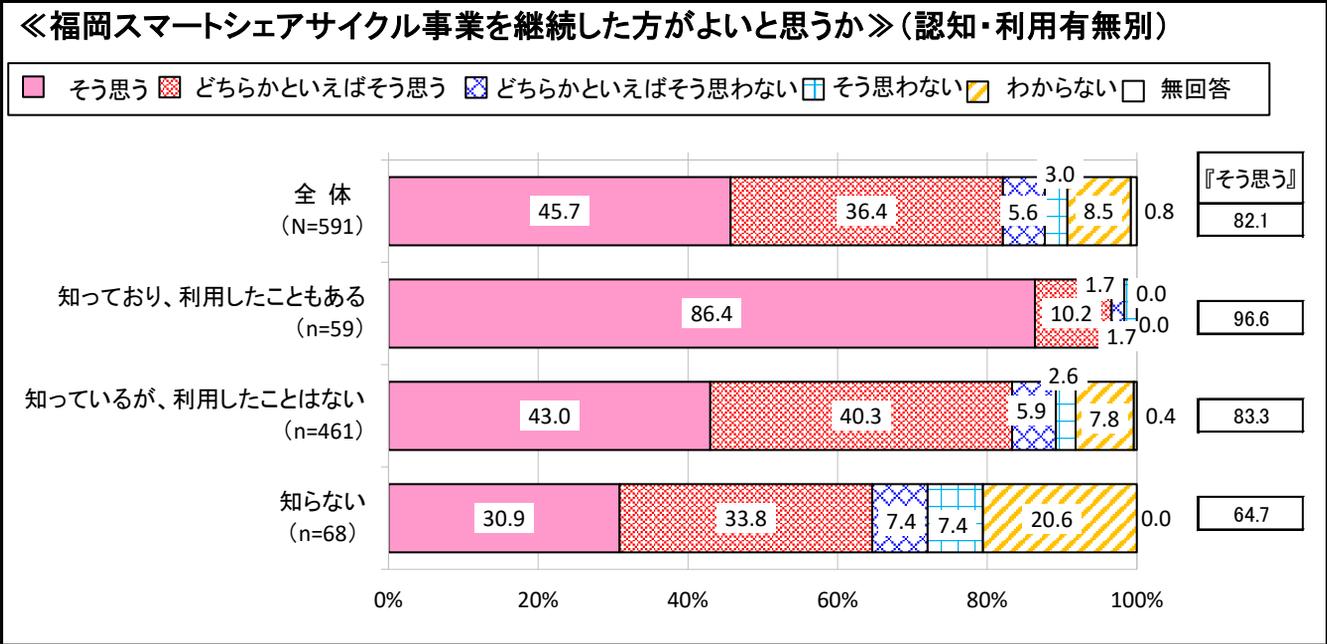
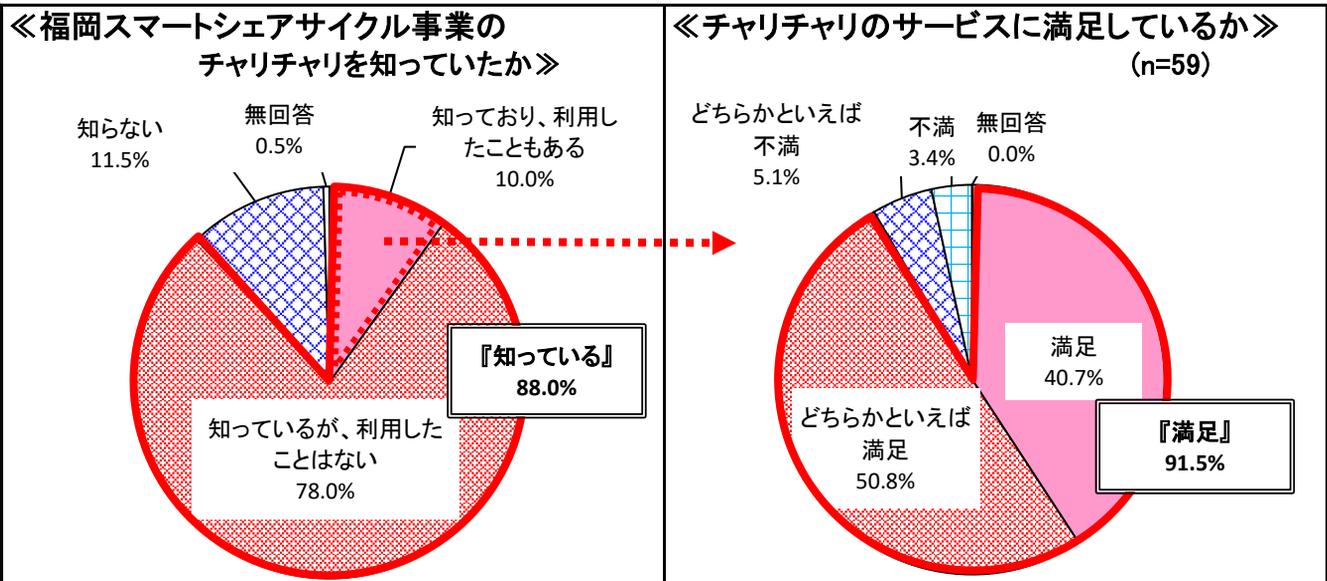


- ※1 家庭用燃料電池（エネファーム）
：ガスから水素を取り出して発電と給湯に利用する機器
- ※2 蓄電池
：電気を蓄えておき、必要なときに電気を使うことができる機器
- ※3 HEMS（ホームエネルギー・マネジメントシステム）
：電気の使用状況の確認や、照明や空調などの電気機器の制御をする戸建用システム
- ※4 充電設備
：電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に充電するための設備
- ※5 ヒートポンプ給湯器（エコキュート）
：空気の熱を利用し、わずかな電気を使い効率的にお湯を沸かす機器

《自家用車の購入・買い替え時に、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しようと思うか》

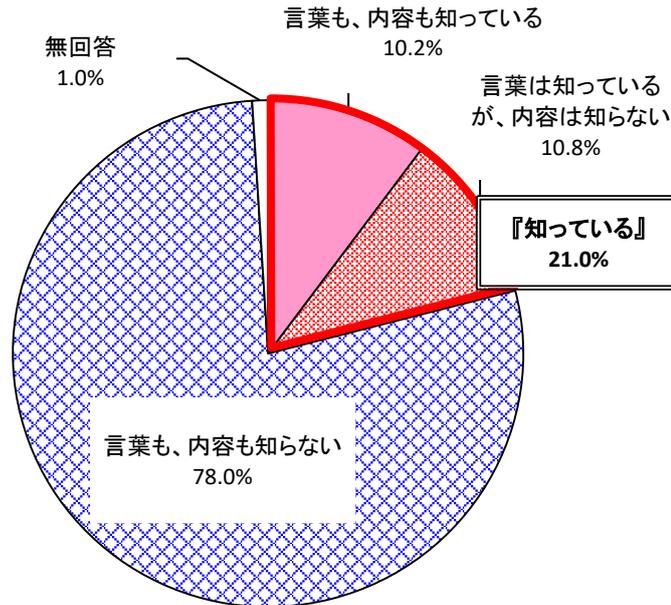


④「福岡スマートシェアサイクル事業」について(N=591)



⑤「ユマニチュード®」について(N=591)

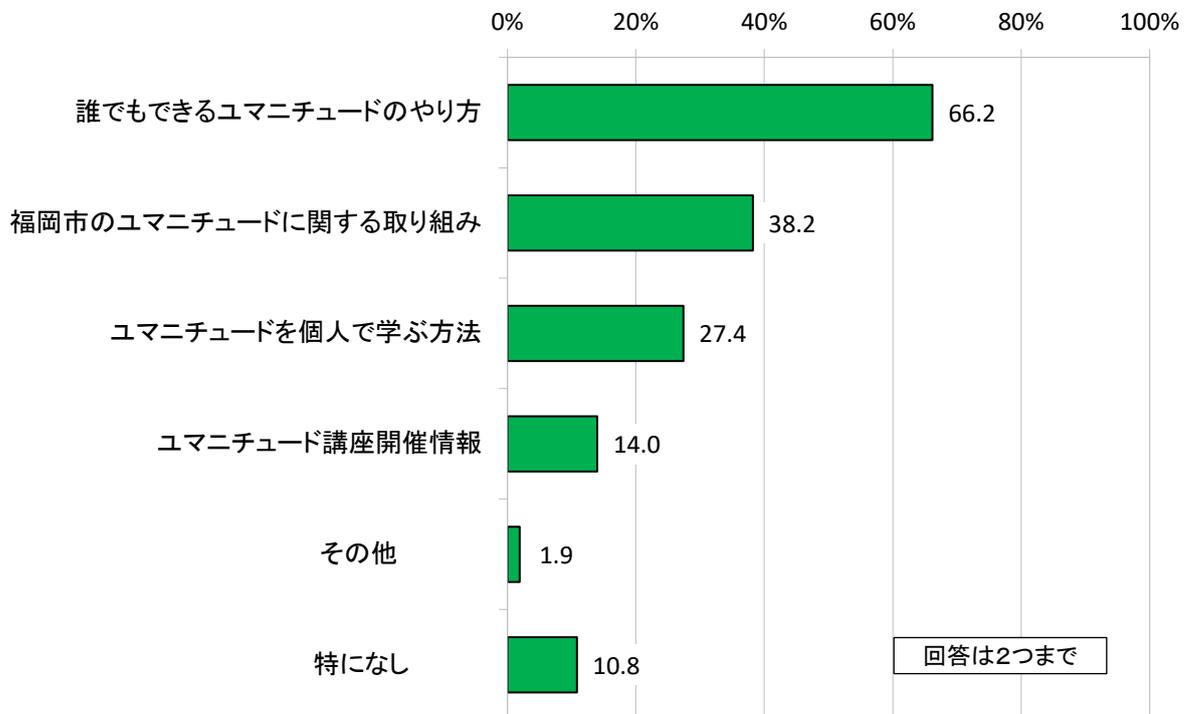
《「ユマニチュード」を知っているか》



※ユマニチュードについて

ユマニチュードは、認知症の方に届けたいサポートをうまく受け取ってもらうための具体的な技術と、「なぜそれを行うのか」という考え方(哲学)からできています。
 ユマニチュードでは、「あなたのことを大切に思っています」ということを相手が理解できる形で伝えるため、「見る」「話す」「触れる」「立つ」という4つの基本の柱を定めています。

《ユマニチュードについてどのような情報がほしいか》



「誰でもできるユマニチュードのやり方」と回答した方が66.2%と最も多く、次いで「福岡市のユマニチュードに関する取り組み」が38.2%という結果になりました。

第2回市政アンケート調査

〔テーマ・担当課〕

■調査期間	令和4年6月24日～7月8日
■調査数	680件
■回答数	591件
■有効回答率	86.9%

1. 「ふくおかさん家のうまかもん」について
(担当課：農林水産局 政策企画課)
2. 「消費生活」について
(担当課：市民局 消費生活センター)
3. 「省エネルギーと再生可能エネルギー」について
(担当課：環境局 脱炭素社会推進課)
4. 「福岡スマートシェアサイクル事業」について
(担当課：道路下水道局 自転車課)
5. 「ユマニチュード®」について
(担当課：福祉局 認知症支援課)

○ご記入いただいた個人情報は、市政アンケート調査の集計のために利用した上で、個人情報保護に関する法令などにに基づき適正に管理いたします。

○提出期間を過ぎて提出されると、皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので、**提出期限は厳守**いただきますようお願いいたします。

○回答方法（選択肢の番号に○をつけてください。）

例) ① 知っている 2 知らない

調査協力員番号		お名前	
---------	--	-----	--

※ 調査協力員番号は **封筒の宛名シール** に記載しております。

(返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。)

(提出期限) 7月8日(金)までにポストに投函してください。

《 「ふくおかさん家のうまかもん」 について 》

福岡市では、平成27年に「ふくおかさん家（ち）のうまかもん条例」を施行し、「ふくおかさん家のうまかもん」を販売、または材料に使った食品を提供する飲食店や小売店などを認定し、ホームページで紹介するなどの支援を行い、それらの生産や消費拡大に向けた取り組みを進めています。また、自然や農作業体験の場の提供などを通じ、生産に関する市民の理解促進に取り組んでいます。

問1 「ふくおかさん家のうまかもん」とは、市内で生産された農林水産物およびその加工食品（市内で加工されたものなど）のことです。あなたは「ふくおかさん家のうまかもん」を知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=591) 無回答 0.8

- | | |
|---------------------|------|
| 1 言葉も、内容も知っている | 4.9 |
| 2 言葉は知っているが、内容は知らない | 15.9 |
| 3 言葉も、内容も知らない | 78.3 |



問2 あなたは、過去3年間に、農業と身近に接した経験がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。 (N=591) 無回答 -

- | | |
|--------------------------------------|------|
| 1 自宅のベランダや庭などで、野菜・花などを栽培した | 45.3 |
| 2 いちご狩り、みかん狩りなどの収穫体験をした | 24.4 |
| 3 農産物の販売会や農林水産まつりなどの農業関係イベントに参加した | 9.1 |
| 4 仕事として農産物を生産した | 0.5 |
| 5 農業の手伝いをした | 5.9 |
| 6 市民農園 ^{※1} を借りて野菜・花などを栽培した | 1.0 |
| 7 その他（具体的に： _____） | 4.2 |
| 8 特になし | 37.1 |

※1 市民農園とは
市が設置している農園に加え、JAや農家で開設している農園も含まれます。

問3 あなたは、日頃、農林水産物やその加工食品を購入したり、飲食店を利用したりする際、市内産のものを優先していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=591) 無回答 0.2

- | | |
|-------------------|------|
| 1 優先している | 8.5 |
| 2 どちらかといえば優先している | 51.9 |
| 3 どちらかといえば優先していない | 13.5 |
| 4 優先していない | 25.9 |

問4 あなたは、今後、農林水産物やその加工品を購入したり、飲食店を利用したりする際、市内産のものを優先したいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=591) 無回答 0.2

- | | |
|-------------------|------|
| 1 優先したい | 26.9 |
| 2 どちらかといえば優先したい | 63.6 |
| 3 どちらかといえば優先したくない | 3.9 |
| 4 優先したくない | 5.4 |

《「消費生活」について》

インターネットの普及や高齢社会の進展に伴い、消費生活*に関するトラブルも多様化・複雑化しています。

福岡市では、安全で安心できる消費生活の実現を目指し、幼児期から高齢期までのライフステージに応じた消費者教育を受ける機会の充実を図り、消費者の特性に配慮しながら、さまざまな担い手と連携を強化し、消費者教育を推進しています。

※本アンケートでの「消費生活」とは、生活に必要な商品やサービスを事業者から購入し、それらを利用して生活し、使い終わったものを破棄するまでのことをいいます。

問5 消費生活センターでは、消費者トラブルの相談や、トラブル情報の提供などを行っています。あなたは「消費生活センター」を知っていましたか。また、同センターに相談窓口があることを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=591) 無回答 -

- | | |
|------------------------------|------|
| 1 名前も相談窓口があることも知っていた | 72.6 |
| 2 名前は知っていたが、相談窓口があることは知らなかった | 17.9 |
| 3 知らなかった | 9.5 |

問6 あなたは仮に、強引な勧誘や詐欺的な勧誘を受けた場合や、そのような勧誘による契約を締結してしまうなどの消費者トラブルに遭った場合、どのように対処しますか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=591) 無回答 -

- | | |
|--------------------------------------|------|
| 1 家族や友人、近所の人に相談する | 68.2 |
| 2 民生委員、地域包括支援センター（いきいきセンター）に相談する | 4.9 |
| 3 消費生活センターに相談する | 63.8 |
| 4 消費生活センター以外の公的機関（区役所、保健所、警察など）に相談する | 31.5 |
| 5 弁護士などの専門家に相談する | 18.8 |
| 6 インターネットで似たようなトラブル事例の解決方法を検索する | 54.5 |
| 7 その他（具体的に：) | 0.8 |
| 8 どうしたらよいかわからない | 0.7 |

問7 あなたは、消費生活センターにどのような相談ができ、どのような支援を受けることができるか知っていますか。(1)~(5)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=591)	知っていた	知らなかった	無回答
(1) 消費者と事業者との間の契約トラブルについて相談ができる	77.7	20.6	1.7
(2) 安全性を欠く製品を使用し、ケガをしたなどの製品事故トラブルについて相談ができる	54.1	43.1	2.7
(3) 専門の資格をもった相談員による解決のための助言(アドバイス)を受けることができる	47.5	50.1	2.4
(4) 相談者による自主交渉が困難な場合、トラブルの相手方である事業者とのあせせん(交渉や問い合わせ)を行ってくれる	24.9	72.4	2.7
(5) 他に専門の相談窓口がある場合には、その情報提供を受けることができる	26.6	70.7	2.7

問8 クーリング・オフ^{*1}は、消費者が無条件で一方向的に契約を解除できる制度です。あなたは、店舗や通信販売で購入・利用契約をした場合は、クーリング・オフができないことを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=591) 無回答 1.7

1 知っていた 51.9 2 知らなかった 46.4

※1 クーリング・オフとは

訪問販売などで消費者が冷静な判断をできないまま交わしてしまった契約を、一定の期間内であれば無条件で解除できる制度です。「契約は守らなければならない」とする原則の例外で、クーリング・オフができる取引は法律などで定めがある場合に限ります。

★3,000円未満の現金取引には適用されません。

★店舗購入・通信販売にはクーリング・オフは適用されませんが、事業者が返品の可否や返品期限などに関する特約を設けている場合は、それに従って返品などをすることになります。

問9 地産地消、食品ロスの削減、被災地の復興支援の商品、フェアトレード^{*2}商品の購入など、人や社会、環境に配慮した消費行動を「エシカル消費」(倫理的消費)といいます。あなたは、日頃からこの「エシカル消費」を意識して、商品やサービスを購入しようと心がけていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=591) 無回答 0.2

1 心がけている 12.2
 2 どちらかといえば心がけている 48.2
 3 どちらかといえば心がけていない 23.4
 4 心がけていない 16.1

※2 フェアトレードとは

発展途上国の作物や製品を適正な価格で継続的に取引し、生産者や労働者の生活改善と自立を支え、生産地の環境を保全する貿易のことです。

問 10 成年年齢を 20 歳から 18 歳に引き下げる改正民法が令和 4 年 4 月に施行されたことに伴い、「未成年者取消権^{※3}」が 18 歳、19 歳には適用されなくなりました。あなたは、このことを知っていましたか。あてはまるものを1 つだけ選んでください。(N=591) 無回答 3.4

- | | | | |
|---------|------|----------|------|
| 1 知っていた | 65.7 | 2 知らなかった | 31.0 |
|---------|------|----------|------|

※3 未成年者取消権とは

未成年者が法定代理人（親権者や未成年後見人）の同意を得ないで契約した場合、契約を取り消すことができる権利です。取り消しができるのは、法定代理人と未成年者本人です。ただし成年者であるとうそをついて結んだ契約など、取り消すことができない場合もあります。

問 11 成年年齢が引き下げられ、若年者の消費者トラブルの増加が懸念されます。若年者の消費者トラブルを防止するために、あなたが重要だと思うことは何ですか。特にあてはまるものを3 つまで選んでください。(N=591) 無回答 2.4

- | | |
|-------------------------------|------|
| 1 家庭における消費者教育の充実 | 59.1 |
| 2 学校における消費者教育の充実 | 61.8 |
| 3 地域における消費者被害防止のための学習機会の充実 | 7.6 |
| 4 企業による従業員への消費者教育 | 12.4 |
| 5 行政による消費者教育の充実 | 16.6 |
| 6 自立した消費者としての若年者本人の意識の向上 | 32.0 |
| 7 若年者が被害に遭わないための具体的な情報提供や注意喚起 | 44.3 |
| 8 若年者が相談しやすい相談窓口・手段の充実 | 36.4 |
| 9 その他（具体的に：) | 0.8 |
| 10 わからない | 2.2 |

問 12 「消費者トラブル」や「消費者被害防止」について、意見・要望がございましたら、ご自由にお書きください。

【 消費者トラブルで困ったときは消費生活センターにご相談ください 】

福岡市消費生活センター

相談専用電話 092-781-0999

受付時間 月曜日～金曜日：午前 9 時～午後 5 時

第 2・4 土曜日：午前 10 時～午後 4 時（電話相談のみ）

※祝休日・年末年始を除く

※来所相談は予約制です

消費者ホットライン ^{い や や} 1 8 8

お近くの消費生活センターを案内します（年末年始を除く）

《「省エネルギーと再生可能エネルギー」について》

福岡市では、近年の地球温暖化やその影響を踏まえ、市民の安心・安全な暮らしを確保し、より良い未来へつなげるため、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「脱炭素社会」を目指しています。脱炭素社会の実現には、省エネルギーの取組みや太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入・活用が重要です。

問 13 あなたのご家庭での、省エネルギーや再生可能エネルギーに関する行動の実施状況についておたずねします。(1)～(8)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

※ 複数台使用の場合は、1台でも実施していれば「実施している」とお答えください

※ 当該製品を保有していない、使用していない、設定ができないなどの場合は「該当しない」とお答えください

(N=591)	実施している	実施していない	該当しない	無回答
(1) 家電製品を購入または買い替えるときには、省エネ性能の高いものを選ぶよう心がけている	83.1	11.0	5.2	0.7
(2) 家電製品を使用しないときはプラグを抜いている	34.2	59.9	5.1	0.8
(3) 照明は、LED ライトを使用している	80.7	16.8	1.9	0.7
(4) 冷蔵庫の扉の開閉回数や時間をできるだけ少なくしている	68.9	29.1	1.7	0.3
(5) 家庭の電気について、再生可能エネルギーなど発電時に二酸化炭素排出量が少ない電カプランを選択している	16.2	67.2	15.9	0.7
(6) 電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車を利用している	13.9	55.3	29.8	1.0
(7) 紙の削減や移動による環境負荷を減らすため、行政手続や民間サービスには、オンラインを優先して利用している	44.2	45.7	9.5	0.7
(8) 宅配ボックス・置き配の利用や駅・コンビニ受け取りにより、宅配の再配達を削減している	49.7	40.9	9.0	0.3

問 14 あなたは今後、問13のような省エネルギーや再生可能エネルギーに関することに取り組みたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=591) 無回答 0.5

1 取り組みたい	42.8
2 どちらかといえば取り組みたい	53.1
3 どちらかといえば取り組みたくない	2.2
4 取り組みたくない	1.4

問 15 あなたは今後、どのようなことが行われれば、問 13 のような省エネルギーや再生可能エネルギーに関することに取り組みやすくなると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(N=591) 無回答 0.2

1	方法や費用に関する情報の充実	67.7
2	メリットや効果についての広報	63.3
3	取り組みをサポートするサービスやアプリ	43.5
4	取り組みを共有できる仲間やコミュニティ	10.2
5	きっかけとなるイベント	21.2
6	補助金の充実	53.6
7	その他（具体的に：)	2.7
8	わからない	2.2

問 16 住宅窓の断熱改修について、下図のような改修方法があることや、冷暖房の効きが良くなったりヒートショックを軽減したりする改修効果があることを知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=591) 無回答 0.2

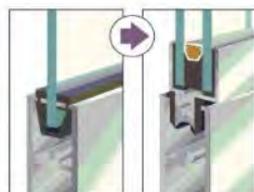
1	改修方法、改修効果のどちらも知っている	32.1
2	改修方法のみ知っている	4.7
3	改修効果のみ知っている	20.6
4	改修方法、改修効果のどちらも知らなかった	42.3

住宅窓の断熱改修について

【 改修方法例 】

ガラス交換

既存のガラスを複層ガラス等に交換



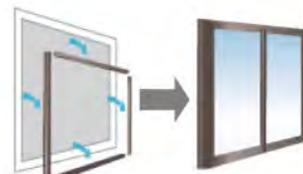
内窓設置

既存サッシの内側に樹脂製の内窓を設置



外窓交換

古いサッシを枠ごと取外し、新しい断熱窓を取り付け



問 17 あなたのご家庭では、現在、次の機器を設置していますか。(1)～(6)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=591)	設置 している	設置 していない	設置 できない	わからない	無回答
(1) 太陽光発電	5.1	47.2	43.8	2.9	1.0
(2) 家庭用燃料電池※ ¹	1.7	56.0	32.7	8.1	1.5
(3) 蓄電池※ ²	2.9	58.5	29.8	7.3	1.5
(4) HEMS※ ³	1.9	49.4	32.0	15.1	1.7
(5) 充電設備※ ⁴ (集合住宅の駐車場も含む)	2.7	56.7	28.4	10.8	1.4
(6) ヒートポンプ給湯器※ ⁵	11.0	47.4	25.0	15.2	1.4

※1 家庭用燃料電池（エネファーム）

：ガスから水素を取り出して発電と給湯に利用する機器

※2 蓄電池

：電気を蓄えておき、必要なときに電気を使うことができる機器

※3 HEMS（ホーム エネルギー マネジメント システム）

：電気の使用状況の確認や、照明や空調などの電気機器の制御をする戸建用システム

※4 充電設備

：電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に充電するための設備

※5 ヒートポンプ給湯器（エコキュート）

：空気の熱を利用し、わずかな電気を使い効率的にお湯を沸かす機器

問 18 あなたのご家庭では、将来的に、次の機器を設置（買い替えや買い増しも含む）したいと思いませんか。(1)～(6)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=591)	設置 したい	設置 したくない	決めていない	わからない	無回答
(1) 太陽光発電	23.2	17.6	36.2	21.8	1.2
(2) 家庭用燃料電池※ ¹	19.6	10.2	40.8	28.3	1.2
(3) 蓄電池※ ²	28.1	6.1	38.2	26.1	1.5
(4) HEMS※ ³	17.4	7.4	40.1	33.7	1.4
(5) 充電設備※ ⁴	22.2	8.1	38.9	29.6	1.2
(6) ヒートポンプ給湯器※ ⁵	29.9	6.3	35.9	26.4	1.5

【電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車】

電気自動車は、外部電源から充電し、バッテリーに蓄えた電気のでモーターを動かして走行する自動車で、走行中にCO₂や排気ガスを出しません。

プラグインハイブリッド自動車は、外部電源から充電でき、ガソリンエンジンとモーターの併用で走行する自動車です。

燃料電池自動車は、燃料電池で水素と酸素を化学反応させて電気を作り、その電気のでモーターを回して走行する自動車です。走行時に排出するのは水だけで、CO₂や大気汚染物質を排出しません。

問 19 あなたのご家庭では、自家用車を購入または買い替える際に、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しようと思いませんか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=591) 無回答 0.3

- | | | |
|---|-----------------|------|
| 1 | そう思う | 18.3 |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 36.5 |
| 3 | どちらかといえばそう思わない | 12.0 |
| 4 | そう思わない | 10.3 |
| 5 | 自家用車を購入するつもりはない | 22.5 |

問 20 あなたのご家庭では、今後、どのようなことが行われれば、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しやすくなると思いませんか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=591) 無回答 1.4

- | | | |
|----|---------------------------------------|------|
| 1 | 価格の低減 | 70.6 |
| 2 | 補助金の充実 | 56.5 |
| 3 | 車種の増加 | 36.2 |
| 4 | 充電・充填スポットの増設 | 62.9 |
| 5 | 住宅用充電スポットの標準装備（電気自動車、プラグインハイブリット車に限る） | 29.9 |
| 6 | 充電時間の短縮（電気自動車、プラグインハイブリット車に限る） | 35.7 |
| 7 | 航続距離（燃料が満タンの状態で走行できる距離）の延長 | 38.2 |
| 8 | 充電・充填費用の軽減 | 32.7 |
| 9 | その他（具体的に：) | 8.0 |
| 10 | わからない | 7.1 |

《 「福岡スマートシェアサイクル事業」 について 》

福岡市では、令和2年4月から *neuet* (株) と共同で「福岡スマートシェアサイクル事業」に取り組んでおり、シェアサイクル※1のチャリチャリ※2は、令和3年度末時点で約 2,600 台、ポート（駐輪場所）は約 500 箇所にもなっており、利用者は 35 万人を突破しました。

※1 シェアサイクルとは、複数の自転車をサービス提供エリア内のポート（駐輪場所）に配置し、利用者はどこかのポートからでも借り出して、好きなポートで返却ができる交通手段のことです。

※2 チャリチャリ (Charichari) とは *neuet* (株) が実施しているシェアサイクルサービスであり、スマートフォンアプリで専用の赤い自転車の鍵をあげ、利用料金は1分6円（電動アシスタント自転車は1分15円）で、簡単に利用できます。



サービス提供エリア（令和4年5月時点）



チャリチャリ (Charichari)



ポート（駐輪場所）

問21 あなたは、福岡スマートシェアサイクル事業のチャリチャリを知っていますか。また、これまで利用したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=591) 無回答 0.5

- | | | | |
|--------------------|---|------|------|
| 1 知っており、利用したこともある | → | 問22へ | 10.0 |
| 2 知っているが、利用したことはない | → | 問23へ | 78.0 |
| 3 知らない | → | 問24へ | 11.5 |

問22 《 問21で「1」と回答した方におたずねします。》

チャリチャリのサービスに満足していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(n=59) 無回答 -

- | | |
|--------------|------|
| 1 満足 | 40.7 |
| 2 どちらかといえば満足 | 50.8 |
| 3 どちらかといえば不満 | 5.1 |
| 4 不満 | 3.4 |

問23 << 問21で「2」と回答した方におたずねします。>>

なぜ、チャリチャリを利用しようと思わなかったのですか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=461) 無回答 0.2

- | | | |
|----|------------------------------|------|
| 1 | 利用方法を知らないから | 27.3 |
| 2 | 利用方法が複雑で分からないから | 7.4 |
| 3 | 利用料金が安いから | 5.4 |
| 4 | ポート（駐輪場所）が利用したいところがないから | 15.6 |
| 5 | ポート（駐輪場所）が少ないから | 7.2 |
| 6 | サービス提供エリアが狭いから | 6.7 |
| 7 | ポート（駐輪場所）に配置している自転車が少くないから | 2.2 |
| 8 | 自転車を持っているから | 40.3 |
| 9 | 徒歩やバイク・自動車などを利用するから（※自転車を除く） | 44.9 |
| 10 | バス・鉄道などの公共交通機関を利用するから | 40.8 |
| 11 | 自転車に乗れないから | 6.5 |
| 12 | その他（具体的に：) | 8.5 |

<< すべての方におたずねします。>>

問24 あなたは、福岡スマートシェアサイクル事業により、どのような効果が期待できると思いますか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。(N=591) 無回答 3.9

- | | | |
|---|-----------------------------|------|
| 1 | まちの移動がしやすくなる | 57.4 |
| 2 | 観光客などの人々の回遊性が高まり、地域活性化につながる | 27.9 |
| 3 | 自動車が減り、渋滞が緩和できる | 28.8 |
| 4 | 排気ガスが減り、環境が良くなる | 36.2 |
| 5 | 駐輪場の整備が少なくてすむ | 9.8 |
| 6 | 放置自転車が減少する | 33.8 |
| 7 | 運動になり、健康増進につながる | 23.7 |
| 8 | その他（具体的に：) | 2.4 |
| 9 | 特にない | 6.9 |

問25 福岡スマートシェアサイクル事業では、主な運営を事業者（neuet(株)）が行い、福岡市は公共施設の利用していない敷地等をポート（駐輪場所）として提供することや広報の協力を行っています。あなたは、今後も福岡スマートシェアサイクル事業を継続した方がよいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=591) 無回答 0.8

- | | | |
|---|----------------|------|
| 1 | そう思う | 45.7 |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 36.4 |
| 3 | どちらかといえばそう思わない | 5.6 |
| 4 | そう思わない | 3.0 |
| 5 | わからない | 8.5 |

《「ユマニチュード®」について》

福岡市は、認知症の人々が、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる「認知症フレンドリーシティ」を目指し、認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード」の普及に取り組んでいます。

「ユマニチュード」は40年以上前にフランスで考案されたもので、認知症の方に届けたいサポートをうまく受け取ってもらうための具体的な技術と、「なぜそれを行うのか」という考え方（哲学）からできています。

ユマニチュードのケアを用いて認知症の人と良い関係をつくることで、認知症の行動・心理症状と呼ばれる暴言・暴力などの症状が起こりにくくなり、また、家族介護者や医療・介護の専門職のケアの質の向上と負担軽減に効果があることが確認されています。

ユマニチュードでは「あなたのことを大切に思っています」ということ相手が理解できる形で伝えるため、「見る」「話す」「触れる」「立つ」という4つの基本の柱を定めています。

話す

穏やかに、低めのトーンでゆっくりと話しましょう。

見る

認知症の人は認識できる範囲が狭くなっているため、正面から水平に、近くで見つめましょう。

触れる

広い面積で、ゆっくりと包み込むように触れましょう。

立つ

1日の暮らしの中で合計20分間立つ時間を作れば、寝たきりになることを防げます。



イラスト提供：日本ユマニチュード学会

問26 あなたは、「ユマニチュード」を知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。
(N=591) 無回答 1.0

- | | |
|---------------------|------|
| 1 言葉も、内容も知っている | 10.2 |
| 2 言葉は知っているが、内容は知らない | 10.8 |
| 3 言葉も、内容も知らない | 78.0 |

問27 あなたは、これまでに認知症の人（認知症と思われる人を含む）と接したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=591) 無回答 1.0

- | | |
|---------------------------------------|------|
| 1 家族に認知症の人がいる（いた） | 39.3 |
| 2 友人・知人に認知症の人がいる（いた） | 17.1 |
| 3 近所で認知症の人と接したことがある | 11.3 |
| 4 医療・介護の現場で働いている（いた）ため、認知症の人と接したことがある | 12.9 |
| 5 医療・介護の現場以外の仕事を通じて、認知症の人と接したことがある | 10.3 |
| 6 認知症の人を見かけたことがある | 28.6 |
| 7 その他（具体的に：) | 1.7 |
| 8 認知症の人と接したことも、見かけたこともない | 20.6 |

問 28 あなたは、ユマニチュードについてどのような情報がほしいですか。特にあてはまるものを2つまで選んでください。(N=591) 無回答 1.0

- | | |
|---|------|
| 1 誰でもできるユマニチュードのやり方（ポイントなど） | 66.2 |
| 2 ユマニチュードを個人で学ぶ方法（動画など） | 27.4 |
| 3 ユマニチュード講座※ ¹ 開催情報（日時・内容・対象者など） | 14.0 |
| 4 福岡市のユマニチュードに関する取り組み | 38.2 |
| 5 その他（具体的に：) | 1.9 |
| 6 特になし | 10.8 |

※1 ユマニチュード講座について

福岡市では、市民講座や家族・介護者向け講座、医療・介護施設などの専門職向け講座、地域や児童生徒向けの講座など、対象に応じた講座を開催しています。

問 29 あなたは、ユマニチュードについて、市がどのような取り組みを行うと認知症の人が安心して暮らせるまちに近づくと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。(N=591) 無回答 2.5

- | | |
|-------------------------------|------|
| 1 家庭（家族介護者）へのユマニチュードの普及啓発 | 52.1 |
| 2 地域の人へのユマニチュードの普及啓発 | 35.9 |
| 3 学校教育の中でユマニチュードを学ぶ機会の創出 | 40.8 |
| 4 企業・働く世代に向けたユマニチュードの普及啓発 | 23.0 |
| 5 医療・介護施設などの専門職へのユマニチュードの普及啓発 | 19.1 |
| 6 誰でも気軽にユマニチュードを学べる体制づくり | 38.2 |
| 7 ユマニチュードに関するイベントの実施 | 7.6 |
| 8 広報媒体（市政だより、SNSなど）を活用した情報発信 | 21.8 |
| 9 その他（具体的に：) | 0.7 |
| 10 特になし | 4.6 |

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。
記入漏れや誤りがないか再度確認の上、同封の返信用封筒にてご返送をお願いします。

【標本構成（第2回）】 (N=591)

◆性別

男性	47.4
女性	52.6

◆年齢

18～29歳	12.9
30代	18.3
40代	19.3
50代	16.8
60代	13.5
70歳以上	19.3

◆職業

正社員・正職員	38.4
契約社員・派遣社員・嘱託	5.6
パート・アルバイト	13.4
会社等役員	2.5
自営業・家族従事者	5.8
専業主婦・専業主夫	12.0
学生	4.6
無職	15.2
その他	2.5

◆行政区

東区	21.7
博多区	13.7
中央区	12.5
南区	17.4
城南区	9.0
早良区	11.7
西区	14.0

◆居住年数

3年未満	10.3
3年以上5年未満	7.3
5年以上10年未満	10.5
10年以上20年未満	19.6
20年以上30年未満	19.3
30年以上	33.0

◆居住形態

持家の戸建て	27.2
持家の集合住宅	30.5
賃貸の戸建て	1.4
賃貸の集合住宅	37.7
社宅・寮	2.2
その他	1.0

◆18歳未満の同居家族

いる	32.0
いない	61.6
無回答	6.4

◆65歳以上の同居家族

いる	36.2
いない	63.1
無回答	0.7

◆回答方法

郵送	48.7
WEB	51.3

令和4年度 市政アンケート調査 第3回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民682人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和4年4月7日から令和5年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内: 郵送・メール、回答: 郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第3回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和4年7月25日から8月8日まで
- (2) 調査対象者数
- 680人
- (3) 回答者数
- 585人
- (4) 有効回答率
- 86.0%
- (5) 調査テーマ
- ①「情報通信の利用状況」について
 - ②「博多湾の海底ごみ」について
 - ③「福岡市の国際化」について
 - ④「道路整備」について

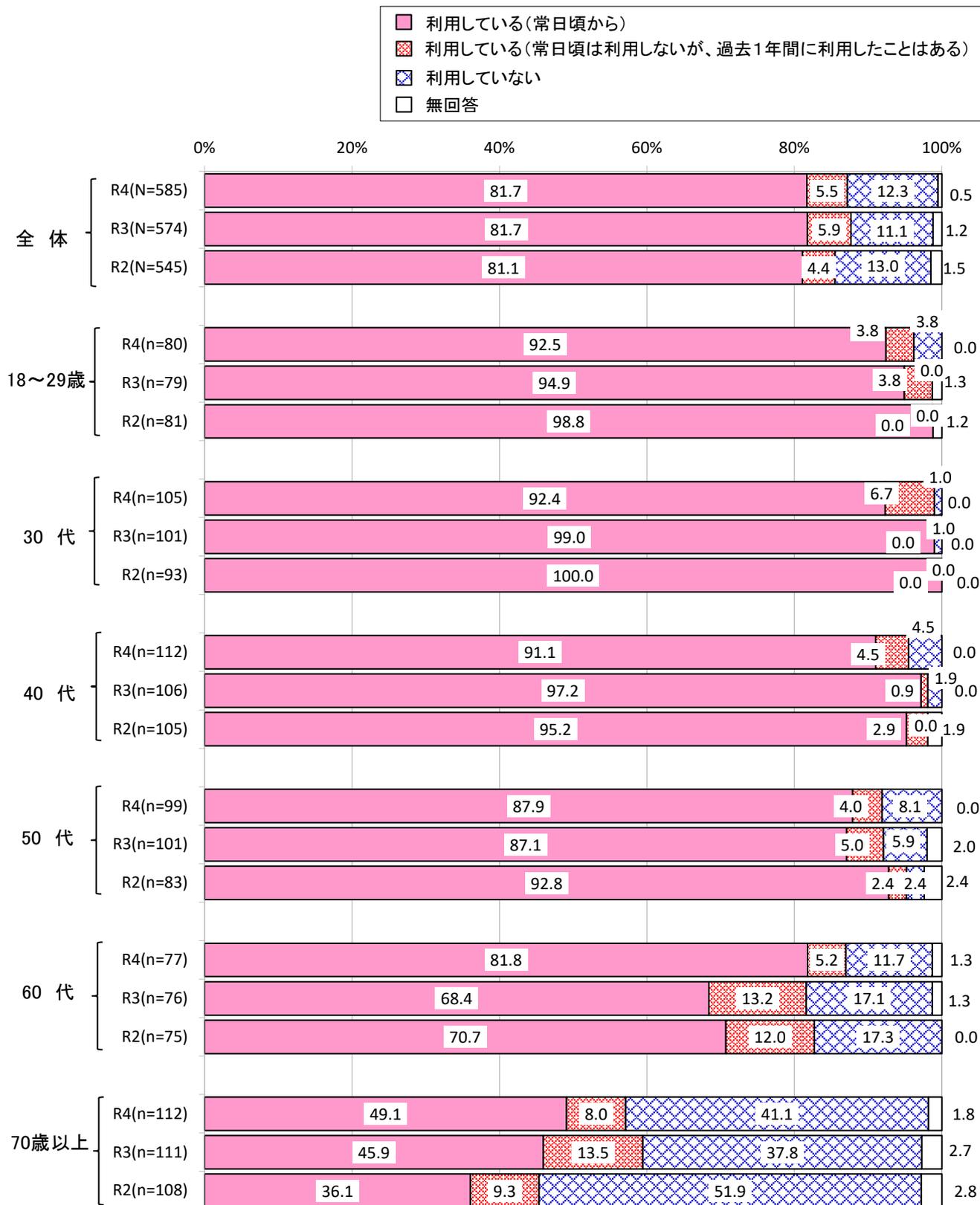
3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「情報通信の利用状況」について(N=585)

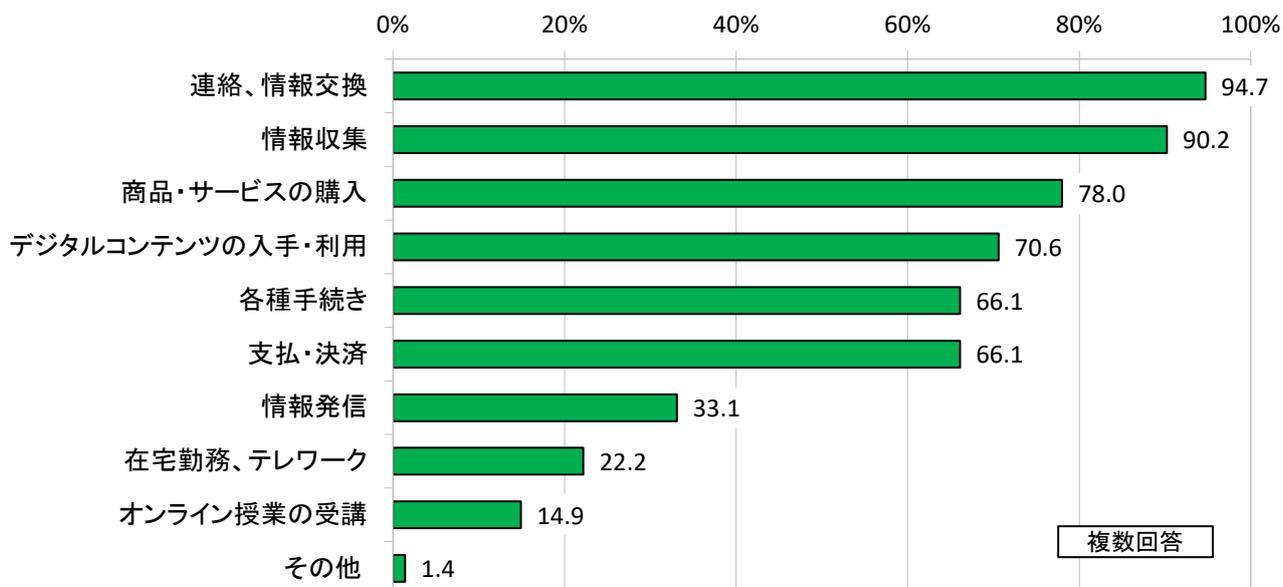
※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものである
 例:『重要』=「重要」+「どちらかといえば重要である」

「インターネットの利用状況」年代別(過去3年間の調査と比較)



60代では「利用している(常日頃から)」と回答した方は令和3年度で68.4%、令和4年度で81.8%となり、13.4ポイント上昇しています。

《インターネットの利用目的》 ※『利用している』方が回答(n=510)

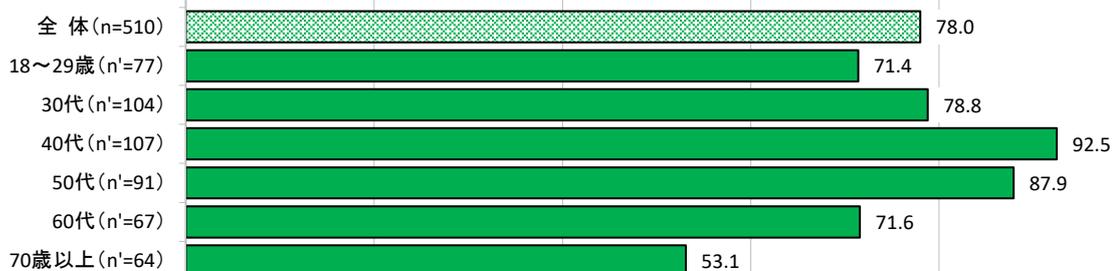


◆年代別(一部抜粋)

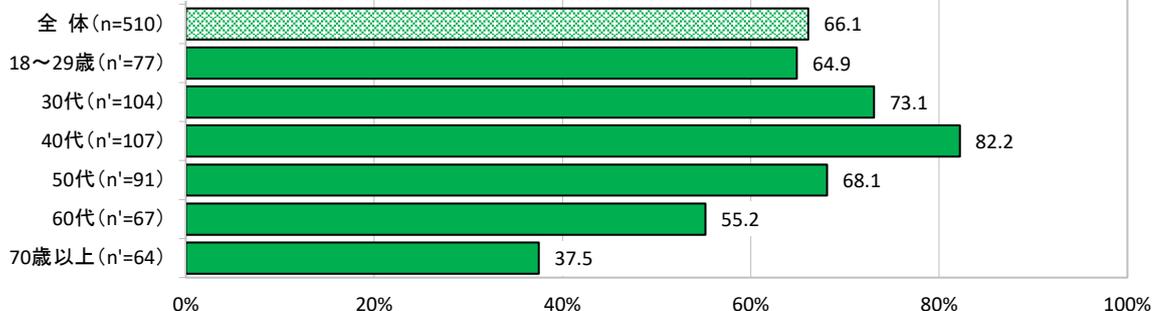
■情報収集



■商品・サービスの購入

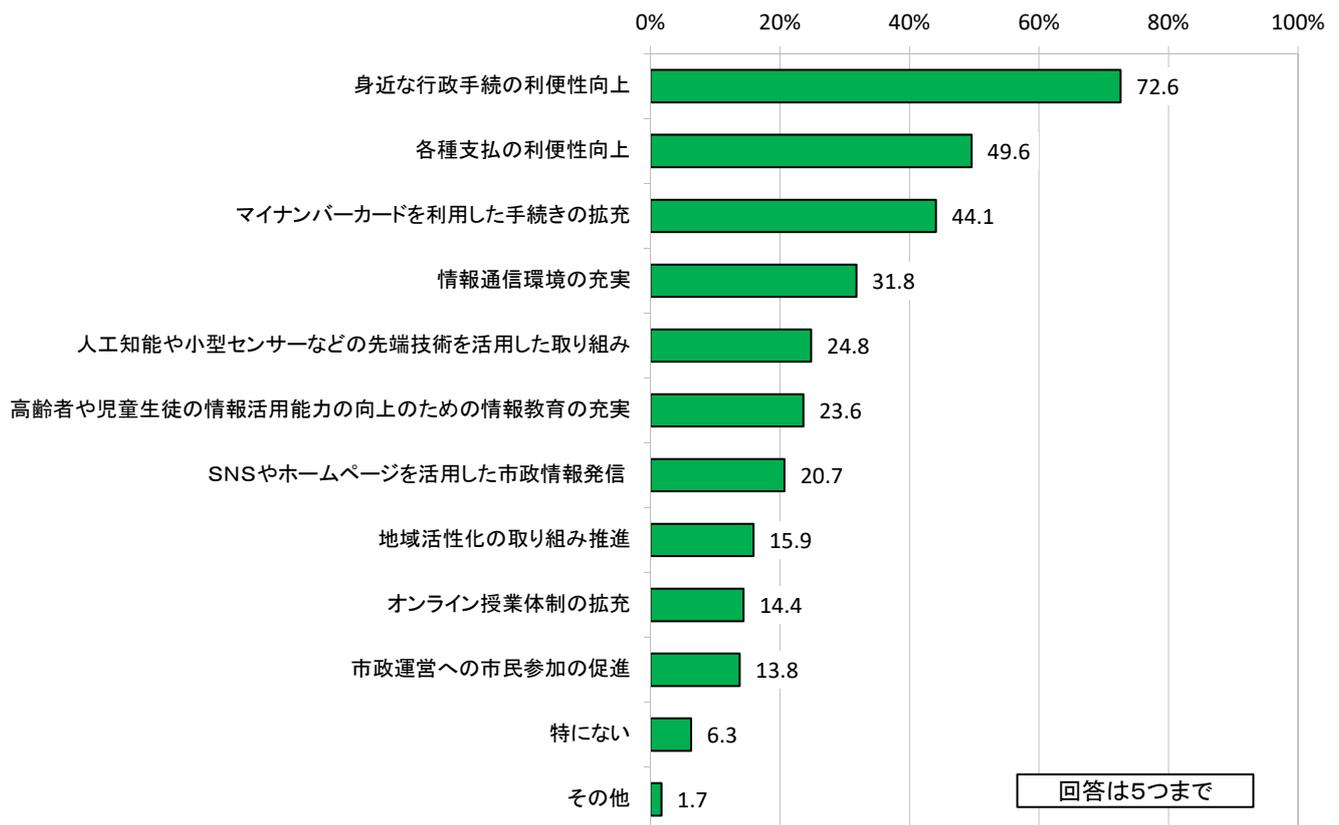


■各種手続き



年代別にみると、「情報収集」はいずれの年代においても8割を超える結果となりました。「商品・サービスの購入」では40代が92.5%、「各種手続き」でも40代が82.2%と最も高い割合となりました。

《今後期待する福岡市のインターネットを利用した情報化の取り組み》

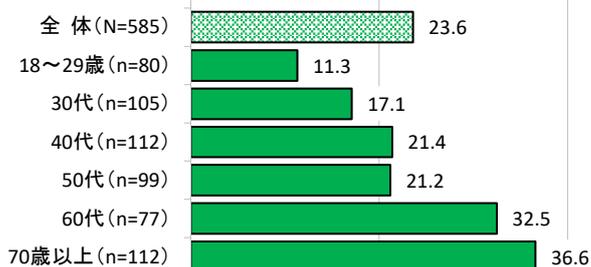


◆年代別（一部抜粋）

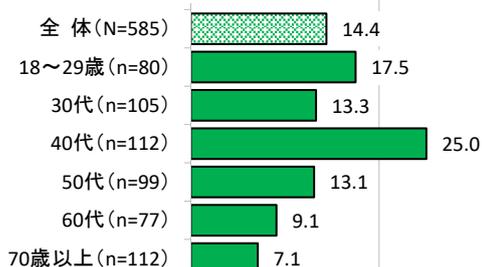
■身近な行政手続の利便性向上



■高齢者や児童生徒の情報活用能力の向上のための情報教育の充実

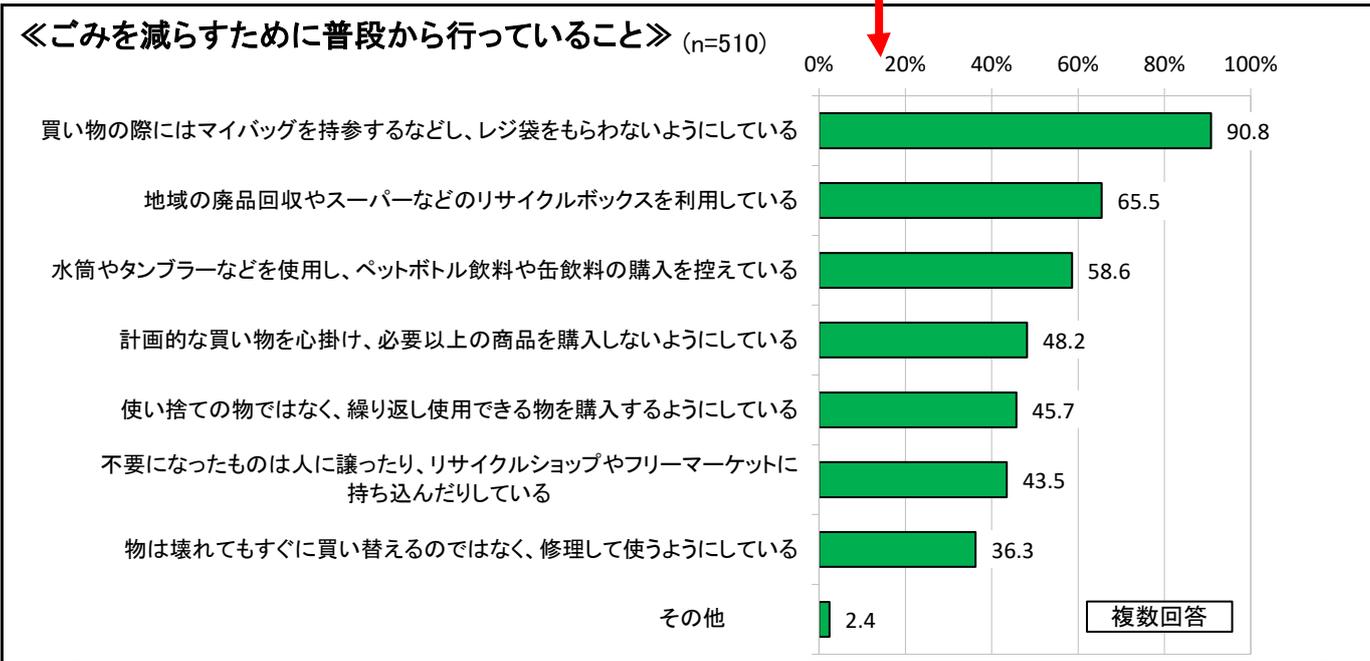
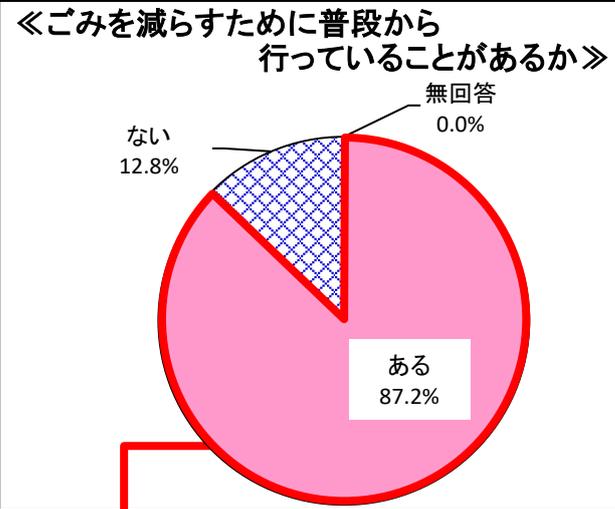
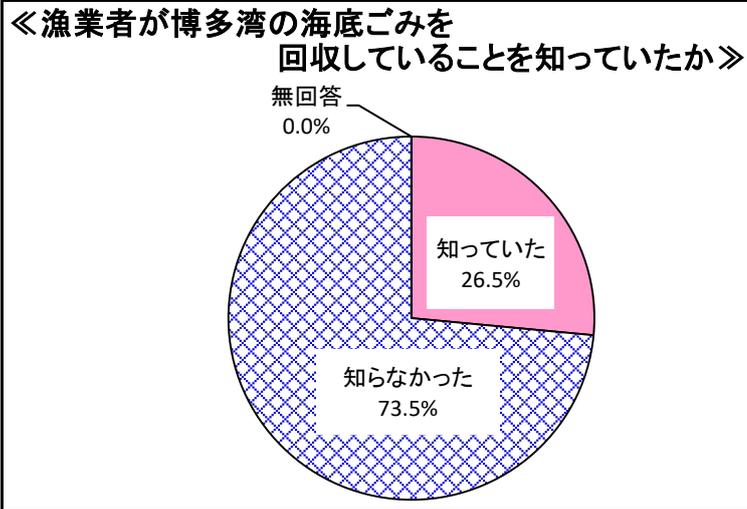
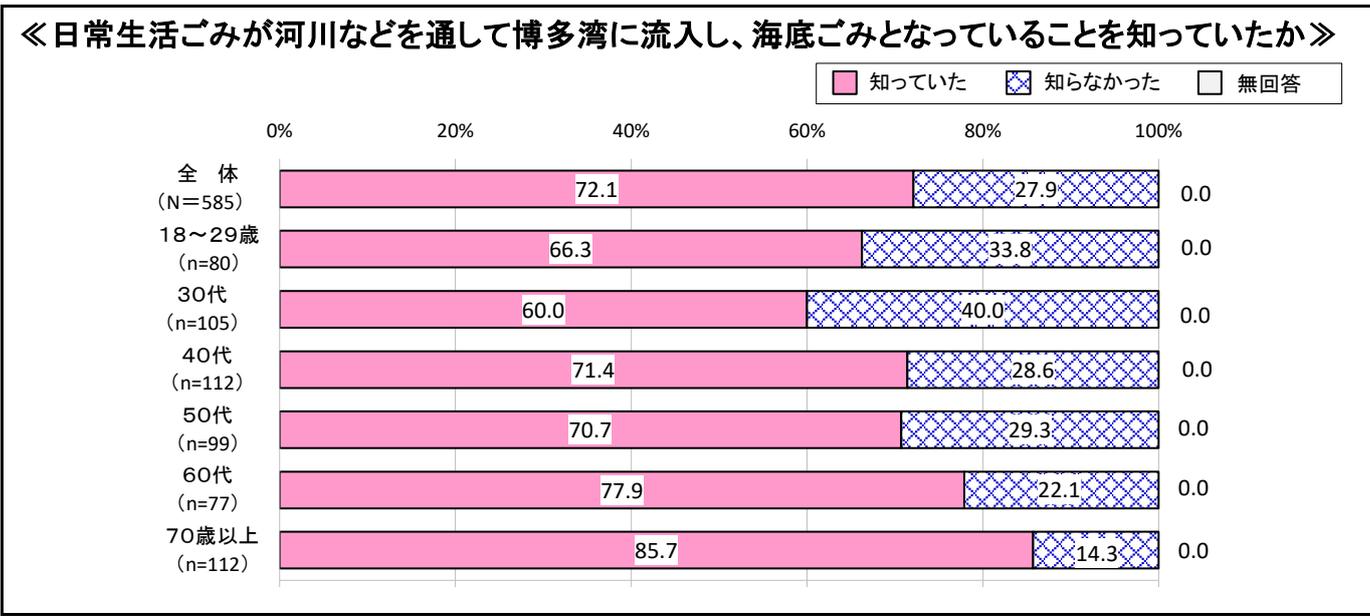


■オンライン授業体制の拡充



年代別にみると、「身近な行政手続の利便性向上」は、いずれの年代においても5割を超える結果となりました。「高齢者や児童生徒の情報活用能力の向上のための情報教育の充実」は、70歳以上の割合が最も高くなっています。「オンライン授業体制の拡充」は、40代が25.0%で、最も高い割合となりました。

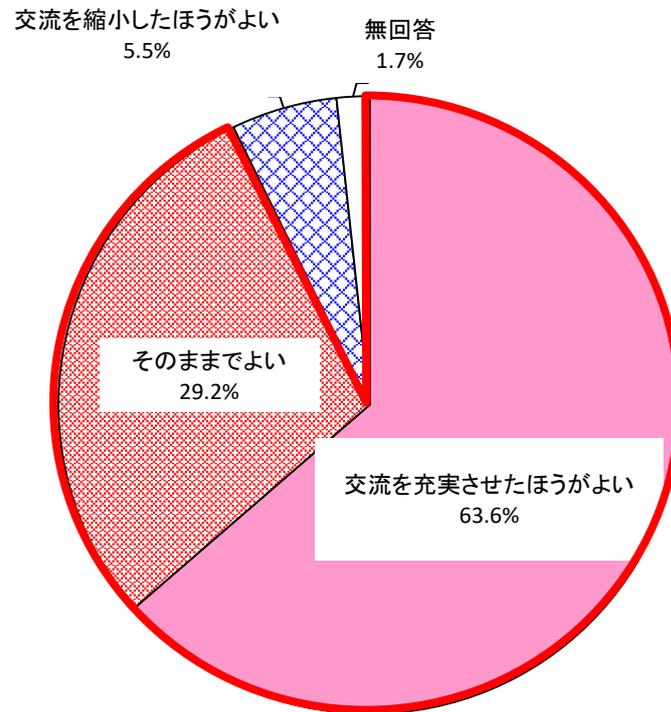
②「博多湾の海底ごみ」について (N=585)



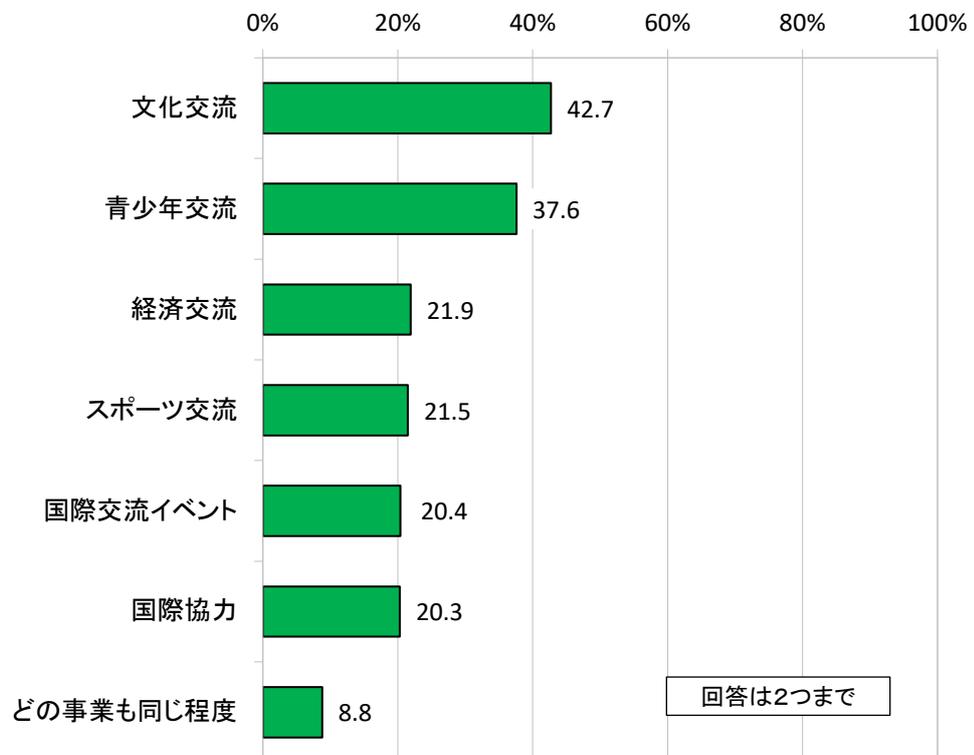
「買い物の際にはマイバッグを持参するなどし、レジ袋をもらわないようにしている」と回答した方が90.8%と最も多くなりました。

③「福岡市の国際化」について(N=585)

《今後の福岡市と姉妹都市との交流について》

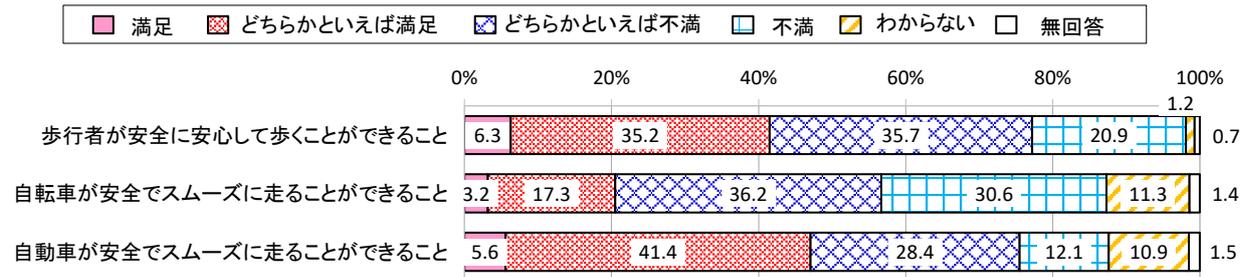


《姉妹都市交流事業のうちどの事業に力を入れるべきか》(n=543)



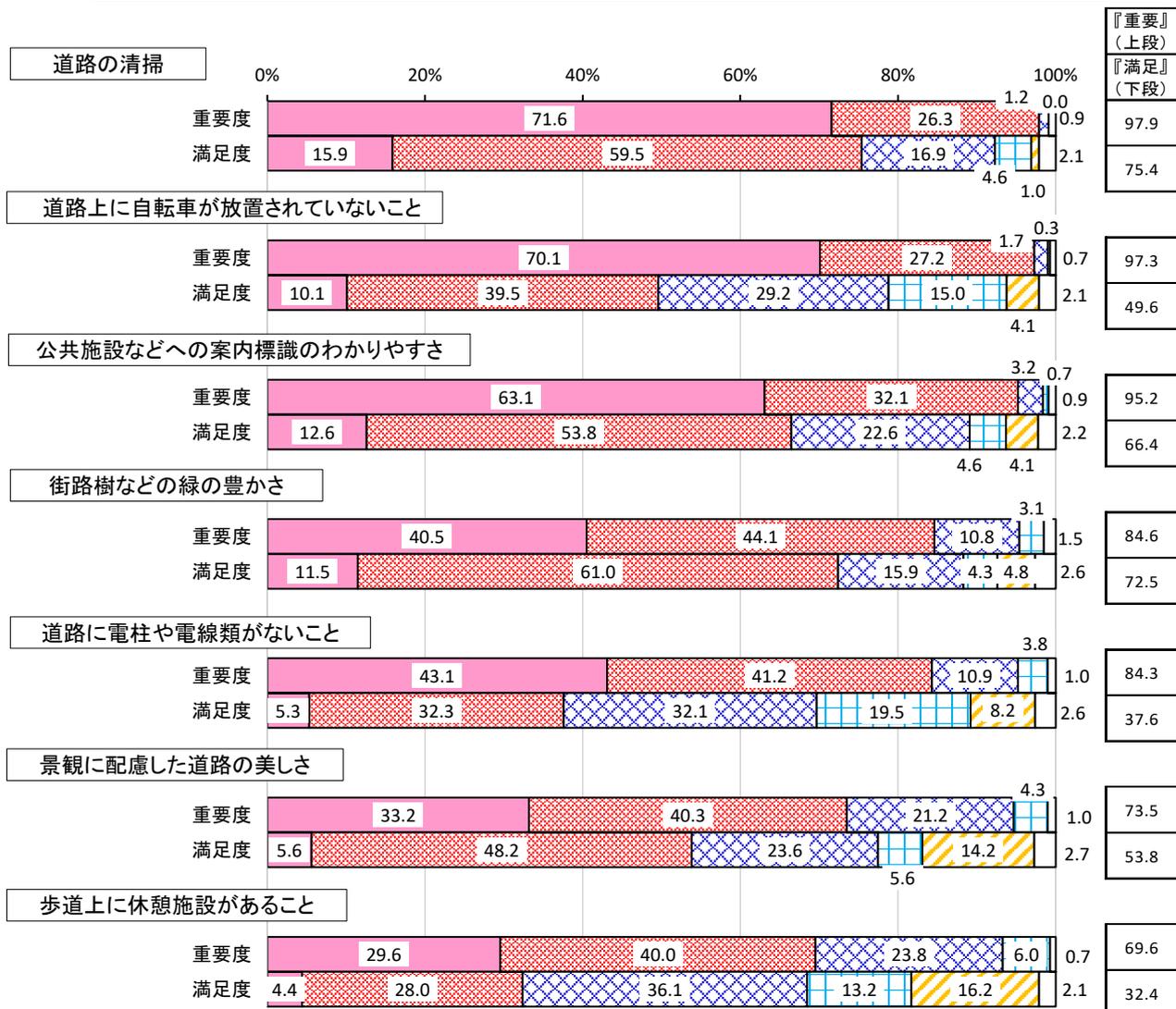
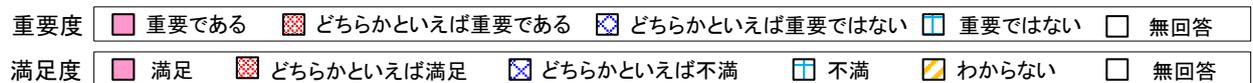
④「道路整備」について(N=585)

《道路の安全性や走行性について》



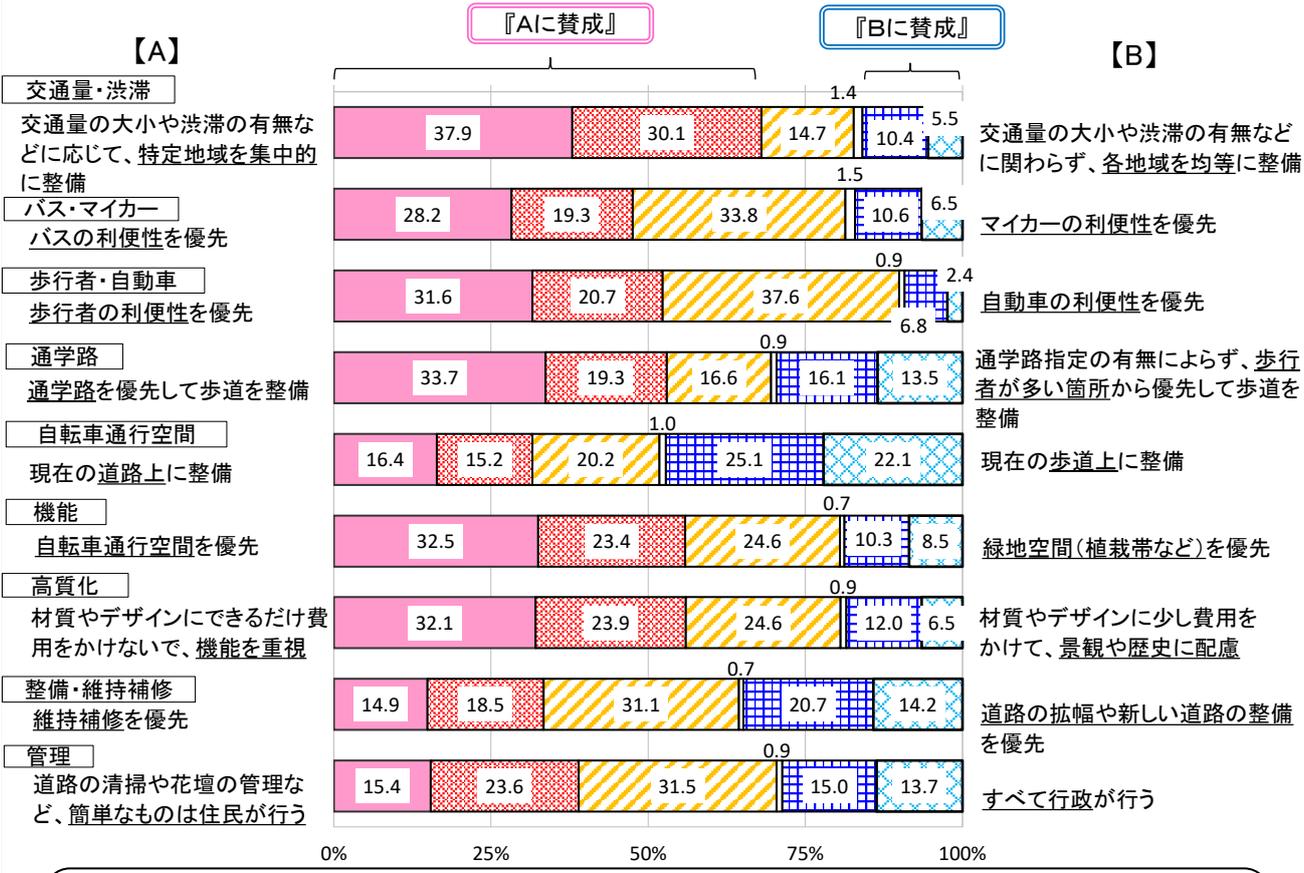
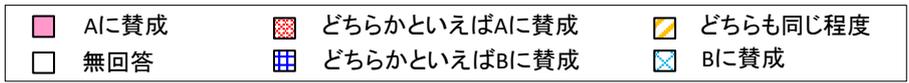
「歩行者が安全に安心して歩けること」に『満足』と回答した方は、全体の41.5%でした。

《道路の快適性や利便性について》



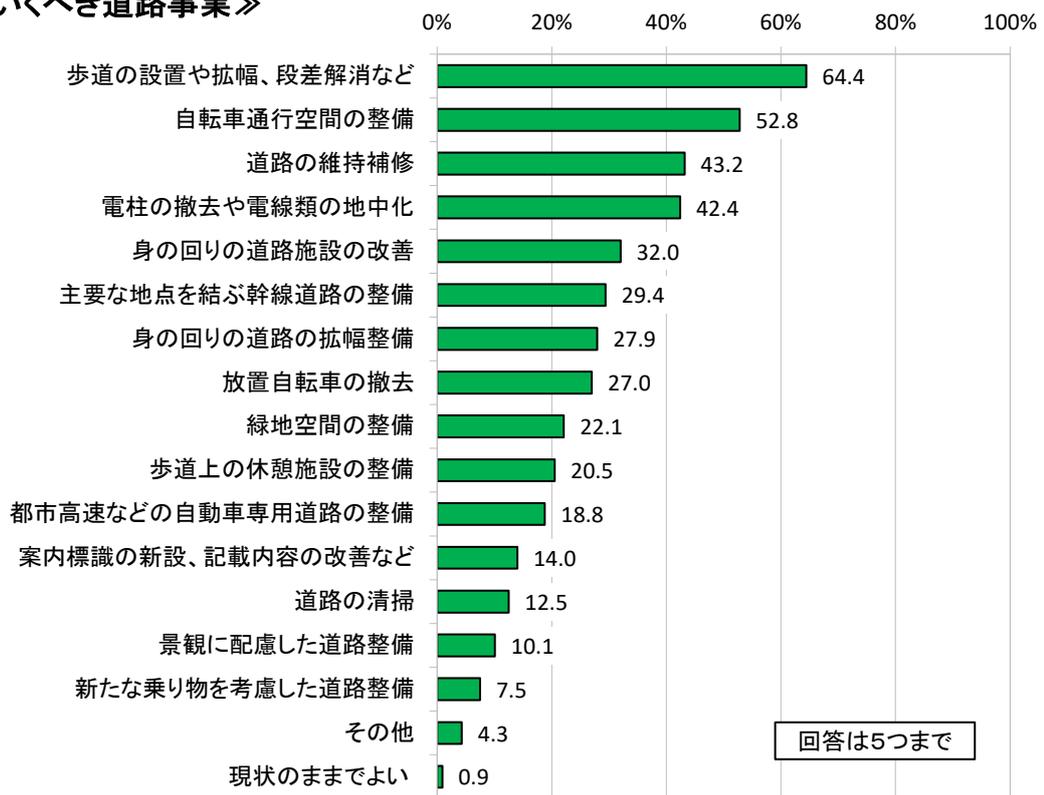
重要度について『重要』と回答した方は、「道路の清掃」で97.9%、「道路上に自転車が放置されていないこと」で97.3%でした。満足度について『満足』と回答した方は、「道路の清掃」で75.4%、「街路樹などの緑の豊かさ」で72.5%となりました。

《道路の整備・維持管理の考え方》



【B】「交通量の大小や渋滞の有無などに関わらず、各地域を均等に整備」(15.9%)よりも【A】「交通量の大小や渋滞の有無などに応じて、特定地域を集中的に整備」(68.0%)に『賛成』との回答が52.1ポイント高くなっています。

《力を入れていくべき道路事業》



回答は5つまで

第3回市政アンケート調査

〔テーマ・担当課〕

■調査期間	令和4年7月25日～8月8日
■調査数	680件
■回答数	585件
■有効回答率	86.0%

1. 「情報通信の利用状況」について

(担当課：総務企画局 ICT推進課)

2. 「博多湾の海底ごみ」について

(担当課：農林水産局 水産振興課)

3. 「福岡市の国際化」について

(担当課：総務企画局 国際交流課
総務企画局 アジア連携課)

4. 「道路整備」について

(担当課：道路下水道局 道路計画課)

○ご記入いただいた個人情報は、市政アンケート調査の集計のために利用した上で、個人情報保護に関する法令などにに基づき適正に管理いたします。

○提出期間を過ぎて提出されると、皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので、**提出期限は厳守**いただきますようお願いいたします。

○回答方法（選択肢の番号に○をつけてください。）

例) ① 知っている 2 知らない

調査協力員番号		お名前	
---------	--	-----	--

※ 調査協力員番号は **封筒の宛名シール** に記載しております。

(返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。)

(提出期限) 8月8日(月)までにポストに投函してください。

《 「情報通信の利用状況」 について 》

福岡市では、市民サービスの向上と行政の手続きの簡素化・効率化を図るため、情報通信技術（ICT）を活用した行政情報化および地域情報化の各種取り組みを進めています。

問1 あなたは、インターネットを利用していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

※パソコンやスマートフォンなどを使って、インターネットを利用することで、メールなどを利用した連絡、ホームページを利用した情報入手、各種行政手続きのオンライン申請などが可能となります。(N=585) 無回答 0.5

1 利用している（常日頃から）	81.7	}	問2、問3へ
2 利用している （常日頃は利用しないが、過去1年間に利用したことはある）	5.5		
3 利用していない	12.3	→	問4へ

問2 《 問1で「1」「2」と回答した方におたずねします。 》

あなたは、インターネットをどのような目的で利用していますか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=510) 無回答 0.4

1 連絡、情報交換（メール、LINE、SNS など）	94.7
2 情報収集（上記「1」を除く）（ホームページ、天気予報、地図などの閲覧）	90.2
3 情報発信（上記「1」を除く）（SNS、ブログなど）	33.1
4 デジタルコンテンツの入手・利用（動画、音楽、ゲームなど）	70.6
5 商品・サービスの購入（上記「4」を除く）（ネットショッピング、フリマサイトなど）	78.0
6 各種手続き（電子申請、再配達依頼、懸賞・アンケート回答など）	66.1
7 支払・決済（キャッシュレス決済など）	66.1
8 在宅勤務、テレワーク	22.2
9 オンライン授業の受講	14.9
10 その他（具体的に： _____)	1.4

問3 << 問1で「1」「2」と回答した方におたずねします。>>

あなたは、インターネットを利用するときに、以下の機器を使っていますか。(1)～(4)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(n=510)	使っている	使っていない	無回答
例) ○○○	①	2	
例) ○○○	1	②	
(1) 携帯電話 ※下記(2)を除く	20.0	71.6	8.4
(2) スマートフォン	94.7	3.5	1.8
(3) タブレット端末	42.2	53.3	4.5
(4) パソコン	69.4	26.9	3.7

<< すべての方におたずねします。>>

問4 インターネットのできる福岡市の手続きについておたずねします。あなたは、下記の例のような手続きがインターネットで利用できることを知っていますか。また、いずれか1つでも利用したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=585) 無回答 2.7

【 インターネットのできる手続きの例 】

- 新型コロナウイルスワクチン接種の申し込み
- 住民票の写しの交付申請
- 高齢者乗車券・福祉乗車券の申請
- 税務証明書の交付申請・窓口交付予約（納税証明書など）
- 子ども医療証の申請
- 水道の使用開始と使用中止の申し込み
- 文化・スポーツ・公共施設などの利用予約
- 各図書館の蔵書検索・貸出予約と図書のリクエスト申し込み
- 粗大ごみ収集の申し込み（自己搬入ごみの事前受付を含む）
- インターネット口座振替受付（市税・国民健康保険等）
- 引越し手続きのオンライン予約サービス
- 市営住宅の入居申し込み
- 市営地下鉄の Web 遅延証明書

など

- 1 利用したことがある → 問6へ 62.7
- 2 知っているが、利用したことはない → 問5へ 25.5
- 3 知らない → 問6へ 9.1

問5 << 問4で「2」と回答した方におたずねします。>>

その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=149) 無回答 -

1	利用する必要がなかった	44.3
2	利用したい手続きが電子申請に対応していない	6.0
3	手続きのサイト・ページが見つげにくい	10.7
4	パソコンなどの電子機器の操作や入力が難しそう	26.2
5	パソコン専用ページしかなく、携帯電話やスマートフォンで利用しづらい	7.4
6	紙申請の方が簡単	28.9
7	きちんと申請ができているのかわからない	24.8
8	対面の方が丁寧に説明を受けられる	24.2
9	個人情報の取り扱いが不安	17.4
10	その他(具体的に:)	9.4
11	特にない	4.0

<< すべての方におたずねします。>>

問6 あなたは、今後、福岡市のインターネットを利用した情報化の取り組みについてどのようなことを期待しますか。特にあてはまるものを5つまで選んでください。(N=585) 無回答 1.4

1	身近な行政手続きの利便性向上	72.6
2	マイナンバーカードを利用した手続きの拡充	44.1
3	各種支払(税金、水道料金、保険料、保育料など)の利便性向上	49.6
4	高齢者や児童生徒の情報活用能力の向上のための情報教育の充実	23.6
5	オンライン授業体制の拡充	14.4
6	SNSやホームページを活用した市政情報発信	20.7
7	市政運営への市民参加の促進(市民意見の募集など)	13.8
8	地域活性化の取り組み推進(地域情報発信の支援や地域経済の振興など)	15.9
9	情報通信環境の充実(高速通信のインフラ整備や公衆無線LANの整備など)	31.8
10	人工知能(AI)や小型センサーなどの先端技術を活用した取り組み(センサーによる高齢者の見守りなど)	24.8
11	その他(具体的に:)	1.7
12	特にない	6.3

問7 情報通信技術(ICT)を活用した、オンライン手続などの行政情報化および地域情報化の各種取り組みについての意見や要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

《 「博多湾の海底ごみ」 について 》

博多湾は多種多様な漁業が営まれ、新鮮でおいしい魚介類が獲れる豊かな海ですが、海底ごみ（海底に沈んで堆積したごみ）によって漁網が破れたり、漁場環境が悪化したりするなど、漁業への影響が見られます。

このため、福岡市では漁業者と連携して海底ごみ回収を行うとともに、環境に関するイベントなどで、海底ごみ削減のための啓発活動を実施しています。

問8 レジ袋やペットボトルなどの日常生活ごみが、ポイ捨てなどにより道路の側溝や河川などを通して博多湾に流入し、海底ごみとなっています。あなたは、そのことを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=585) 無回答 -

- | | |
|----------|------|
| 1 知っていた | 72.1 |
| 2 知らなかった | 27.9 |

問9 あなたは、漁業者が博多湾の海底ごみを回収していることを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=585) 無回答 -

- | | |
|----------|------|
| 1 知っていた | 26.5 |
| 2 知らなかった | 73.5 |

【 漁業者による海底ごみ回収 】

漁業者は、漁船で海底ごみを回収する『博多湾漁場クリーンアップ作戦』を毎年実施し、漁場環境の維持・保全に努めています。また、普段の漁業作業中においても、海底ごみを回収し、回収したごみは市が費用負担し、処分しています。

海底ごみ回収には、多大な労力を要しますが、回収される海底ごみの量は減少していません。海底ごみを減らすためには、陸域から博多湾に流入するごみを減らすことが重要です。



▲海底ごみ回収の様子



▲回収された海底ごみ

問10 博多湾に流入するごみを減らすためには、ポイ捨てなどをしないことに加え、日頃からごみ自体を減らすことを意識して生活することが重要です。あなたは、ごみを減らすために、普段から行っていることはありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=585) 無回答 -

1 ある	→	問11へ	87.2
2 ない	→	問12へ	12.8

問11 << 問10で「1」と回答した方におたずねします。 >>

あなたが、ごみを減らすために、普段から行っていることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=510) 無回答 -

1 買い物際にはマイバッグを持参するなどし、レジ袋をもらわないようにしている	90.8
2 水筒やタンブラーなどを使用し、ペットボトル飲料や缶飲料の購入を控えている	58.6
3 物は壊れてもすぐに買い替えるのではなく、修理して使うようにしている	36.3
4 使い捨ての物ではなく、繰り返し使用できる物を購入するようにしている	45.7
5 計画的な買い物を心掛け、必要以上の商品を購入しないようにしている	48.2
6 不要になった物は人に譲ったり、リサイクルショップやフリーマーケットに持ち込んだりしている	43.5
7 地域の廃品回収やスーパーなどのリサイクルボックスを利用している	65.5
8 その他(具体的に:)	2.4

<< すべての方におたずねします。 >>

問12 博多湾の海底ごみを減らすため、あなた自身はどのようなことに取り組みたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=585) 無回答 1.2

1 ごみを減らすことを意識して生活する	84.8
2 ごみのポイ捨てや不法投棄に対する注意喚起	53.2
3 海底ごみのことを身の回りの人に伝える	25.0
4 海辺や河川などのボランティア清掃活動	23.1
5 海底ごみについて調べる	8.5
6 その他(具体的に:)	2.1
7 特にない	1.5

《 「福岡市の国際化」 について 》

福岡市は、世界中から人・投資・物・情報が集まる、活力と存在感に満ちたアジアの拠点都市を目指し、国際化に関するさまざまな取り組みを行っています。

【 福岡市の国際交流（姉妹都市交流） について 】

福岡市では、国際化の推進や国際都市としての魅力向上のため、いろいろな国際交流を行っています。特に世界の8つの都市との間で実施している姉妹都市交流では、市民に海外と身近に交流するきっかけをつくることで、お互いの文化を理解・尊重し、信頼・協力関係を構築することにより、相互発展に寄与するための取り組みを行っています。

- 1 青少年交流 : 姉妹校交流、ホームステイや訪問団への参加・受け入れ、作品交流など
- 2 スポーツ交流 : 国際親善スポーツ大会参加、海外の団体との交流など
- 3 文化交流 : 海外での日本文化の紹介、海外との文化・芸術事業への参加、博物館や美術館での国際的な特別展、公民館などでの地域の国際交流事業など
- 4 経済交流 : 国際ビジネス商談会や海外ビジネスセミナーへの参加など
- 5 国際協力 : 国際協力・国際貢献、国際ボランティアへの参加、研修員受け入れなど
- 6 国際交流イベント : アジアンパーティ（The Creators、福岡アジア文化賞）など



▲ 青少年交流



▲ スポーツ交流



▲ 経済交流



▲ 国際交流イベント

問13 あなたは、下記の都市について知っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(N=585) 無回答 0.9

1 釜山市 (韓国)	84.8
2 広州市 (中国)	46.2
3 ヤンゴン市 (ミャンマー)	36.9
4 イポー市 (マレーシア)	5.0
5 オークランド市 (ニュージーランド)	37.4
6 オークランド市 (アメリカ)	32.3
7 アトランタ市 (アメリカ)	54.0
8 ボルドー市 (フランス)	46.5
9 どの都市も知らない	8.9

福岡市は、現在 8 都市と姉妹都市を締結しています。

- オークランド市 [アメリカ] (1962 年～)
- 広州市 (1979 年～)
- ボルドー市 (1982 年～)
- オークランド市 [ニュージーランド] (1986 年～)
- イポー市 (1989 年～)
- 釜山市 (1989 年～※¹)
- アトランタ市 (1993 年～※²)
- ヤンゴン市 (2016 年～)

※1 行政交流都市締結

※2 パートナーシップ都市締結

問14 今後の福岡市と姉妹都市との交流について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=585) 無回答 1.7

1 交流を充実させたほうがよい	}	→	問15へ	63.6
2 そのままでよい				
3 交流を縮小したほうがよい		→	問16へ	5.5

問15 ≪ 問14で「1」「2」と回答した方におたずねします。≫

福岡市が実施する姉妹都市交流事業のうち、どの事業に力を入れて取り組むべきだと思いますか。

特にあてはまるものを2つまで選んでください。(n=543) 無回答 4.2

1 青少年交流	37.6
2 スポーツ交流	21.5
3 文化交流	42.7
4 経済交流	21.9
5 国際協力	20.3
6 国際交流イベント	20.4
7 どの事業も同じ程度	8.8

【 福岡アジア文化賞について 】

福岡市では、アジア地域の優れた文化の振興と相互理解および平和に貢献するため、1990年に市、学界、民間が一体となって「福岡アジア文化賞」を創設し、以来、令和3年度までに28か国・地域、118名の方々に賞をお贈りしてきました。これまで受賞された方は、長年に渡り異文化の理解と尊重を求める国際協力を実践してこられた中村哲氏（日本）や、後にノーベル平和賞を受賞されたムハマド・ユヌス氏（バングラデシュ）など、皆さま世界各地で活躍をされております。

今年は9月26日(月)～30日(金)にかけて、授賞式や市民フォーラム、学校訪問を開催する予定としております。なお、授賞式、市民フォーラムはオンラインでも視聴可能です。

【2022年（第32回）受賞者】



大賞：
林 英哲氏
(日本／太鼓奏者)



学術研究賞：
タイモン・スクリーチ氏
(英国／美術史家)



芸術・文化賞：
シャジア・シカンダー氏
(米国／アーティスト)

◀ すべての方におたずねします。 ▶

問16 あなたは、「福岡アジア文化賞」を知っていますか。また、主な行事*に参加したことはありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

※主な行事…授賞式、受賞者による講演、コンサート、学校訪問、パネル展など
(N=585) 無回答 0.2

- 1 参加したことがある（オンライン視聴含む） → 問17へ
1.0
- 2 知っている（名前を聞いたことがある）が、参加したことはない → 問17、問18へ
25.6
- 3 知らない → 問19へ
73.2

問17 << 問16で「1 参加したことがある」「2 知っているが、参加したことはない」と回答した方におたずねします。>>

「福岡アジア文化賞」についてどのようなことを知っていましたか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=156) 無回答 1.3

1 福岡アジア文化賞の目的 ^{※3}	26.3
2 授賞式が行われていること	62.2
3 市民フォーラムが行われていること	34.6
4 学校訪問が行われていること	9.6
5 いずれの行事（「2」「3」など）も無料で参加できること	6.4
6 授賞式や市民フォーラムがオンライン視聴可能となっていること	3.2
7 その他（具体的に：)	0.6
8 名前しか知らなかった	19.9

※3 福岡アジア文化賞の目的とは

アジアの多様な文化の保存と創造に顕著な業績を挙げた方に賞を贈ることにより、アジアの文化の価値を認識し、その文化を守り育てるとともに、アジアの人々が相互に学びあいながら、交流する基盤づくりに貢献する。

問18 << 問16で「2 知っているが、参加したことはない」と回答した方におたずねします。>>
行事に参加したことがない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(n=150) 無回答 2.0

1 福岡アジア文化賞に興味がなかった	25.3
2 受賞者に興味がなかった	12.7
3 行事のテーマや企画に興味がなかった	17.3
4 日程などの都合がつかなかった	18.0
5 申込方法がわからなかった	18.7
6 参加できることを知らなかった	54.7
7 その他（具体的に：)	4.7

問19 << すべての方におたずねします。>>

「福岡アジア文化賞」をより充実させるためには、どのような取り組みを行うことが重要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=585) 無回答 0.3

1 市民に対する受賞者や公式行事に関する情報発信の充実	62.6
2 海外に向けた福岡アジア文化賞に関する情報発信の充実	27.2
3 受賞者による若者・学生を対象とした講義などの実施	34.5
4 歴代受賞者を招いてのイベントなどの開催	15.9
5 授賞式や市民フォーラムなどのオンライン配信（無料）の充実	18.6
6 その他（具体的に：)	2.1
7 特にない、わからない	19.8

《「道路整備」について》

福岡市では、道路を市民の皆さまにとって、より快適で安全なものにするため、計画的・効率的に道路整備を進めています。

問20 あなたは、普段（通勤・通学・通院、買い物、食事、レジャーなど）、以下の交通手段を利用していますか。（1）～（8）のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=585)

		利用している	利用していない	無回答
(1)	自動車（自分で運転）	57.1	39.0	3.9
(2)	自動車（自分以外が運転）	51.5	44.8	3.8
(3)	バス	63.9	33.7	2.4
(4)	タクシー	37.9	58.1	3.9
(5)	地下鉄	64.6	31.3	4.1
(6)	電車（JR/西鉄）	56.8	39.0	4.3
(7)	バイク	6.2	87.0	6.8
(8)	自転車	46.2	49.1	4.8

問21 あなたは、福岡市の道路の安全性や走行性について、どのように感じていますか。（1）～（3）のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=585)

		満足	満足どちらかといえば	不満どちらかといえば	不満	わからない	無回答
(1)	歩行者が安全に安心して歩くことができること （十分な幅があり、段差が気にならないなど）	6.3	35.2	35.7	20.9	1.2	0.7
(2)	自転車が安全でスムーズに走ることができること （自転車専用レーンがあり、走りやすいなど）	3.2	17.3	36.2	30.6	11.3	1.4
(3)	自動車が安全でスムーズに走ることができること （道路の状態が良好で、走りやすいなど）	5.6	41.4	28.4	12.1	10.9	1.5

問22・問23 あなたは、福岡市の道路の快適性や利便性について、どのように感じていますか。(1)～(7)のそれぞれの項目の①重要度、②満足度について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

		問22					問23					
		① 重要度					② 満足度					
		重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	無回答	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	無回答
(例)	○○○○○	①	2	3	4		1	②	3	4	5	
(1)	街路樹などの緑の豊かさ	40.5	44.1	10.8	3.1	1.5	11.5	61.0	15.9	4.3	4.8	2.6
(2)	道路の清掃（道路にごみがないなど）	71.6	26.3	1.2	-	0.9	15.9	59.5	16.9	4.6	1.0	2.1
(3)	公共施設などへの案内標識のわかりやすさ	63.1	32.1	3.2	0.7	0.9	12.6	53.8	22.6	4.6	4.1	2.2
(4)	景観に配慮した道路の美しさ（タイル舗装やデザインに優れたガードレールなど）	33.2	40.3	21.2	4.3	1.0	5.6	48.2	23.6	5.6	14.2	2.7
(5)	道路に電柱や電線類がないこと	43.1	41.2	10.9	3.8	1.0	5.3	32.3	32.1	19.5	8.2	2.6
(6)	歩道上に休憩施設（ベンチなど）があること	29.6	40.0	23.8	6.0	0.7	4.4	28.0	36.1	13.2	16.2	2.1
(7)	道路上に自転車が放置されていないこと	70.1	27.2	1.7	0.3	0.7	10.1	39.5	29.2	15.0	4.1	2.1

(N=585)

問24 今後、福岡市の道路をどのように整備・維持管理していくかについて、あなたはどのように思いますか。(1)～(9)のそれぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選んでください。(N=585)

A		B		Aに賛成	Aどちらかといえば	どちらと同じ程度	Bどちらかといえば	Bに賛成	無回答
(1)	交通量・渋滞								
	交通量の大小や渋滞の有無などに応じて、 <u>特定地域を集中的に整備</u>	交通量の大小や渋滞の有無などに関わらず、 <u>各地域を均等に整備</u>	37.9	30.1	14.7	10.4	5.5	1.4	
(2)	バス・マイカー								
	<u>バスの利便性を優先</u>	<u>マイカーの利便性を優先</u>	28.2	19.3	33.8	10.6	6.5	1.5	
(3)	歩行者・自動車								
	<u>歩行者の利便性を優先</u>	<u>自動車の利便性を優先</u>	31.6	20.7	37.6	6.8	2.4	0.9	
(4)	通学路								
	<u>通学路を優先して歩道を整備</u>	通学路指定の有無によらず、 <u>歩行者が多い箇所から優先して歩道を整備</u>	33.7	19.3	16.6	16.1	13.5	0.9	
(5)	自転車通行空間								
	現在の <u>道路上</u> に整備	現在の <u>歩道上</u> に整備	16.4	15.2	20.2	25.1	22.1	1.0	
(6)	機能								
	<u>自転車通行空間を優先</u>	<u>緑地空間(植栽帯など)を優先</u>	32.5	23.4	24.6	10.3	8.5	0.7	
(7)	高質化								
	材質やデザインにできるだけ費用をかけないで、 <u>機能を重視</u>	材質やデザインに少し費用をかけて、 <u>景観や歴史に配慮</u>	32.1	23.9	24.6	12.0	6.5	0.9	
(8)	整備・維持補修								
	<u>維持補修を優先</u>	<u>道路の拡幅や新しい道路の整備を優先</u>	14.9	18.5	31.1	20.7	14.2	0.7	
(9)	管理								
	道路の清掃や花壇の管理など、 <u>簡単なものは住民が行う</u>	<u>すべて行政が行う</u>	15.4	23.6	31.5	15.0	13.7	0.9	

問25 今後、福岡市はどのような道路事業に力を入れていくべきだと思いますか。特に重要だと思うものを、5つまで選んでください。(N=585) 無回答 1.9

1	都市高速などの自動車専用道路の整備	18.8
2	主要な地点を結ぶ幹線道路の整備	29.4
3	上記「2」以外の身の回りの道路の拡幅整備	27.9
4	道路の維持補修（舗装や側溝の修繕など）	43.2
5	自転車通行空間の整備	52.8
6	新たな乗り物を考慮した道路整備（電動キックボードなど）	7.5
7	歩道の設置や拡幅、段差解消など	64.4
8	電柱の撤去や電線類の地中化	42.4
9	景観に配慮した道路整備（タイル舗装やデザインに優れたガードレールなど）	10.1
10	案内標識の新設、記載内容の改善など	14.0
11	身の回りの道路施設の改善（カーブミラーやガードレールの設置など）	32.0
12	歩道上の休憩施設の整備（ベンチなど）	20.5
13	緑地空間の整備（街路樹や植栽帯など）	22.1
14	放置自転車の撤去	27.0
15	道路の清掃	12.5
16	その他（具体的に：)	4.3
17	現状のままでよい	0.9

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。
記入漏れや誤りがないか再度確認の上、同封の返信用封筒にて
ご返送をお願いします。

【標本構成（第3回）】 (N=585)

◆性別

男性	47.7
女性	52.3

◆年齢

18～29歳	13.7
30代	17.9
40代	19.1
50代	16.9
60代	13.2
70歳以上	19.1

◆職業

正社員・正職員	39.1
契約社員・派遣社員・嘱託	5.0
パート・アルバイト	13.3
会社等役員	2.9
自営業・家族従事者	5.3
専業主婦・専業主夫	11.8
学生	5.1
無職	14.9
その他	2.6

◆行政区

東区	21.4
博多区	13.5
中央区	12.8
南区	17.6
城南区	9.2
早良区	12.0
西区	13.5

◆居住年数

3年未満	10.8
3年以上5年未満	7.7
5年以上10年未満	10.1
10年以上20年未満	20.0
20年以上30年未満	19.3
30年以上	32.1

◆居住形態

持家の戸建て	27.7
持家の集合住宅	30.1
賃貸の戸建て	1.4
賃貸の集合住宅	37.6
社宅・寮	2.1
その他	1.2

◆18歳未満の同居家族

いる	31.3
いない	62.7
無回答	6.0

◆65歳以上の同居家族

いる	35.7
いない	63.6
無回答	0.7

◆回答方法

郵送	46.5
WEB	53.5

令和4年度 市政アンケート調査 第4回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民682人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和4年4月7日から令和5年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内:郵送・メール、回答:郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第4回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和4年8月25日から9月8日まで
- (2) 調査対象者数
- 677人
- (3) 回答者数
- 569人
- (4) 有効回答率
- 84.0%
- (5) 調査テーマ
- ①「福岡市の広報活動」について
 - ②「住宅用火災警報器」について
 - ③「地域の活動やまちづくり」について
 - ④「選挙」について

3. 注意点

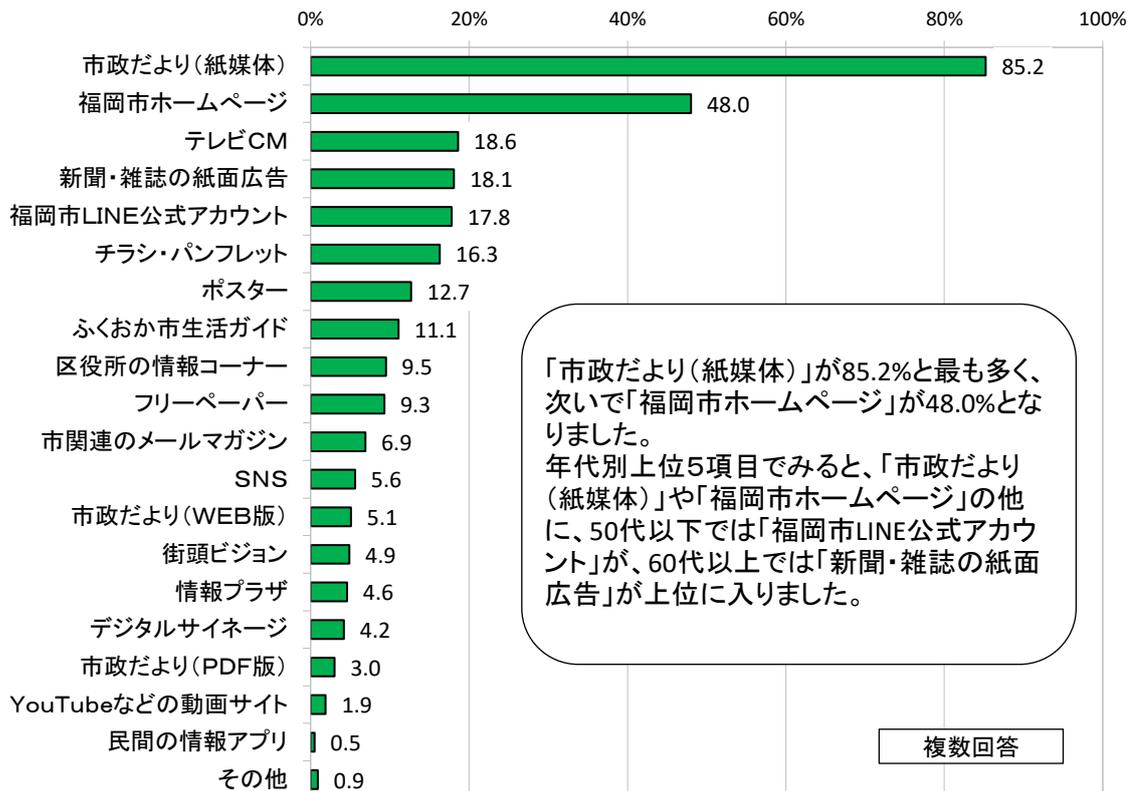
- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「福岡市の広報活動」について(N=569)

※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの

例:『満足』=「満足している」+「どちらかといえば満足している」

≪ 市政情報を得るために利用したことがある広報媒体 ≫

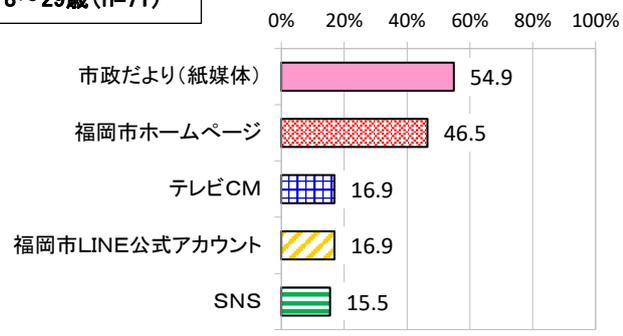


「市政だより(紙媒体)」が85.2%と最も多く、次いで「福岡市ホームページ」が48.0%となりました。
年代別上位5項目でみると、「市政だより(紙媒体)」や「福岡市ホームページ」の他に、50代以下では「福岡市LINE公式アカウント」が、60代以上では「新聞・雑誌の紙面広告」が上位に入りました。

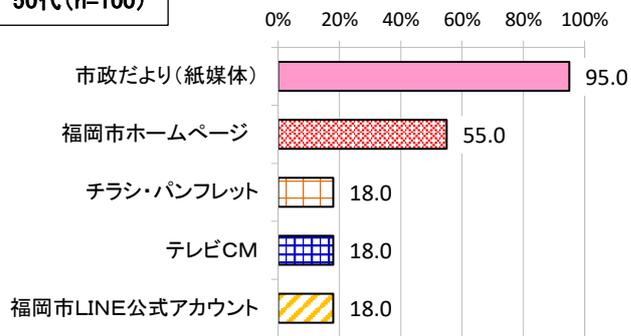
複数回答

◆年代別上位5項目

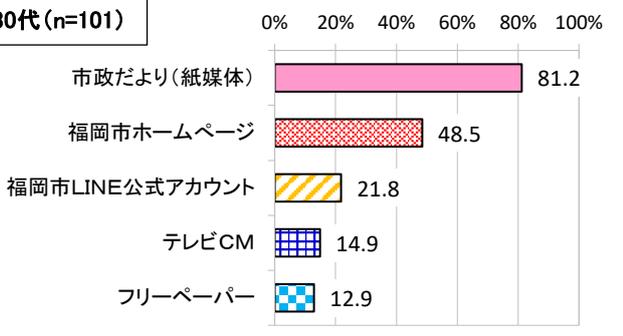
18~29歳 (n=71)



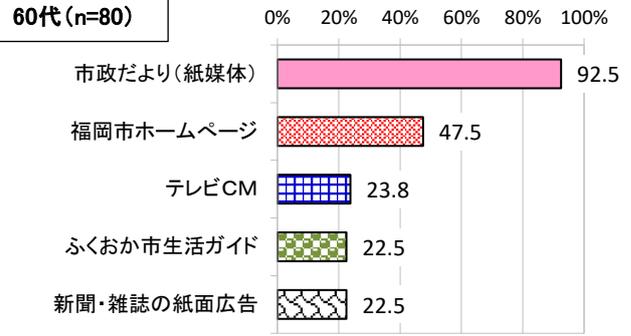
50代 (n=100)



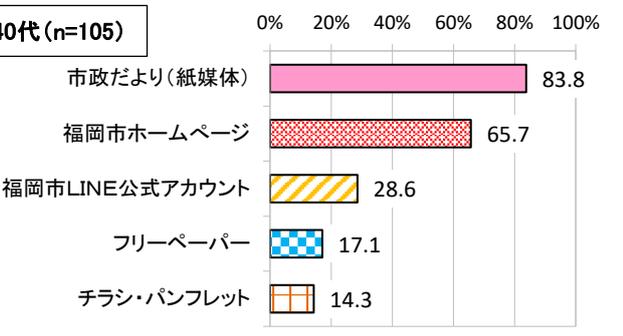
30代 (n=101)



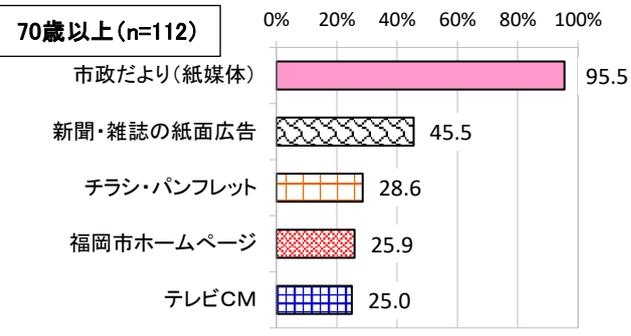
60代 (n=80)



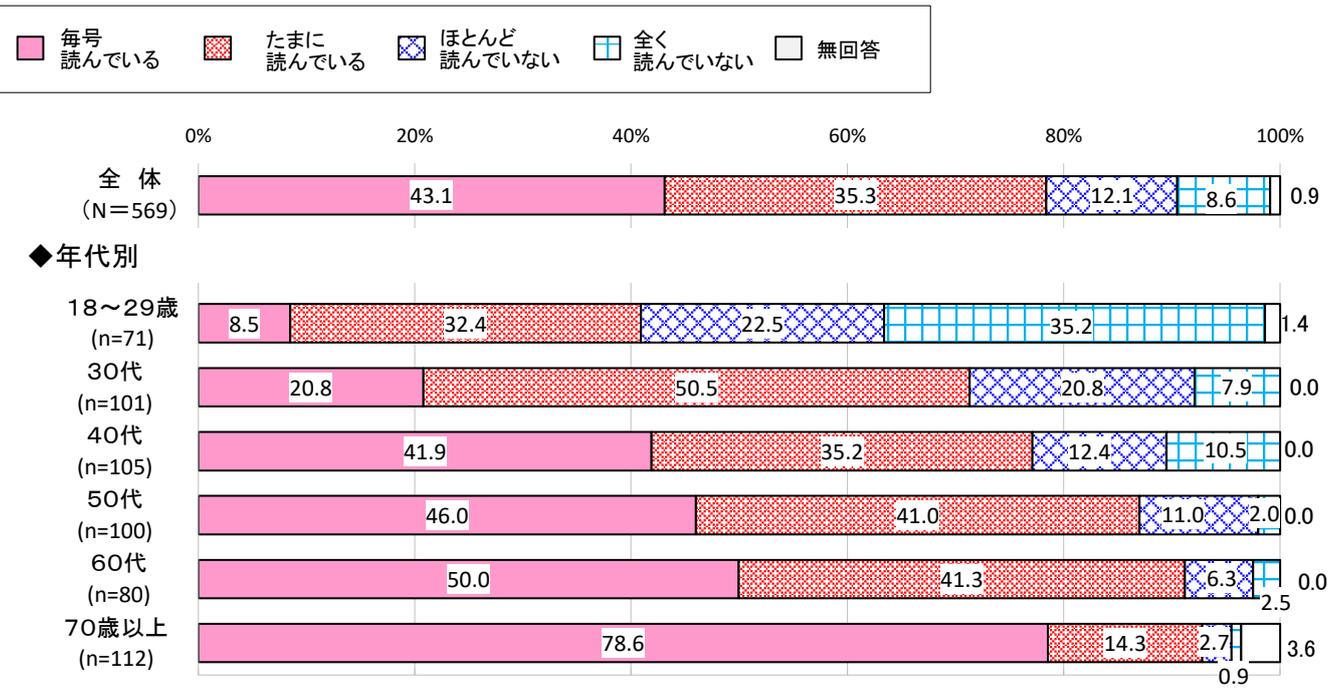
40代 (n=105)



70歳以上 (n=112)

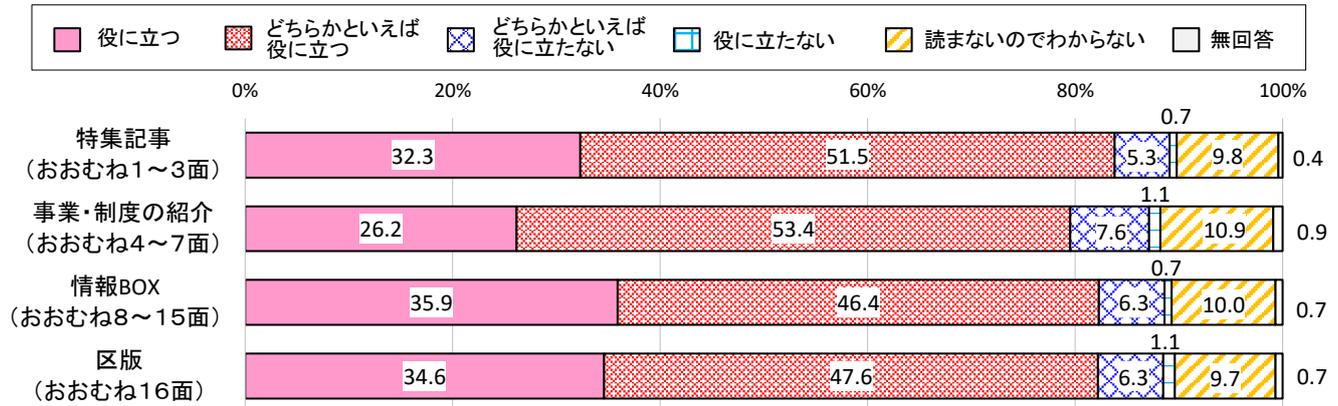


《 市政だより(紙媒体)を読む頻度 》



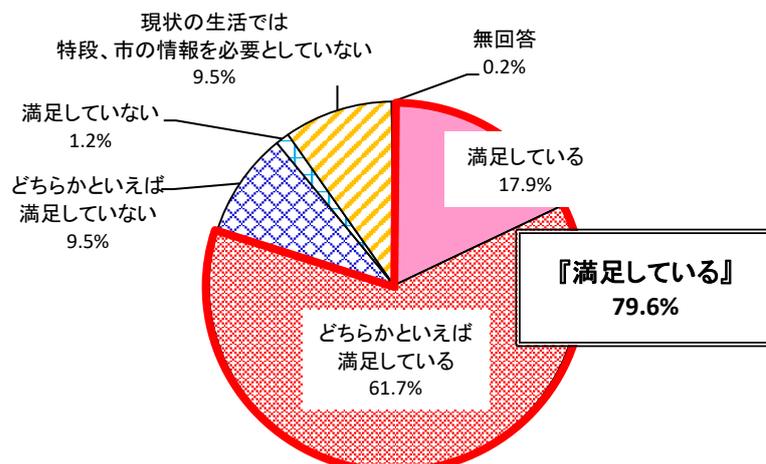
「毎号読んでいる」と回答した方は全体の43.1%となりました。年代別にみると、年代が上がるにつれて、「毎号読んでいる」と回答した方の割合が高くなっています。

《 市政だよりの各記事は役に立つか 》



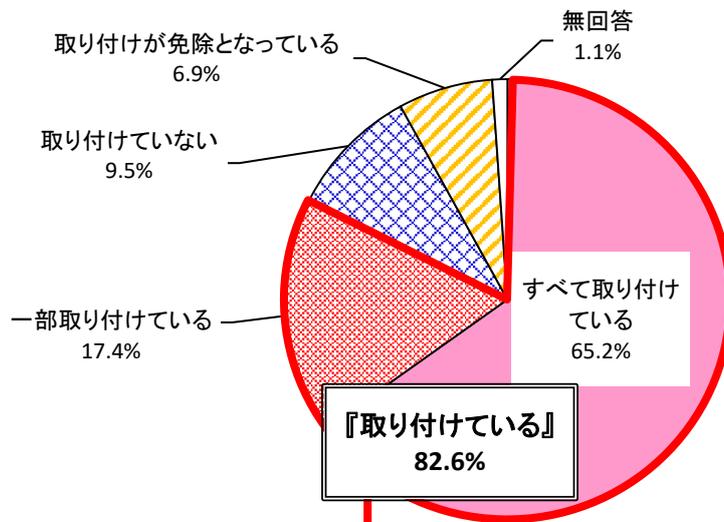
『役に立つ』と回答した方は「特集記事」で83.8%と最も多く、次いで、「情報BOX」で82.3%という結果になりました。

《 福岡市の情報発信に対する総合的な満足度 》

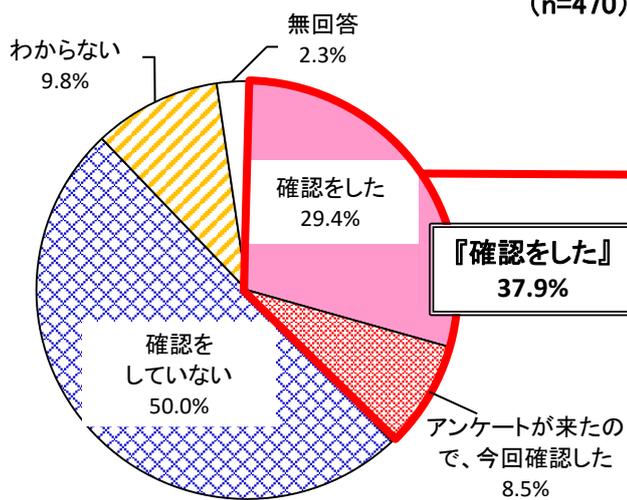


②「住宅用火災警報器」について(N=569)

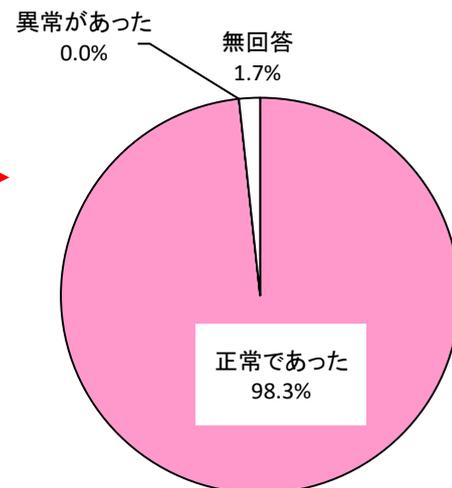
《住宅用火災警報器を条例で義務付けられている場所に取り付けているか》



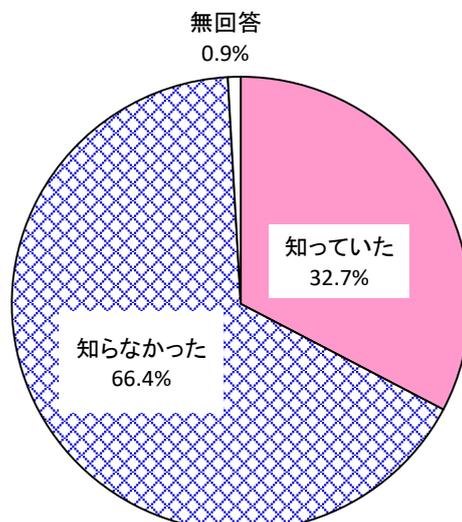
《半年以内に住宅用火災警報器の作動確認をしたか》
(n=470)



《作動確認の結果》 (n=178)

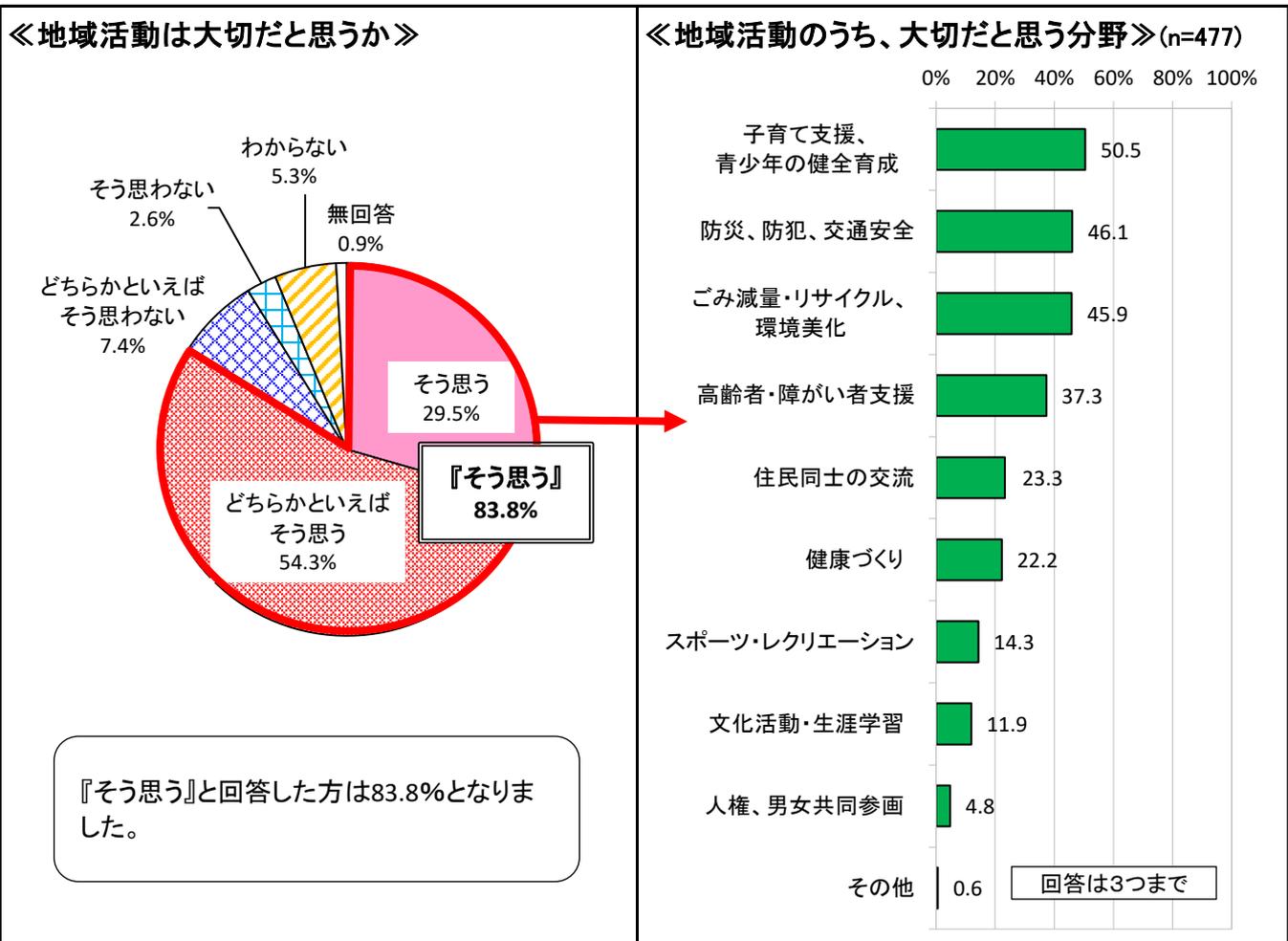
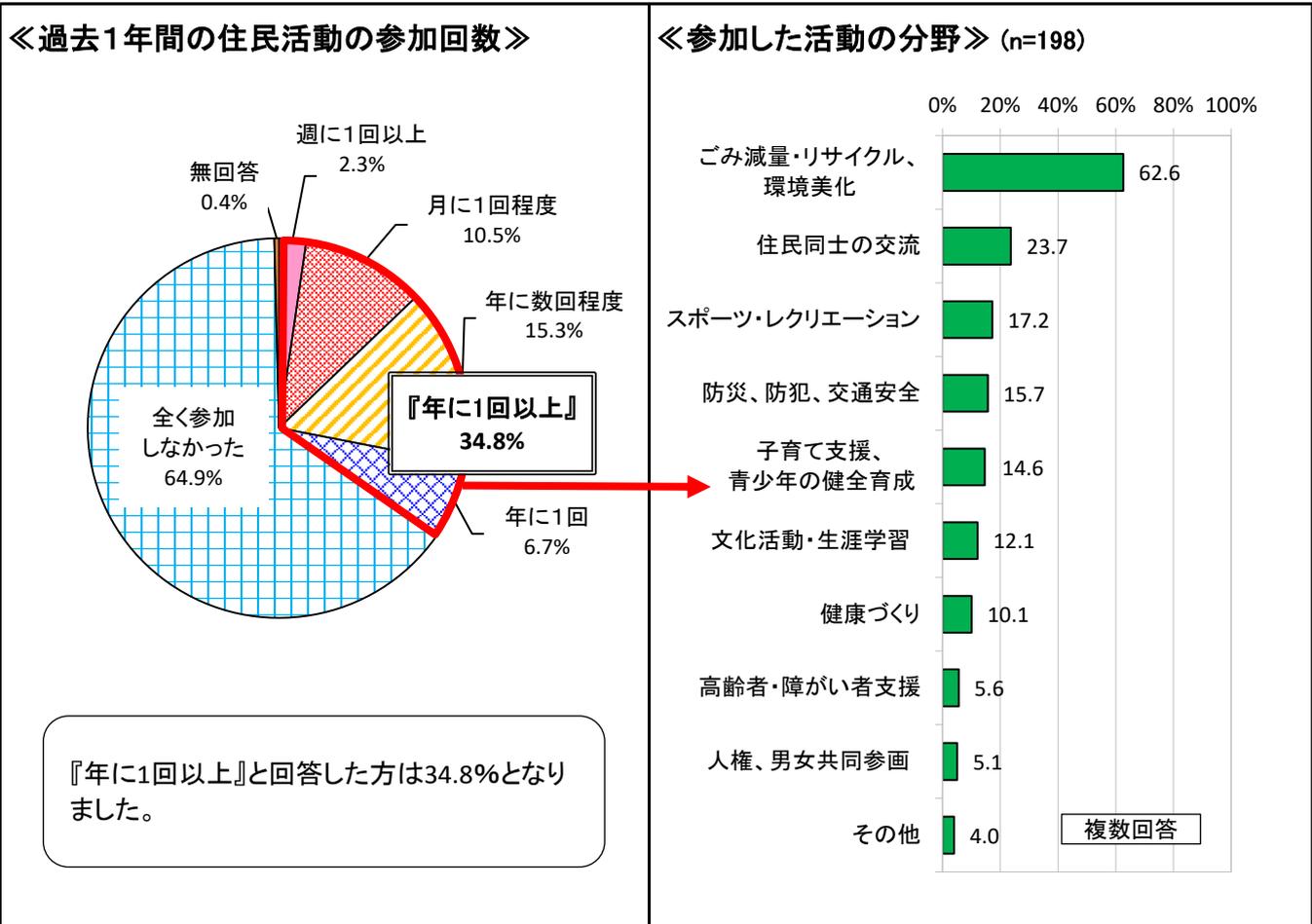


《住宅用火災警報器は設置から10年での交換が推奨されていることを知っていたか》

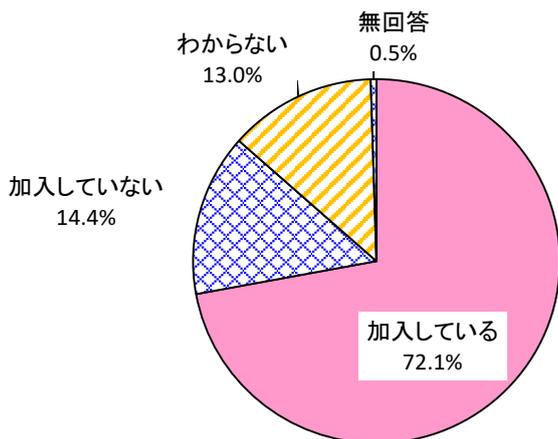


「知っていた」と回答した方は32.7%となりました。

③「地域の活動やまちづくり」について(N=569)

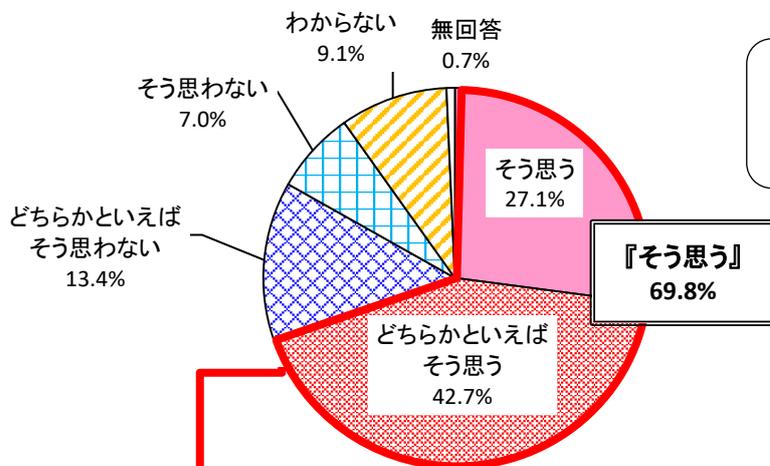


《自治会・町内会の加入状況》



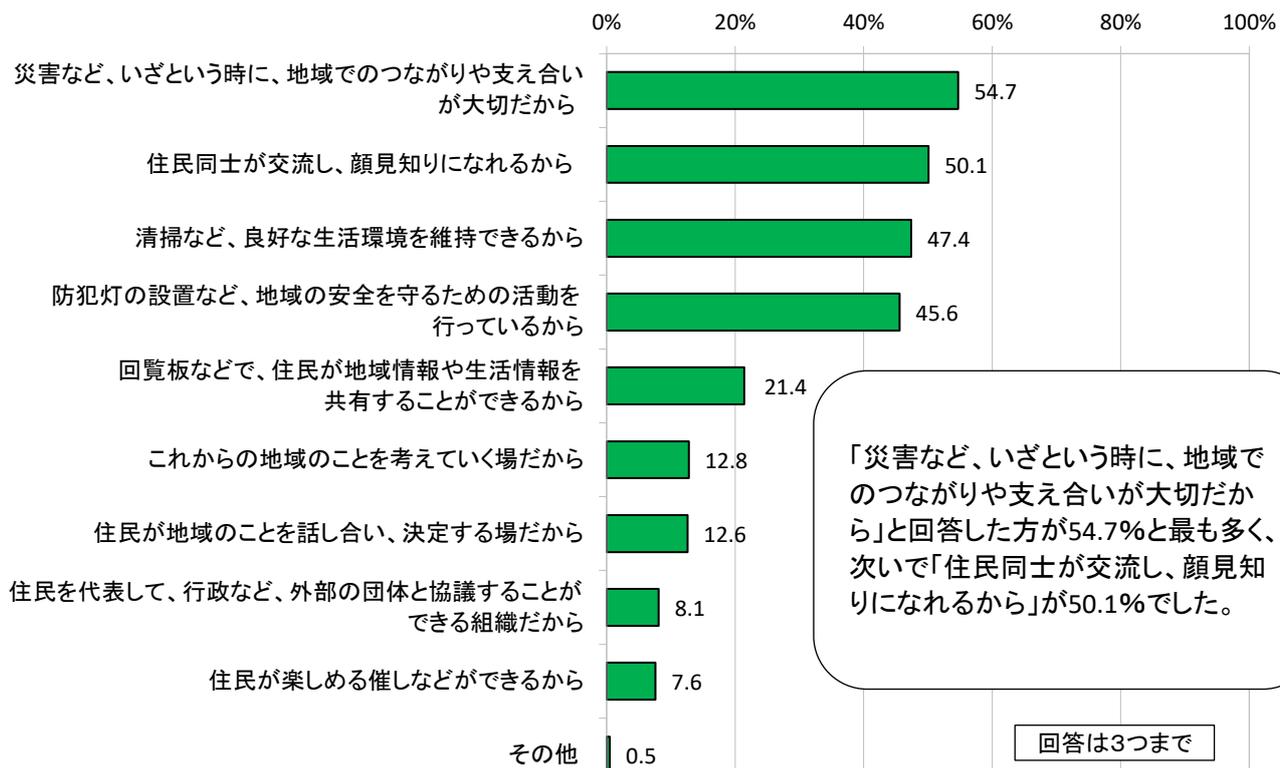
「加入している」と回答した方は72.1%となりました。

《自治会・町内会は必要だと思うか》



『そう思う』と回答した方は69.8%となりました。

《自治会・町内会が必要だと思う理由》(n=397)

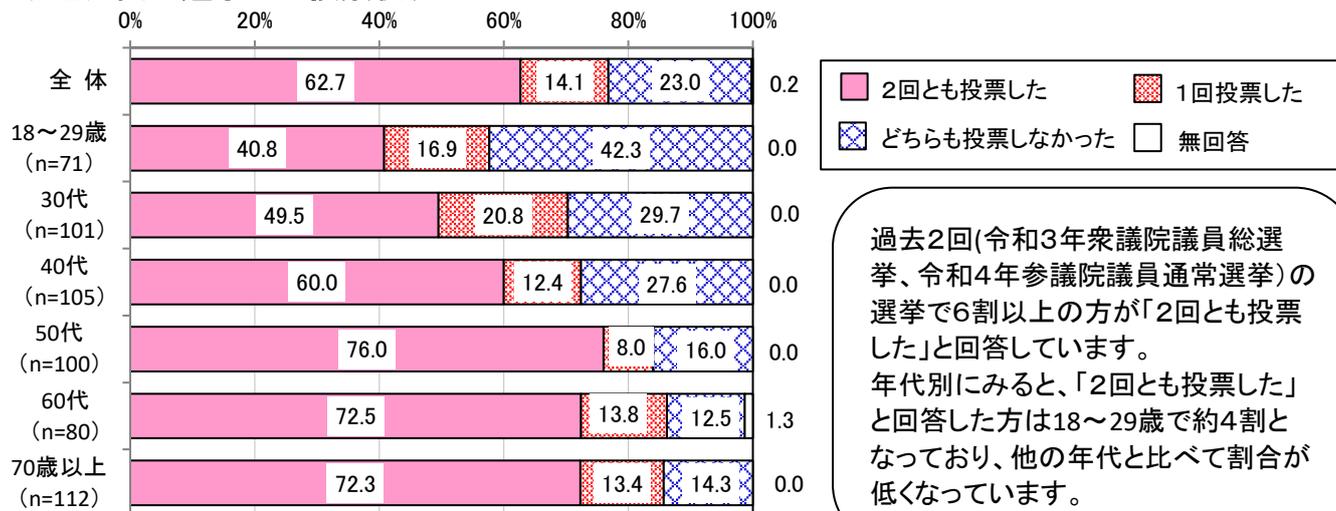


「災害など、いざという時に、地域でのつながりや支え合いが大切だから」と回答した方が54.7%と最も多く、次いで「住民同士が交流し、顔見知りになれるから」が50.1%でした。

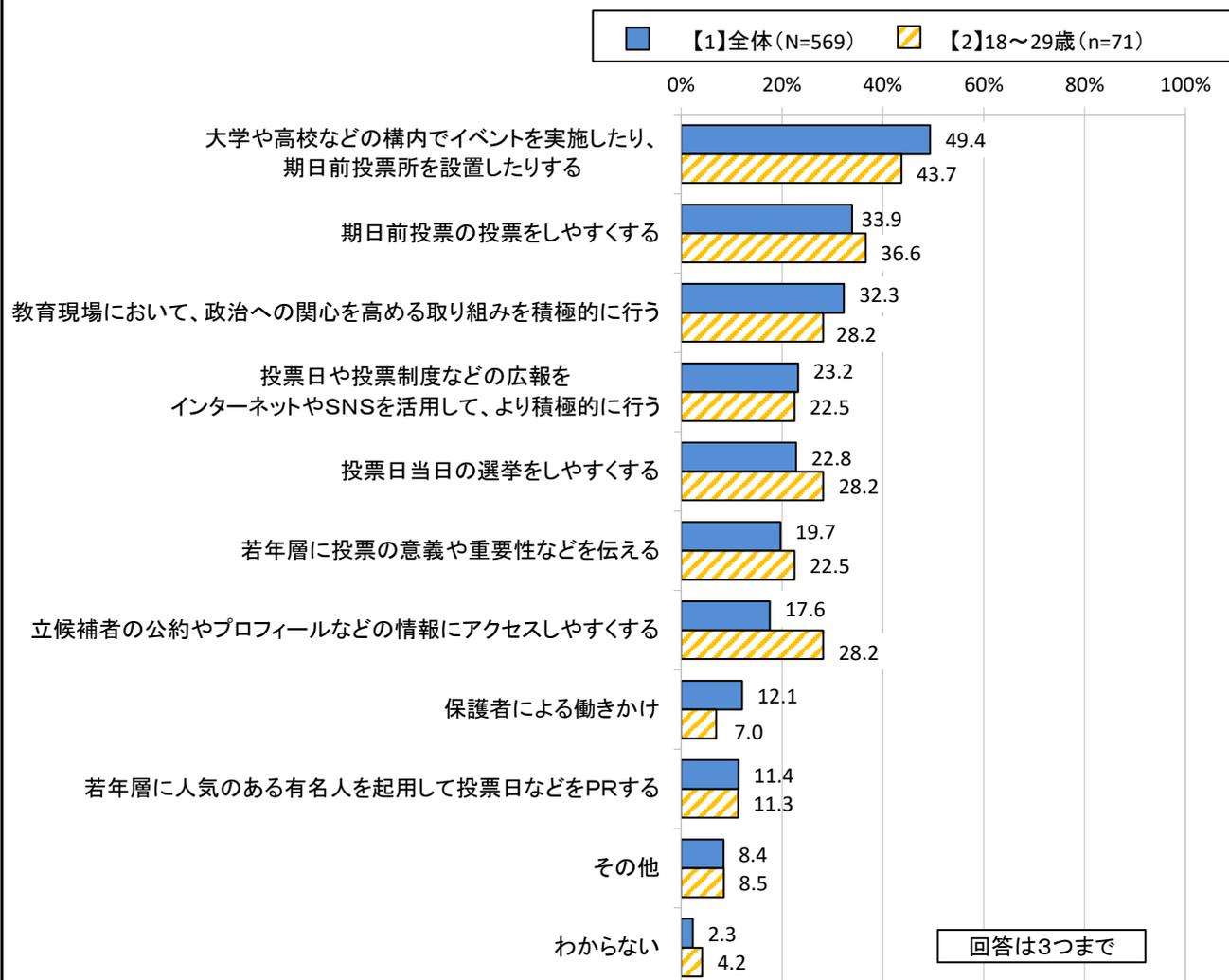
回答は3つまで

④「選挙」について(N=569)

《過去2回の選挙での投票状況》



《若年層の投票率を向上させるためにはどのようなことが必要か》



【1】「全体」、【2】「18～29歳」のいずれにおいても「大学や高校などの構内でイベントを実施したり、期日前投票所を設置したりする」と回答した方が最も多くなりました。項目別にみると、「立候補者の公約やプロフィールなどの情報にアクセスしやすくする」と回答した方は【2】28.2%が【1】17.6%よりも10.6ポイント高くなりました。

第4回市政アンケート調査

〔テーマ・担当課〕

■調査期間	令和4年8月25日～9月8日
■調査数	677件
■回答数	569件
■有効回答率	84.0%

1. 「福岡市の広報活動」について
(担当課：市長室 広報課)
2. 「住宅用火災警報器」について
(担当課：消防局 予防課)
3. 「地域の活動やまちづくり」について
(担当課：市民局 コミュニティ推進課)
4. 「選挙」について
(担当課：選挙管理委員会事務局 選挙課)

○ご記入いただいた個人情報は、市政アンケート調査の集計のために利用した上で、個人情報保護に関する法令などに基づき適正に管理いたします。

○提出期間を過ぎて提出されると、皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので、**提出期限は厳守**いただきますようお願いいたします。

○回答方法（選択肢の番号に○をつけてください。）

例) ① 知っている 2 知らない

調査協力員番号		お名前	
---------	--	-----	--

※ 調査協力員番号は **封筒の宛名シール** に記載しております。

(返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。)

(提出期限) 9月8日(木)までにポストに投函してください。

《「福岡市の広報活動」について》

福岡市では、市民の皆さまに市政情報をお知らせするために、広報紙「福岡市政だより」の発行（毎月1日と15日の月2回、総ページ数16ページで発行、全世帯に配布）をはじめ、さまざまな広報活動を行っております。

問1 あなたは、市政情報を得るために下記の媒体を利用したことがありますか。利用したことがあるものをすべて選んでください。（N=569）無回答 1.2

1 市政だより（紙媒体）	85.2
2 市政だより（PDF版）	3.0
3 市政だより（WEB版）	5.1
4 福岡市ホームページ	48.0
5 チラシ・パンフレット	16.3
6 ポスター	12.7
7 ふくおか市生活ガイド（冊子）	11.1
8 区役所の情報コーナー	9.5
9 情報プラザ（市役所1階）	4.6
10 テレビCM（スポットCM）	18.6
11 YouTubeなどの動画サイト（「福岡チャンネル」など）	1.9
12 福岡市LINE（ライン）公式アカウント	17.8
13 SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど）	5.6
14 市関連のメールマガジン（福岡市メールマガジン、福岡市防災メールなど）	6.9
15 デジタルサイネージ（市役所、区役所、地下鉄駅構内などにある電子看板）	4.2
16 街頭ビジョン（商業施設などの大型モニター）	4.9
17 新聞・雑誌の紙面広告	18.1
18 フリーペーパー	9.3
19 民間の情報アプリ（マチイロ、マイ広報紙、Shufoo! など）	0.5
20 その他（具体的に： ）	0.9

【市政だよりの閲覧方法】

○紙媒体

市内全世帯と希望事業所に個別に配布

○PDF版

紙媒体と同じものを福岡市ホームページ上で公開

○WEB版

スマートフォンなどでも見やすいように、紙媒体に掲載している記事ごとにページを作成し、福岡市ホームページ上で公開



PDF版の画面



WEB版の画面

問2 あなたは、ご家庭に配られる「市政だより」（紙媒体）を読んでいますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=569) 無回答 0.9

1 毎号読んでいる	}	→	問4へ	43.1
2 たまに読んでいる				35.3
3 ほとんど読んでいない	}	→	問3へ	12.1
4 全く読んでいない				8.6

問3 ≪ 問2で「3」「4」と回答した方におたずねします。 ≫

「市政だより」を読んでいない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。
(n=118) 無回答 -

1 忙しくて読む暇がないから	38.1
2 市政に興味・関心がないから	22.0
3 役立つ情報が掲載されていないから	11.0
4 面白い記事が掲載されていないから	17.8
5 読みにくい、わかりにくいから	7.6
6 必要な情報は新聞、テレビで得ることができるから	14.4
7 必要な情報はインターネットで得ることができるから	46.6
8 その他（具体的に：)	1.7

≪ すべての方におたずねします。 ≫

問4 「市政だより」の1号あたりのページ数（現在、毎号16ページで発行）についてどう思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=569) 無回答 0.5

1 今のままでよい	84.0
2 増やしたほうがよい	1.9
3 減らしたほうがよい	12.1
4 その他（具体的に：)	1.4

問5 「市政だより」の発行頻度（現在、毎月1日と15日の月2回発行）についてどう思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=569) 無回答 0.5

1 今のままでよい	68.5
2 月3回以上の発行がよい	0.7
3 月1回の発行がよい	28.6
4 その他（具体的に：)	1.6

問6 「市政だより」では、以下の記事を掲載しています。それぞれの記事は役に立つと思いますか。
 (1)～(4)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

項 目 (N=569)	内 容	役に立つ	役に立つ どちらかといえば	役に立たない どちらかといえば	役に立たない	わからないので	無回答
(1)特集記事 (おおむね1～3面)	市の重要施策や発行時期に沿ったテーマ・市民のニーズが高いものなど	32.3	51.5	5.3	0.7	9.8	0.4
(2)事業・制度の紹介 (おおむね4～7面)	各種事業・制度の紹介、市民からの投稿コーナーなど	26.2	53.4	7.6	1.1	10.9	0.9
(3)情報BOX (おおむね8～15面)	市が主催・共催・後援する「催し・イベント・講座・講演会」などの案内、お知らせ・仕事・相談・施設の情報など	35.9	46.4	6.3	0.7	10.0	0.7
(4)区版 (おおむね16面)	地域の活動や催し、保健だよりなどの地域情報	34.6	47.6	6.3	1.1	9.7	0.7

問7 「市政だより」に取り上げてほしいテーマや分野について、特にあてはまるものを5つまで選んでください。(N=569) 無回答 1.9

1 市の財政、総合計画	25.5	13 人権	2.6
2 施設の情報	42.9	14 国際	3.7
3 イベント情報	52.4	15 文化芸術	13.7
4 子育て	21.1	16 スポーツ	11.8
5 教育・学校	21.3	17 農林水産	2.5
6 健康・医療	47.5	18 仕事	14.8
7 高齢者福祉	23.0	19 環境（ごみや省エネなど）	17.9
8 障がい者福祉	7.6	20 まちづくり（道路や公園、港など）	24.3
9 防災	27.2	21 住宅・住まい	10.7
10 防犯	15.1	22 その他（具体的に：)	1.1
11 消費生活	10.2	23 特にない	2.8
12 地域活動・ボランティア	10.7		

問8 福岡市のホームページについて、総合的な満足度（見やすさ、欲しい情報が入手できるかなど）は
いかがですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=569）無回答 0.2

- | | |
|--------------------|------|
| 1 満足している | 12.7 |
| 2 どちらかといえば満足している | 54.0 |
| 3 どちらかといえば満足していない | 7.9 |
| 4 満足していない | 2.3 |
| 5 市のホームページを利用していない | 23.0 |

問9 福岡市では、問1のような媒体（市政だより、福岡市のホームページやSNSなど）で情報発信を
行っています。福岡市の情報発信に対する総合的な満足度はいかがですか。あてはまるものを1つ
だけ選んでください。（N=569）無回答 0.2

- | | |
|---------------------------|------|
| 1 満足している | 17.9 |
| 2 どちらかといえば満足している | 61.7 |
| 3 どちらかといえば満足していない | 9.5 |
| 4 満足していない | 1.2 |
| 5 現状の生活では特段、市の情報を必要としていない | 9.5 |

問10 市政だより・福岡市ホームページなど、市の広報活動への意見・要望などがあれば、ご自由にお
書きください。

《 「住宅用火災警報器」 について 》

令和3年中に住宅火災で亡くなられた方は全国で913名にものぼり、その原因の約半数は、「逃げ遅れ」です。住宅火災により亡くなる方を減らすため、火災で発生する煙または熱を自動的に感知し警報する「住宅用火災警報器」の設置が全国一律で義務付けられており、福岡市では平成21年6月からすべての住宅で、取り付けることが条例で定められています。

福岡市消防局では、住宅用火災警報器の設置促進と併せて、適切な維持管理についても広報活動を行っています。

【住宅用火災警報器について】

住宅用火災警報器は、全ての寝室と、寝室が2階以上にある場合には階段部分などに設置が義務付けられています。マンションなどの集合住宅で、自動火災報知設備^{※1}やスプリンクラー設備が設置されている場合は、住宅用火災警報器の設置が免除されます。

※1 自動火災報知設備について

マンションなどの建物全体に感知器が設置され、どこか1か所の感知器が反応した場合、建物全体にベルや音声で火災を知らせる設備です。（延べ床面積が500㎡以上のマンションなどに設置されています。）

【設置義務の場所】

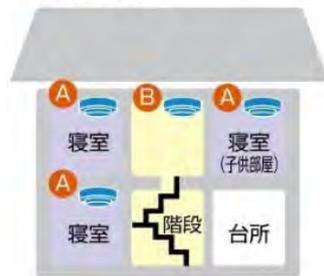
1階建ての例

- A 普段就寝に使われている部屋に設置します。

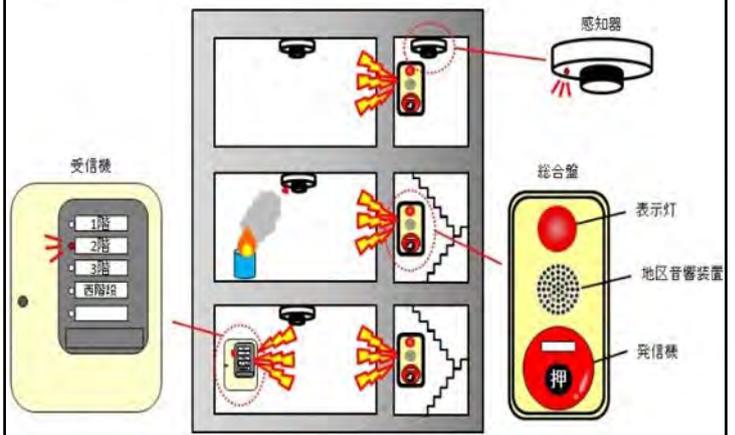


2階建ての例

- A 普段就寝に使われている部屋に設置します。
B 寝室のある階の階段に設置します。



【自動火災報知設備について】



問11 あなたのお住まいでは、住宅用火災警報器を条例で義務付けられている場所に取り付けていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=569）無回答 1.1

- | | | | |
|--------------------------------|-----|--------|------|
| 1 すべて取り付けている | } → | 問12、13 | 65.2 |
| 2 一部取り付けている | | | |
| 3 取り付けていない | → | 問15へ | 9.5 |
| 4 取り付けが免除となっている（自動火災報知設備の設置など） | → | 問16へ | 6.9 |

問12 << 問11で「1」「2」と回答した方におたずねします。>>

現在のお住まいで設置している住宅用火災警報器の中で、設置から10年を経過したのがありますか。
あてはまるものを1つだけ選んでください。(n=470) 無回答 0.9

- | | |
|---------|------|
| 1 ある | 23.8 |
| 2 ない | 47.0 |
| 3 わからない | 28.3 |

【設置時期の確認方法】



問13 << 問11で「1」「2」と回答した方におたずねします。>>

住宅用火災警報器は定期的な作動確認を行う必要があります。あなたはこの半年の間に、住宅用火災警報器の作動確認をしましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(n=470) 無回答 2.3

- | | | | | |
|---------------------|---|---|------|------|
| 1 確認をした(2以外) | } | → | 問14へ | 29.4 |
| 2 アンケートが来たので、今回確認した | | | | |
| 3 確認をしていない | } | → | 問16へ | 50.0 |
| 4 わからない | | | | |



問14 << 問13で「1」「2」と回答した方におたずねします。>>

住宅用火災警報器の作動確認の結果はどうでしたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(n=178) 無回答 1.7

- | | |
|----------------------------------|------|
| 1 正常であった | 98.3 |
| 2 異常があった(音が鳴らない、異常を知らせる音声が鳴ったなど) | - |

《「地域の活動やまちづくり」について》

地域では、住みよいまちをつくるために、自治組織を中心に、さまざまな活動が行われています。これらの活動や自治組織の運営、福岡市の地域に関する施策について、市民の皆さまのご意見をお伺いします。

※この「地域の活動やまちづくり」についてのアンケートにおいて、「地域」は町内から小学校区程度の範囲をお考えください。

問17 あなたは過去1年間に、お住まいの地域で、住民が行っている活動(次の問18のような地域活動)にどのくらい参加しましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=569) 無回答 0.4

1 週に1回以上	}	→	問18、問19へ	2.3
2 月に1回程度				10.5
3 年に数回程度				15.3
4 年に1回				6.7
5 全く参加しなかった		→	問20へ	64.9

問18 《問17で「1」～「4」と回答した方におたずねします。》

どのような分野の活動に参加しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=198) 無回答 0.5

1 子育て支援、青少年の健全育成	14.6
2 高齢者・障がい者支援	5.6
3 健康づくり	10.1
4 人権、男女共同参画	5.1
5 スポーツ・レクリエーション	17.2
6 文化活動・生涯学習	12.1
7 ごみ減量・リサイクル、環境美化	62.6
8 防災、防犯、交通安全	15.7
9 住民同士の交流	23.7
10 その他(具体的に:)	4.0

問19 《問17で「1」～「4」と回答した方におたずねします。》

参加したきっかけは何でしたか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=198) 無回答 5.1

1 家族に誘われた	8.6
2 友人・近所の人に誘われた	19.7
3 地域の役員に誘われた	20.7
4 広報紙やチラシ・ポスターを見た	23.2
5 インターネット・SNSを見た	2.5
6 自治会・町内会の総会などの集まりで聞いた	25.3
7 地域の役員になった	23.2
8 PTA・子ども会活動への参加	11.1
9 職場の地域貢献活動として	2.0
10 その他(具体的に:)	9.1
11 特にない	3.5

問 20 ≪ 問17で「5」と回答した方におたずねします。≫

地域活動に参加しなかった（または参加できなかった）理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。 (n=369) 無回答 0.5

- | | |
|------------------------------------|------|
| 1 仕事や育児・介護などで時間がとれないから | 39.8 |
| 2 活動があることを知らなかったから | 32.2 |
| 3 地域活動に関心が持てないから | 10.0 |
| 4 一緒に参加する人がいないから | 18.2 |
| 5 地域活動の役割を担うことや、隣近所との人間関係を負担に感じるから | 10.8 |
| 6 年齢や健康上の理由から | 12.7 |
| 7 参加のきっかけがない、または、参加方法がわからないから | 37.4 |
| 8 その他（具体的に：) | 6.0 |
| 9 特にない | 6.2 |

≪ すべての方におたずねします。≫

問 21 あなたは、地域活動は大切だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。
(N=569) 無回答 0.9

- | | | | |
|------------------|-----|--------|------|
| 1 そう思う | } → | 問 22 へ | 29.5 |
| 2 どちらかといえばそう思う | | | 54.3 |
| 3 どちらかといえばそう思わない | } → | 問 23 へ | 7.4 |
| 4 そう思わない | | | 2.6 |
| 5 わからない | | | 5.3 |

問 22 ≪ 問 21 で「1」「2」と回答した方におたずねします。≫

あなたは、地域活動のうち、どのような分野の活動が大切だと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。 (n=477) 無回答 2.5

- | | |
|-------------------|------|
| 1 子育て支援、青少年の健全育成 | 50.5 |
| 2 高齢者・障がい者支援 | 37.3 |
| 3 健康づくり | 22.2 |
| 4 人権、男女共同参画 | 4.8 |
| 5 スポーツ・レクリエーション | 14.3 |
| 6 文化活動・生涯学習 | 11.9 |
| 7 ごみ減量・リサイクル、環境美化 | 45.9 |
| 8 防災、防犯、交通安全 | 46.1 |
| 9 住民同士の交流 | 23.3 |
| 10 その他（具体的に：) | 0.6 |

《 すべての方におたずねします。 》

問 23 あなた（またはあなたの世帯）は、お住まいの地域の自治会・町内会に加入していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=569）無回答 0.5

- | | | | |
|-----------|---|--------|------|
| 1 加入している | → | 問 25 へ | 72.1 |
| 2 加入していない | → | 問 24 へ | 14.4 |
| 3 わからない | → | 問 25 へ | 13.0 |

問 24 《 問 23 で「2」と回答した方におたずねします。 》

自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(n=82) 無回答 -

- | | |
|-------------------------------|------|
| 1 加入を勧められたことがないから | 39.0 |
| 2 連絡先や加入方法がわからないから | 23.2 |
| 3 活動や運営の状況がわからないから | 30.5 |
| 4 役員になることや、隣近所との人間関係を負担に感じるから | 31.7 |
| 5 会費を払いたくない（または払えない）から | 20.7 |
| 6 単身、または、長く住む予定がないから | 23.2 |
| 7 自治会・町内会が必要だと思わないから | 11.0 |
| 8 マンションそのものが加入していないから | 28.0 |
| 9 その他（具体的に： _____） | 4.9 |
| 10 特にない | 3.7 |

《 すべての方におたずねします。 》

問 25 自治会・町内会は必要だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=569) 無回答 0.7

- | | | | |
|------------------|-----|--------|------|
| 1 そう思う | } → | 問 26 へ | 27.1 |
| 2 どちらかといえばそう思う | | | |
| 3 どちらかといえばそう思わない | } → | 問 27 へ | 13.4 |
| 4 そう思わない | | | |
| 5 わからない | | | |

問 26 《 問 25 で「1」「2」と回答した方におたずねします。 》

自治会・町内会が必要だと思う（またはどちらかといえば必要だと思う）理由は何ですか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。（n=397）無回答 1.5

- | | |
|--------------------------------------|------|
| 1 住民同士が交流し、顔見知りになれるから | 50.1 |
| 2 住民が楽しめる催しなどができるから | 7.6 |
| 3 清掃など、良好な生活環境を維持できるから | 47.4 |
| 4 防犯灯の設置など、地域の安全を守るための活動を行っているから | 45.6 |
| 5 災害など、いざという時に、地域でのつながりや支え合いが大切だから | 54.7 |
| 6 回覧板などで、住民が地域情報や生活情報を共有することができるから | 21.4 |
| 7 住民が地域のことを話し合い、決定する場だから | 12.6 |
| 8 住民を代表して、行政など、外部の団体と協議することができる組織だから | 8.1 |
| 9 これからの地域のことを考えていく場だから | 12.8 |
| 10 その他（具体的に： _____） | 0.5 |

《「選挙」について》

選挙は間接民主制の基盤です。有権者は積極的に投票し、自分たちの意見を正しく政治に反映させることが大切です。しかしながら、近年における選挙の投票率は低下傾向にあるため、福岡市では、選挙に関する情報の発信や、政治への関心を高めていただくための取り組みを行っております。

問 27 あなたは、過去2回の選挙（令和3年10月31日衆議院議員総選挙、令和4年7月10日参議院議員通常選挙）で投票しましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=569) 無回答 0.2

1	2回とも投票した	→	問29へ	62.7
2	1回投票した	} →	問28へ	14.1
3	どちらも投票しなかった			23.0

問 28 《 問 27 で「2」「3」と回答した方におたずねします。 》

投票していない理由は何ですか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。

(n=211) 無回答 0.9

1	仕事や用事などで時間がないから	41.7
2	市外にいたから	10.9
3	病気（看病を含む）、または体調が悪いから	15.2
4	投票に行くのが面倒だから	14.2
5	投票所が遠い（不便、わからない）から	3.3
6	投票日を知らない、または忘れるから	4.7
7	適当な候補者がいないから	34.6
8	候補者に関する情報がわからないから	13.7
9	自分一人が投票しなくても選挙の結果に影響がないと思うから	9.0
10	選挙によって政治や暮らしに影響があると思わないから	10.9
11	政治や選挙には関心がないから	7.6
12	外出を控えているから	7.6
13	その他（具体的に：)	7.6

《 すべての方におたずねします。 》

問 29 令和4年7月 10 日に行われた参議院議員通常選挙の際、福岡市では投票日や投票制度などの広報を実施しましたが、あなたが気付いたものは次のうちどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。 (N=569) 無回答 0.7

- | | | |
|----|---|------|
| 1 | 市の関連施設に掲出したポスター・のぼり <u>※但し、立候補者のポスターは除く</u> | 55.0 |
| 2 | 市役所、区役所・出張所に掲出した横断幕、懸垂幕 | 17.4 |
| 3 | 市政だより | 51.1 |
| 4 | 啓発動画（天神の大型ビジョン、JR 博多シティビジョン、市役所一階デジタルサイネージ） | 6.9 |
| 5 | 選挙に関するホームページ | 9.3 |
| 6 | メールマガジンやSNS（ツイッター、フェイスブック、ライン）での広報 | 5.1 |
| 7 | 地下鉄駅での広報（ポスター掲出、駅構内放送） | 14.2 |
| 8 | 広報車の運行（立候補者の選挙運動用自動車は除く） | 18.1 |
| 9 | その他（具体的に： _____ ） | 4.2 |
| 10 | 気付いたものはない | 13.0 |

問 30 福岡市では、選挙が近くなると、投票日や投票制度などの広報を実施していますが、あなたが効果的だと思う選挙広報は次のうちどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(N=569) 無回答 0.2

- | | | |
|----|---|------|
| 1 | 市政だより（「せんきょかわら版」を含む） | 50.4 |
| 2 | テレビCM | 68.4 |
| 3 | ラジオCM | 17.2 |
| 4 | 啓発動画（天神や博多駅の大型ビジョン） | 17.6 |
| 5 | 選挙に関するホームページ | 9.5 |
| 6 | メールマガジン、SNS（ツイッター、フェイスブック、ラインなど）での広報 | 19.2 |
| 7 | インターネット検索サイトやSNSへの広告掲載 | 20.2 |
| 8 | 新聞への広告掲載 | 27.6 |
| 9 | コンビニエンスストアや商業施設での広報（レジ広告、店内放送、ポスター、チラシなど） | 24.1 |
| 10 | 電車・バス車内での広告掲示 | 35.1 |
| 11 | 駅構内での広報（ポスター、チラシ、放送、電光表示器など） | 24.8 |
| 12 | 広報車の運行（立候補者の選挙運動用自動車は除く） | 11.6 |
| 13 | 模擬投票などのイベント | 4.4 |
| 14 | 大学や高校内での広報（ポスター、チラシ、のぼりなど） | 16.2 |
| 15 | その他（具体的に： _____ ） | 0.9 |

問31 あなたが選挙で投票するにあたり、必要だと思う情報は次のうちどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=569) 無回答 1.1

1	投票日	67.1
2	投票日当日の投票所の場所・時間	64.1
3	期日前投票の日時や場所	61.2
4	投票方法(投票の流れや持参物、投票用紙への記載内容など)	23.2
5	入院などの理由により、病院や老人ホームなどの施設で投票する制度の説明	15.5
6	出張などの理由により、市外で投票する制度の説明	13.2
7	体に障がいのある方などが郵便で投票する制度の説明	14.6
8	立候補者に関する情報(政策など)	56.1
9	過去の選挙の投票結果や投票率	8.6
10	投票所の混雑状況に関する情報	12.1
11	その他(具体的に:)	0.7
12	特にない	3.3

問32 いずれの選挙においても、全体の投票率と比較すると、20代の投票率は低くなっています。そこで、若年層の投票率を向上させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んでください。(N=569) 無回答 5.4

1	投票日当日の投票をしやすいにする(投票所の増設など)	22.8
2	期日前投票の投票をしやすいにする(投票所の増設、投票時間の延長など)	33.9
3	大学や高校などの構内でイベントを実施したり、期日前投票所を設置したりする	49.4
4	投票日や投票制度などの広報をインターネットやSNSを活用して、より積極的に行う	23.2
5	若年層に人気のある有名人を起用して投票日などをPRする	11.4
6	立候補者の公約やプロフィールなどの情報にアクセスしやすいにする	17.6
7	若年層に投票の意義や重要性などを伝える(ポスター、チラシ、テレビCMなど)	19.7
8	教育現場において、政治への関心を高める取り組み(模擬選挙の実施など)を積極的に行う	32.3
9	保護者による働きかけ(日頃から家庭の中で政治の話をするような取り組みなど)	12.1
10	その他(具体的に:)	8.4
11	わからない	2.3

選挙制度や投票区・投票所一覧など選挙に関する情報については、福岡市選挙管理委員会ホームページにてご覧いただけます。



明るい選挙キャラクター
選挙のめいすいくん

福岡市 選挙

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。
記入漏れや誤りがないか再度確認の上、同封の返信用封筒にて
ご返送をお願いします。

【標本構成（第4回）】 (N=569)

◆性別

男性	47.1
女性	52.9

◆年齢

18～29歳	12.5
30代	17.8
40代	18.5
50代	17.6
60代	14.1
70歳以上	19.7

◆職業

正社員・正職員	38.3
契約社員・派遣社員・嘱託	5.6
パート・アルバイト	13.7
会社等役員	2.3
自営業・家族従事者	5.4
専業主婦・専業主夫	12.0
学生	4.6
無職	15.5
その他	2.6

◆行政区

東区	21.6
博多区	12.7
中央区	13.0
南区	18.1
城南区	9.0
早良区	11.4
西区	14.2

◆居住年数

3年未満	11.1
3年以上5年未満	7.2
5年以上10年未満	10.2
10年以上20年未満	19.0
20年以上30年未満	18.6
30年以上	33.9

◆居住形態

持家の戸建て	27.6
持家の集合住宅	30.4
賃貸の戸建て	1.6
賃貸の集合住宅	36.9
社宅・寮	2.3
その他	1.2

◆18歳未満の同居家族

いる	31.3
いない	62.6
無回答	6.2

◆65歳以上の同居家族

いる	36.9
いない	62.6
無回答	0.5

◆回答方法

郵送	46.7
WEB	53.3